

# 本町西国街道地区まちなみづくり基本方針

## ～魅力あるまちなみづくりビジョンの実現に向けて～



本町通り（西国街道）の将来イメージ

令和2年(2020)3月

三原市都市部都市開発課

# 目 次

序章	はじめに	1
1	本町西国街道地区のまちなみづくりの経緯	1
	(1) 地区の概要	1
	(2) 広島県魅力あるまちなみづくり支援事業モデル地区	1
	(3) ワークショップと提案書のとりまとめ	1
2	まちなみの定義	2
3	計画の構成及び対象地区	2
	(1) 計画の構成	2
	(2) 対象区域	3
第1章	本町西国街道地区まちなみづくり基本方針	3
1	関連する市の計画及びプロジェクト	3
	(1) 都市計画マスタープラン, 立地適正化計画	3
	(2) 中心市街地活性化基本計画	3
	(3) 市中心部のグランドデザイン	3
	(4) 駅前東館跡地活用事業	4
	(5) 三原駅・三原内港を活かした民間事業者のプロジェクト	4
2	本町地区のまちなみづくりの必要性	5
	(1) 都市生活拠点への居住と生活サービス機能の集積	5
	(2) 新しい三原市の「街の顔」となる中心市街地の創出	5
	(3) 水際(すいさい)生活都市の実現	5
3	まちなみづくりビジョンの概要	6
4	まちなみづくり基本方針	7
	(1) 街並みづくりプロジェクトに関する取り組み	7
	(2) 施設整備・魅力づくりプロジェクトに関する取り組み	7
	(3) 寺社活用・歴史文化体験プロジェクトに関する取り組み	7
	(4) 本町まるごと体験・発信プロジェクトに関する取り組み	8
	(5) 町家&空き家・空き地活用プロジェクトに関する取り組み	8
	(6) 観光・交流と商店街活性化プロジェクトに関する取り組み	9
	(7) 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクトに関する取り組み	9
5	取り組みの前提となる基本的な考え方	9
	(1) まちなみづくりビジョン等の共有と多様な主体との連携, 協働	9
	(2) 庁内における横断的な取り組み	9
第2章	本町魅力あるまちなみづくりビジョンの位置付け	11
1	魅力あるまちなみづくりの必要性と目的	11
2	まちなみづくりビジョンの位置付け	11
第3章	業務実施の手順とワークショップのテーマ, 開催状況	12
1	業務実施の手順	12
2	ワークショップの開催状況	14
第4章	まちなみの現状と課題	21

1	本町地区の現状	21
	(1) 人口・年齢構成	21
	(2) 空き家	22
	(3) 本町地区の歴史的建造物の状況	23
2	本町地区の課題とまちなみづくりの方向性	24
3	本町地区の特色・問題点等	25
	(1) 本町地区の特色・問題点等～“強み”“弱み”～	25
第5章 私たちの提案（まちなみづくりのコンセプト）		30
1	めざすまちの姿（将来像）	30
2	テーマ別の目標	34
第6章 私たちの提案（まちなみづくりの基本方針）		35
1	街並みづくり	35
	(1) 街並みづくりの目標	35
	(2) 街並みづくりガイドライン骨子	36
	(3) 街並みづくりに関わるプロジェクト	42
2	施設整備	44
	(1) 施設整備の目標	44
	(2) 施設整備に関わるプロジェクト	45
3	地域資源活用	48
	(1) 地域資源活用の目標	48
	(2) 地域資源活用に関わるプロジェクト	49
4	商店街・コミュニティ活性化	52
	(1) 商店街・コミュニティ活性化の目標	52
	(2) 商店街・コミュニティ活性化に関わるプロジェクト	53
第7章 私たちの提案（今後の展開）		56
1	推進体制づくり	56
	(1) 推進体制の必要性	56
	(2) 推進体制（案）	56
	(3) 市民・地域団体等と市の連携・協働の体制づくり	58
資料編		59
	ワークショップメンバー及びアドバイザー・オブザーバー名簿	60
	プロジェクト別主要事項と主な取組み及びアイデア	62
	支援制度一覧	78
	参考資料	81



## 序章 はじめに

### 1 本町西国街道地区のまちなみづくりの経緯

#### (1) 地区の概要

本町西国街道地区（以下「本町地区」という）は、歴史的建築物や寺社が数多く存在し、地区の南側の東西方向に江戸時代の西国街道であった本町通りが通っています。地区の南東端には国史跡三原城跡が位置し、その西側に城下町の一角を占めていた区域が広がり、西国街道や参道、小路の多くが城下町の町割を継承するなど、歴史的な環境が息づくまちです。

また、JR 三原駅が直近にあり、商業地と住宅地が広がる中、人口の減少や高齢化、空き家・空き店舗の増加などがみられ、地区の特性を活かした中心市街地の活性化、生活環境の維持・充実などの取組が求められています。



備後国内三原城所絵図  
正保元年(1644)に幕府が諸藩に命じて作成させた絵図のうち、  
三原城と城下町の絵図  
出典：国立国会図書館デジタルアーカイブ

#### (2) 広島県魅力あるまちなみづくり支援事業モデル地区

平成 29(2017)年 9 月には本町西国街道地区として「広島県魅力あるまちなみづくり支援事業」のモデル地区に選定され、歴史・文化資源を活かした、魅力ある景観形成やリノベーション等の新たなまちづくり手法の導入により、住民や民間事業者が主体となるまちづくりを推進し、にぎわいのある街道の再生を図ることとしています。

#### (3) ワークショップと提案書のとりまとめ

モデル地区指定を機に、平成 30(2018)年 10 月から本町地区の住民や商店街、地域活動団体、寺社等をメンバーとするまちなみづくりワークショップを計 6 回実施しました。ワークショップを通じ「私たちの提案」をとりまとめ、令和 2 (2020) 年 1 月にメンバーから市長に手交されました。また、本町地区の住民と地域活動団体縁がわサロン「いろは」を中心に、まちなみづくりに向けた推進体制整備の動きもあり、本町西国街道地区の魅力あるまちなみづくりへの機運が高まっています。

## 2 まちなみの定義

一般的には「街並み」というと、建物や道路をはじめとした物的な環境・景観と捉えられますが、本計画では「まちなみ」と記し、物的な環境・景観とともに、そこで営まれている人々の暮らしや産業、活動を含めて捉えています。物的な環境・景観としての「街並み」の維持や魅力づくりを進めていくためには、建物等を使うこと、そこに住むこと、事業を行うことが必要であり、そのためには商店街やコミュニティの活性化が不可欠だからです。

以上のことから、本計画では物的な環境・景観に限定される場合は「街並み」と表記し、それ以外は全て「まちなみ」と記します。

## 3 計画の構成及び対象区域

### (1) 計画の構成

本計画は、第1章「本町西国街道地区まちなみづくり基本方針」（以下「基本方針」という）と、第2章から第7章までの「本町魅力あるまちなみづくりビジョン」（以下「まちなみづくりビジョン」という）の2部構成となっています。

基本方針は、まちなみづくりビジョンの実現に向けて概ね10年以内に実施すべき市の取り組みを示すものです。

まちなみづくりビジョンは、ワークショップメンバーがとりまとめた「私たちの提案」で、計画期間は定めていません。本町地区に関わる市民、地域団体等及び市など多様な主体が共有する将来ビジョンとして、その内容と検討経過をまとめています。

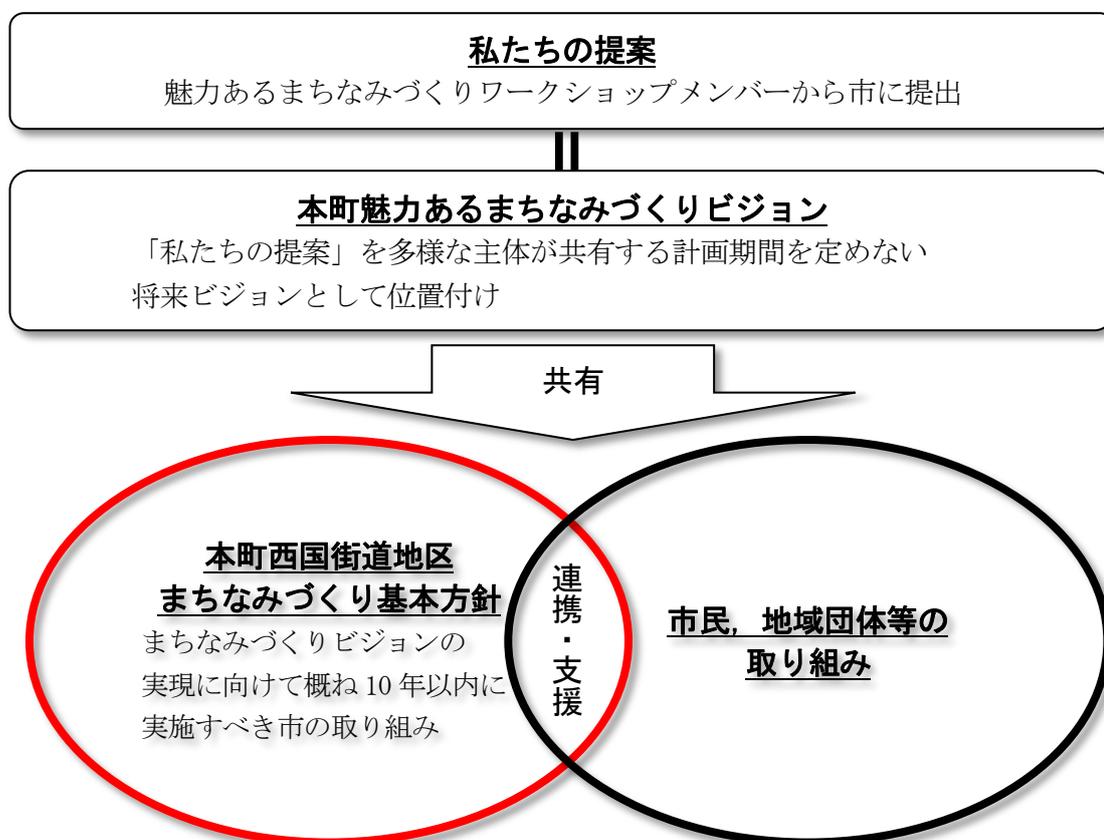


図 計画の体系

## (2) 対象区域

本計画の対象区域は、本町地区（概ね三原市本町一丁目・二丁目・三丁目）約 26.7ha としますが、例えば周遊ネットワークや隣接・近接する公共施設の活用、背後の野畑山の活用など対象区域外も含めた取り組みが必要なときは、地区外も含めて検討することとします。

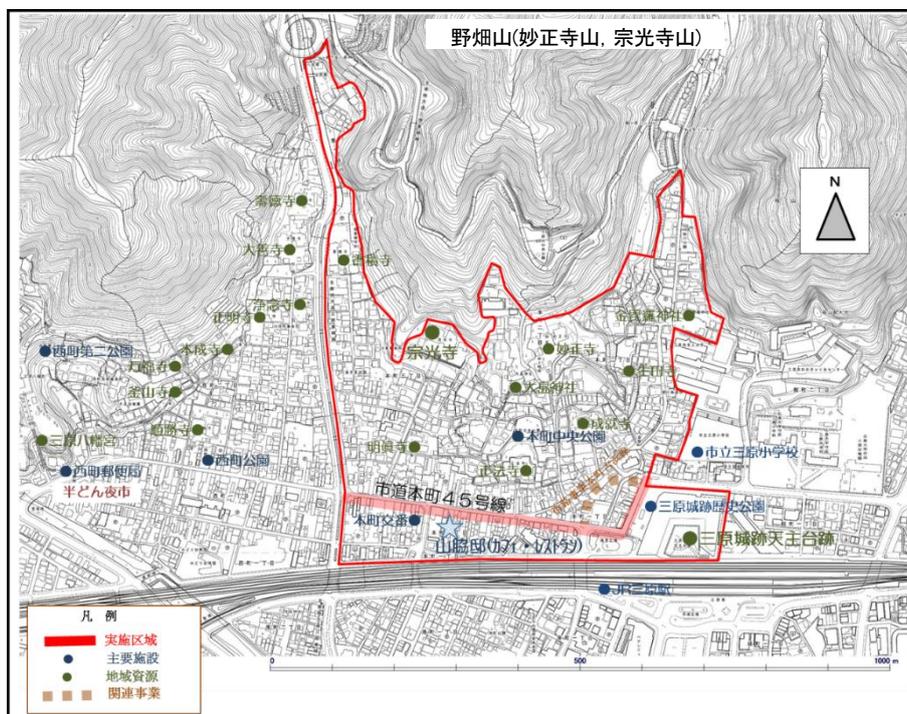


図 業務の対象地区

## 第1章 本町西国街道地区まちなみづくり基本方針

### 1 関連する市の計画及びプロジェクト

#### (1) 都市計画マスタープラン，立地適正化計画

都市計画マスタープランでは、三原駅周辺都市生活拠点の一角を担う地区として歴史・文化を活かした回遊性の向上，歴史的景観と調和したまちなみの形成をめざす地区となっています。

また，立地適正化計画では都市生活拠点として都市機能誘導区域及び居住誘導区域に位置付けられており，都市機能の集積や人口密度の維持を図るべき地区となっています。

#### (2) 中心市街地活性化基本計画

西国街道（市道本町45号線）沿道などの商業地域が中心市街地活性化基本計画の区域に指定されており，「歴史・文化醸成ゾーン」として歴史体験できる商店街やコミュニティの場としての再生をめざしています。

#### (3) 市中心部のグランドデザイン

基本ポリシーである「水の城下町づくり」「港の有効活用」「回遊を生む仕掛けづくり」を踏まえて設定されたエリアの1つとして，歴史・文化資源と調和のとれたまちなみづくりや古民家を活用した活動拠点づくりの促進に取り組むこととしています。

#### (4) 駅前東館跡地活用事業

三原駅前の市有地で民間活力を活かした図書館と民間施設との複合施設を「にぎわい交流拠点」として整備し、集客力の向上を図るとともに、三原駅、三原内港及び商店街をネットワークする安全、快適な歩行者空間を整備しています。



駅前東館跡地活用事業

#### (5) 三原駅・三原内港を活かした民間事業者のプロジェクト

近年、交通拠点を有する本市の特長を活かした民間事業者のプロジェクトが活発化しています。三原内港では、土日祝日にうさぎの島として有名な大久野島へ愛称「ラビットライン」として旅客船が運航しており、乗船人員数も好調に推移しています。

また、三原港と広島港を結ぶ観光用高速クルーザーの建造や、JR山陽本線と呉線を走る新たな観光列車の導入も発表されており、三原駅・三原内港の更なる活用が期待されます。



三原内港

## 2 本町地区のまちなみづくりの必要性

### (1) 都市生活拠点への居住と生活サービス機能の集積

国の機関の推計では、三原市の人口は令和 22(2040)年には約 10 万人から約 72,000 人まで減少が見込まれており、現在の市街地規模のままでは居住が低密度化し、一定の人口密度に支えられてきた医療、福祉、子育て支援、商業等の生活サービスの提供が困難になることが懸念されます。

このため立地適正化計画では、生活拠点に居住と生活サービス機能の集積を誘導するコンパクトなまちづくり、これと連携した公共交通ネットワークの形成により、人口密度と生活サービスを維持できるまちをめざしています。

三原駅や三原内港にも近い本町地区は、城下町の歴史・文化や交通利便性を活かし、居住地や生活サービス提供の場として「選ばれるまち本町」として再生が必要です。

### (2) 新しい三原市の「街の顔」となる中心市街地の創出

三原駅周辺の中心市街地は、大規模商業施設の撤退や空き店舗の増加などに伴い、歩行者通行量も減少し、にぎわいが失われています。

このような状況を改善するため、中心市街地活性化基本計画では城下町の歴史・文化と調和し、集客・にぎわい・交流などを創出する新しい三原市の「街の顔」となる中心市街地を創造することとしています。

歴史・文化醸成ゾーンとして位置付けられている本町地区では、城下町の歴史・文化及び町家・空き店舗などの地域資源を活用した商店街・コミュニティの活性化が必要です。

### (3) 水際（すいさい）生活都市の実現

市中心部のグランドデザインは、市民とともに策定し、共有しながら、産学官民など様々な主体が連携して、ハード・ソフト両面からのまちづくりに取り組むことで、市中心部を魅力的な場所にするとともに、市民や事業者、市がそれぞれの強みを活かし、活躍できる場所にすることをめざしています。

本町地区は、三原神明市や半どん夜市、おひなまつりなどのイベント開催に加え、連合町内会や縁がわサロン「いろは」など住民組織・地域団体の活動がさかんな地区です。ワークショップを通じて、まちなみづくりへの機運も高まっています。

以上のことから、グランドデザインがめざす「水際生活都市」の実現に向け、市民、地域団体等及び市の協働による先導的なプロジェクトとして、まちなみづくりを推進することが必要です。



魅力あるまちなみづくりワークショップ

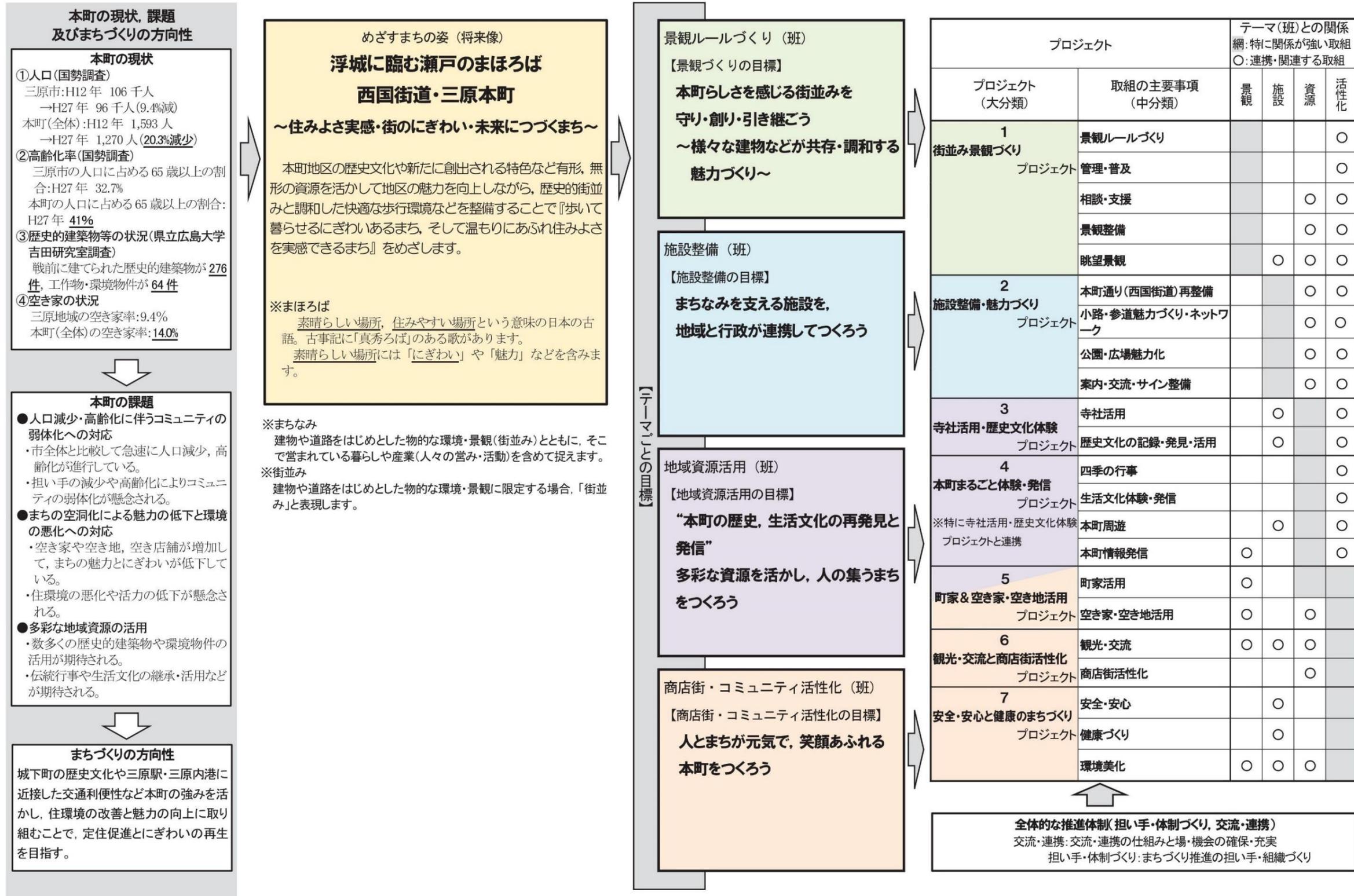


縁がわサロン「いろは」

### 3 まちなみづくりビジョンの概要

この基本方針は、まちなみづくりビジョンの実現に向けて概ね10年以内に実施すべき市の取り組み方針を示すものです。

まちなみづくりビジョンは、ワークショップメンバーがとりまとめた「私たちの提案」で、本町地区に関わる市民、地域団体等及び市など多様な主体が共有する将来ビジョンです。まちなみづくりビジョンの概要は次のとおりです。



## 4 まちなみづくり基本方針

まちなみづくりビジョンの実現に向けて概ね 10 年以内に実施すべき市の取り組みは次のとおりです。

### (1) 街並みづくりプロジェクトに関する取り組み

#### ①街並みづくりガイドライン策定等への支援, 助言

- ・市民主体のゆるやかなルールによる街並み形成を促進するため、街並みづくりガイドラインの策定や街づくり協定の締結に対する支援, 助言を行います。

#### ②街並み整備への支援, 協力

- ・街並みづくりガイドラインや街づくり協定の効果が発揮されるよう、関係者への情報提供などを通じて市民による管理, 運営に協力します。
- ・歴史的建築物の外観の復元や建物等の修景による街並み形成を促進するため、本町通り(西国街道)、宗光寺小路など景観づくりの軸となる区域等を対象に、街並み環境整備事業を活用した修景整備への助成を検討します。



本町通り(西国街道)の将来イメージ



宗光寺小路の将来イメージ

### (2) 施設整備・魅力づくりプロジェクトに関する取り組み

#### ①本町通り(西国街道)等の美装化など

- ・街並みと調和した歩きたくなる道路空間を形成するため、本町通り(西国街道)、宗光寺小路など景観づくりの軸となる区域等を対象に、道路の美装化を検討します。
- ・自動車交通の円滑化のため都市計画道路本町古浜線の整備を推進するとともに、本町通り(西国街道)の担う道路機能と構造を検討します。

#### ②電線類地中化等, 照明灯の再整備

- ・歩きたくなる街並みの形成と歩行者, 自転車の通行の安全性や快適性確保のため、関係機関, 電線管理者等との協議を行い, 電線類地中化等を検討します。
- ・統一感のある街並みの形成と歩行者, 自転車の通行の安全性, 快適性確保のため, 老朽化の進んだ照明灯の集約, 再整備を検討します。

#### ③小路の回遊性, 歩行環境の向上

- ・観光客など来訪者が本町地区の史跡, 寺社等を回遊できるよう, 歩行者系観光案内看板を整備します。
- ・阿房坂など回遊ルートとなる小路のうち歩行者の安全性, 快適性の改善が必要な箇所については, 歩行環境の改善を検討します。

### (3) 寺社活用・歴史文化体験プロジェクトに関する取り組み

#### ①寺社, 歴史及び伝統行事等の活用への協力, 支援

- ・寺社, 歴史文化の保存及び活用など市民, 地域団体等が行う活動に協力し, 必要な支援を行います。



妙正寺



宗光寺

#### (4) 本町まるごと体験・発信プロジェクトに関する取り組み

##### ① イベントの充実、担い手の育成等への協力、支援

- ・歴史文化を活かしたイベントの充実や生活文化の体験，発信，担い手の育成など市民，地域団体等が行う活動に協力し，必要な支援を行います。

##### ② 本町周遊・情報発信への協力、支援

- ・周遊コースの設定，活用やSNSによる情報発信，案内人の育成など市民，地域団体等が行う活動に協力し，必要な支援を行います。



おひなまつり



写経体験

#### (5) 町家&空き家・空き地活用プロジェクトに関する取り組み

##### ① 町家等の活用促進

- ・地域資源である町家等の消失及び遊休資産化の進行を防ぎ，魅力ある活動拠点として活用を促進するため，市民，地域団体等及び市の連携を強化します。
- ・遊休資産化した町家や空き店舗などの活用を促進するため，中心市街地新規出店支援事業補助金などの利用促進や，建物所有者と借り手のマッチングなどに取り組みます。



古民家を活用した飲食店

## ②空き家等の活用など適正管理の促進

- ・地域資源である空き家について、定住の受け皿や魅力ある施設としての活用を促進するため、空き家バンク制度や空き家改修等支援事業補助金などの普及に努めます。
- ・周辺の建築物や住民及び通行人に対し悪影響をもたらすおそれがある空き家については、所有者等に対して除却、修繕、立木竹の伐採等を助言、指導するとともに、空き地については必要に応じて道路、公園用地等として活用を検討します。

## (6) 観光・交流と商店街活性化プロジェクトに関する取り組み

### ①小路の回遊性、歩行環境の向上（再掲）

### ②観光交流の促進

- ・交流拠点や案内所の整備、観光マップやパンフレットの作成、特産品づくりなど市民、地域団体等が行う活動に協力し、必要な支援を行います。

### ③商店街活性化の支援

- ・魅力ある店舗づくりや子ども、学生との交流、駐車場の確保など市民、地域団体等が行う活動に協力し、必要な支援を行います。

## (7) 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクトに関する取り組み

### ①安全・安心なまちづくりへの協力、支援

- ・防火、防災対策の充実や犯罪、鳥獣被害への対策など市民、地域団体等が行う活動に協力し、必要な支援を行います。

### ②健康づくり・環境美化の促進

- ・ウォーキングロードづくりや健康づくりイベントの開催、環境美化など市民、地域団体等が行う活動に協力し、必要な支援を行います。

## 5 取り組みの前提となる基本的な考え方

### (1) まちなみづくりビジョン等の共有と多様な主体との連携、協働

魅力あるまちなみづくりを実現するためには、建物や道路などのハード整備だけでなく、景観ルールづくりや定住促進、商店街・コミュニティの活性化など様々な取り組みが必要です。

そのためには、本町地区に関わる市民、地域団体等及び市など多様な主体がまちなみづくりビジョンを共有し、主体的、計画的にまちづくりに取り組まなければなりません。

以上のことから、市はまちなみづくりビジョンや街並みづくりガイドライン等について広く周知を図るとともに市民、地域団体等との連携、協働により、この基本方針に基づく取り組みを推進します。

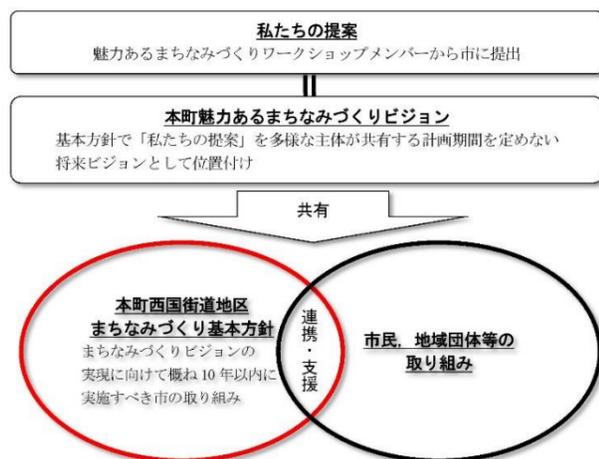
### (2) 庁内における横断的な取り組み

魅力あるまちなみづくりを実現するためには、市で取り組んでいる様々な施策を横断的に実施する必要があります。

このため、庁内においてもまちなみづくりビジョンや街並みづくりガイドライン等を共有し、横断的な取り組み体制を整備します。

# 本町西国街道地区まちなみづくり基本方針(まちなみづくりビジョンの実現に向け概ね10年以内に実施すべき市の取り組み)の全体構成

## 序 計画の体系



### 1 関連する市の計画

- (1) 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画
- (2) 中心市街地活性化基本計画
- (3) 市中心部のランドデザイン

### 2 本町地区のまちなみづくりの必要性

- (1) 都市生活拠点への居住と生活サービス機能の集積  
～居住地・生活サービス提供の場に「選ばれるまち本町」として再生～
- (2) 新しい三原市の「街の顔」となる中心市街地の創出  
～城下町の歴史・文化など地域資源を活用した商店街・コミュニティの活性化～
- (3) 水際(すいさい)生活都市の実現  
～市民、地域団体等及び市の協働によるランドデザインの先導的プロジェクト～

## 3 まちなみづくりビジョンの概要

(ワークショップ「私たちの提案」。多様な主体が共有する将来ビジョン)

**めざすまちの姿(将来像)**  
**浮城に臨む瀬戸のまほろば**  
**西国街道・三原本町**  
 ～住みよさ実感・街のにぎわい・未来につづくまち～

本町地区の歴史文化や新たに創出される特色など有形、無形の資源を活かして地区の魅力向上しながら、歴史的街並みと調和した快適な歩行環境などを整備することで『歩いて暮らせるにぎわいあるまち、そして温もりにあふれ住みよさを実感できるまち』をめざします。

**【景観づくりの目標】**  
 本町らしさを感じる街並みを守り・創り・引き継ごう～様々な建物などが共存・調和する魅力づくり～

**【施設整備の目標】**  
 まちなみを支える施設を、地域と行政が連携してつくり

**【地域資源活用目標】**  
 “本町の歴史、生活文化の再発見と発信” 多彩な資源を活かし、人の集うまちをつくり

**【商店街・コミュニティ活性化の目標】**  
 人とまちが元気で、笑顔あふれる本町をつくり

プロジェクト	
1 街並み景観づくりプロジェクト	景観ルールづくり 管理・普及 相談・支援 景観整備 眺望景観
2 施設整備・魅力づくりプロジェクト	本町通り(西国街道)再整備 小路・参道魅力づくり・ネットワーク 公園・広場魅力化 案内・交流・サイン整備
3 寺社活用・歴史文化体験プロジェクト	寺社活用 歴史文化の記録・発見・活用
4 本町まるごと体験・発信プロジェクト	四季の行事 生活文化体験・発信 本町周遊 本町情報発信
5 町家&空き家・空き地活用プロジェクト	町家活用 空き家・空き地活用
6 観光・交流と商店街活性化プロジェクト	観光・交流 商店街活性化
7 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクト	安全・安心 健康づくり 環境美化

## 4 まちなみづくり基本方針

### (1) 街並みづくりプロジェクトに関する取り組み

- ①街並みづくりガイドラインづくり等への支援, 助言  
⇒市民主体のルールづくりへの支援, 助言。
- ②街並み整備への支援, 協力  
⇒ガイドライン等の管理・運営に協力。本町通り・宗光寺小路沿道などの修景整備への助成を検討。

### (2) 施設整備・魅力づくりプロジェクトに関する取り組み

- ①本町通り(西国街道)等の美装化など  
⇒本町通り, 宗光寺小路などの美装化, 道路機能を検討。
- ②電線類地中化, 照明灯の再整備等  
⇒本町通り, 宗光寺小路などの電線類地中化等及び照明の再整備を検討。
- ③小路の回遊性, 歩行環境の向上  
⇒観光案内看板の整備, 必要に応じた歩行環境改善の検討。

### (3) 寺社活用・歴史文化体験プロジェクトに関する取り組み

- ①寺社, 歴史及び伝統行事等の活用への協力, 支援  
⇒市民等の活動に協力, 支援。

### (4) 本町まるごと体験・発信プロジェクトに関する取り組み

- ①イベントの充実, 担い手の育成等への協力, 支援  
⇒市民等の活動に協力, 支援。
- ②本町周遊・情報発信への協力, 支援⇒市民等の活動に協力, 支援。

### (5) 町家&空き家・空き地活用プロジェクトに関する取り組み

- ①町家等の活用促進  
⇒市民, 地域団体等及び市の連携を強化。補助制度の利用促進等。
- ②空き家等の活用など適正管理の促進  
⇒地域資源として活用を促進及び適正管理。

### (6) 観光・交流と商店街活性化プロジェクトに関する取り組み

- ①小路の回遊性, 歩行環境の向上(再掲)
- ②観光交流の促進⇒市民等の活動に協力, 支援。
- ③商店街活性化の支援⇒市民等の活動に協力, 支援。

### (7) 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクトに関する取り組み

- ①安全・安心なまちづくりへの協力, 支援⇒市民等の活動に協力, 支援。
- ②健康づくり・環境美化の促進⇒市民等の活動に協力, 支援。

## 5 取り組みの前提となる基本的な考え方

- (1) まちなみづくりビジョン等の共有と多様な主体との連携, 協働
- (2) 庁内における横断的な取り組み

## 第2章 本町魅力あるまちなみづくりビジョンの位置付け

### 1 魅力あるまちなみづくりの必要性と目的

本業務は、ワークショップの開催と「本町西国街道地区まちなみづくり基本方針」（以下「基本構想」という）の策定を通じた、まちなみづくりの機運の醸成、担い手となる人材育成及び住民組織の設立促進を目的としています。また、市民主体の街並みガイドラインや修景整備、道路整備につなげ、地区全体の住みよさや商店街等のにぎわいづくり、魅力や回遊性の向上をめざすものです。



備後国之内三原城所絵図

正保元年(1644)に幕府が諸藩に命じて作成させた絵図のうち、三原城と城下町の絵図  
出典：国立国会図書館デジタルアーカイブ

### 2 まちなみづくりビジョンの位置付け

魅力あるまちなみを保全・創造するためには、建物や道路などのハード整備だけでなく、景観ルールづくりや定住促進、商店街・コミュニティの活性化など様々な取り組みが必要です。そのためには、本町地区に関わる市民と地域団体等、市など多様な主体が将来ビジョンを共有し、主体的・計画的にまちづくりに取り組まなければなりません。

このため、ワークショップで取りまとめる「私たちの提案」を「本町魅力あるまちなみづくりビジョン」と位置付け、本町地区に関わる多くの市民が誇りや愛着を持ち、市内外の人からも魅力的に思われる本町地区となるよう、将来めざすべき本町地区の姿を描き、多様な主体と共有することで、本町地区で様々な活動を生み、にぎわい創出につなげます。

なお、まちなみづくりビジョンに計画期間は定めません。

### 第3章 業務実施の手順とワークショップのテーマ，開催状況

#### 1 業務実施の手順

本業務は，住民等によるワークショップを6回開催し，そこでの話し合い・作業を通じて，4つのテーマと共通テーマに基づく内容を提案として整理するとともに，提案書をもとに本町西国街道地区まちなみづくり基本構想を策定します。

さらに，その後の展開として，地区全体の住みよさや商店街等のにぎわいづくり，魅力や回遊性の向上をめざし，個人等，地域まちづくり団体，市による主体的かつ協働による取組の具体化を促進します。

#### ワークショップの開催経過



＜ワークショップを通じての検討の方向性や提案イメージ＞

■テーマ1：景観ルールづくり…まちなみ景観(建築等)のルールをつくり、景観の保全・形成の道筋をつける

- 特色・よいところを守る
- き損している箇所を直す・修繕する(元のようにする)
- 特色を活かしながら(ルールに基づき)改修・増築する
- 街並みと調和する形で(ルールに基づき)建て替える・新築する
- 修景などへの支援策, ルールの普及・管理 等々

【これまでの主な取組】

- ・市中心部のランドデザインの取組
- ・歴史的建築物把握調査
- ・景観条例(県)に基づく届出 など

■テーマ2：施設整備…公共施設等の整備(対象, 内容・デザイン等)を提案・要望する

- 道路の舗装(材質, デザイン, 色…)・歩行者空間の確保(安全, 快適)
- 照明・街路灯(材質, デザイン, 高さ, 色…)
- 無電柱化(電線類の地中化, 軒下配線など)
- ポケットパーク(場所, 設備, 植栽, デザイン…)
- 防災・防犯の施設・設備 ○その他(案内板など)
- 維持管理・活用(行政, 住民等の行うこと・できること) 等々

【これまでの主な取組】

- ・本町中央公園へのトイレ整備 ・道路の整備
- ・三原城跡歴史公園の整備 など

■テーマ3：地域資源活用…地域資源の活用を提案し、具体化の道筋をつける

- 地域資源の把握と活用できる(したい)地域資源の抽出
- 地域資源の活用策: 個々の地域資源, それらのネットワーク
- 活用に向けた協力・支援, 取組主体, 資金の確保
- 維持管理の仕組み(担い手) 等々

【これまでの、又は続けている主な取組】

- ・山脇邸の再生(「カフェ・レストランよがんす」の運営) など

■テーマ4：商店街・コミュニティ活性化…活性化(魅力づくり)の取組などを提案し、具体化の道筋をつける

- 続けてきた行事・活動(「半どん夜市」など)の継承・発展
- 行われなくなった行事等の復活・再生
- 新たな取組(活動)の創出
- 防災・安全に関わる取組
- 取組主体, 資金の確保, 担い手の確保・育成 等々
- ※公共施設の整備, 空き家の再生などは, 上記(■)での取りまとめを検討

【これまでの、又は続けている主な取組】

- ・「半どん夜市」, 「おひなまつり」の開催
- ・「本町縁がわサロン いろは」の活動 など

共通テーマ…人材育成やまちなみづくり(まちづくり)の組織をつくる・強化する(提案し、具体化の道筋をつける)

- 自分・地域でできること, 行政が担うこと(要望すること), 協働で進めることなどの調整・方向づけ など
- 景観づくりのルールの普及・管理, 地域資源の活用や活性化の取組の担い手・主体
- 全体的なまちづくりや連携の組織, 話し合いや情報交換(情報の共有化)の場…

提案書としての取りまとめ

市長への報告, 地区住民等への情報の提供・共有化・意見把握↓取組の具体化

三原市としての役割: 公共施設の整備など

## 2 ワークショップの開催状況

本業務においてワークショップは、平成30年度・31年度（令和元年度）の2か年で6回開催し、参加者の構成は次のようになります。

○WSメンバー

- ・住民等（町内会，商栄会，地域活動団体，イベント主催者，寺社，NPO，公募）33人
- ・学生（県立広島大学）4人
- ・市職員（WSのメンバー）4人 ※事務局は除く

以上41人

○アドバイザー2人，オブザーバー1人

○事務局（都市部）4人

○WSの開催支援（コンサルタント）4人

この他、「広島県魅力あるまちなみづくり支援事業」の担当課である広島県都市計画課職員の参加，体験的な参加（高校生など），及び見学者もありました。

以下、平成30年度・31年度（令和元年度）におけるワークショップの開催状況を整理します。

## 第1回ワークショップの振り返り

日時：平成30年(2018)10月13日(土) 13:30~17:10 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室  
参加者：住民・関係団体の皆さん16人、アドバイザー1人、オブザーバー1人、広島県2人、三原市10人、  
進行役4人、報道機関2人

### はじめに

○あいさつ・開催趣旨 ○ワークショップの全体の流れ ○まち歩きのポイントなど

### まち歩き~3つのコース(西・中央・東)に分かれて~

#### 西コース



#### 中央コース



#### 東コース



### グループワーク：特色・魅力、問題点などの検討~班(A~D)ごと~

それぞれの班で、特色・魅力(資源)、問題点・心配な点などの検討⇒成果(マップはP)

#### A班



#### B班



#### C班



#### D班



### 全体会

○班ごとの発表 ○アドバイザー、オブザーバーのコメント ○終わりのあいさつ

#### 西コース

このコースで最初に歩いた本町通り商店街(旧西国街道)には、江戸後期の建物が幾つか残り、明治から昭和初期の建物が多数あります。また、電柱や街灯は景観上の問題がある一方で、車から歩行者を守っていること、建物の軒に車(トラック等)が接触しないようにしていることも実体験しました。

コースやその周辺には、魚屋小路、宗光寺小路、鍵型小路、香積寺小路などの歴史的な道、数々の神社、眺望点、江戸時代の石組水路、近代化遺産、桜や梅の名所などもあります。実際に歩いてみると、あまり活用されていないものがあることにも気づきました。



宗光寺小路

#### 中央コース

このコースには妙正寺坂、阿房坂、大島神社参道などの坂道が多くあります。

妙正寺坂の周辺には、成就寺とその境内にある淡島神社、サクラの名所である本町中央公園があり、市街地や瀬戸内海の絶好の眺望ポイントもあります。なお、淡島神社は女性の守り神で半どん夜市の発祥の地ということです。

阿房坂は妙正寺坂、大島神社参道、宗光寺小路をつなぐ趣のある道で、その中央付近から登る大島神社参道は、連続する朱色の鳥居(所々、色落ちあり)が印象的で、眺望を楽しむこともできます。



歴史のある町家

#### 東コース

このコースでは、三原城跡歴史公園を右手に見ながら、斜面地の市街地に入りました。そこには多数の寺社(成就寺・淡島神社、生田寺、妙正寺、大島神社、正法寺)があり、参道や小路、歴史的な建物、河原谷川と橋、眺望ポイントなども確認することができました。

他のコースを含め、こうした資源の中から、古くて味のある建物や道、絶好の眺望ポイントを選び、“本町三(または八景)”などとして活用することなどを、歩きながらイメージすることができました。

あっという間に、まち歩き的时间が過ぎました(他も同様)。



大島神社参道と眺望

## 第2回ワークショップの振り返り

日 時：平成31年(2019)1月26日(土) 14:00~17:10 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室  
 参加者：住民・関係団体の皆さん26人，県立広島大学の学生の皆さん4人，アドバイザー・オブザーバー3人，広島県2人，三原市11人，進行役4人，見学者2人

### はじめに

- 前回の振り返りと成果
- 今日の進め方・内容
- みんなで進めるまちづくり (講演)：『地域資源の発見から住民の手によるまちづくり』吉田 倫子 先生
- まちの将来像などを考えるポイント (アドバイザー，オブザーバー)

### めざすまちの姿(将来像)・目標⇒必要な取組

4つの班それぞれで、めざすまちの姿(将来像)・目標、必要な取組について話し合いました。

**A班**



**B班**



**C班**



**D班**



### 全体会

- 班ごとの発表
- アドバイザー，オブザーバーのコメント
- 次回以降の進め方と希望する班(4つのテーマ(班)から第1・第2希望を用紙に記入)
- 終わりのあいさつ

### 第2回ワークショップの成果…「めざすまちの姿(将来像)・目標、必要な取組」に関する意見

- ※「めざすまちの姿(将来像)・目標」に関する意見を踏まえ、たたき台を作成⇒それをもとに検討
- ※「必要な取組」は第3回WSの資料や進め方に反映

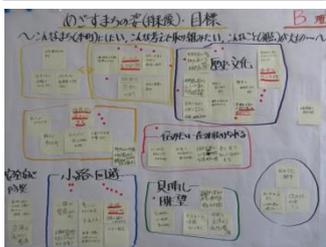
#### A班

めざすまちの姿を「コミュニティ・住む」，「魅力づくり・発信」から整理。前者は「交流・連携，マナー，住みよさ」，後者は「歩いて楽しい，体験，歴史，眺望，町家」などがキーワード。  
 取組として，多種多様なソフト及びハードが提案。



#### B班

めざすまちの姿として，住民のためのまちづくりは，住んでみたい人，来訪者も多くする。人と人をつなぐまちなどのキーワードも。  
 取組として，自分たち(地域)で行いたいことが多数出されており，チャレンジする人を応援するNPO設立も提案。



#### C班

めざすまちの姿として，防災・安全を含めた住みよさ，歴史，景観・空き家活用による魅力づくり，交流や観光・PRなどがキーワード。  
 取組として，情報発信や案内板・案内所，防災など，地域と行政が連携した取組も多数提案。



#### D班

めざすまちの姿として，若者，高齢者を意識したまちづくり，住民が主役のコミュニティなどがキーワード。  
 取組として，町内行事の拡充などコミュニティ力の強化，若者の移住促進の取組，イベントの盛り上げなどが提案。



## 第3回ワークショップの振り返り

日時：平成31年(2019)3月30日(土) 14:00~17:00 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室  
 参加者：住民・関係団体の皆さん20人、県立広島大学の学生1人、アドバイザー・オブザーバー3人、  
 三原市4人、進行役4人、報道機関1人、見学者3人

### はじめに

- 前回までの振り返りと成果
- 今日の進め方・内容
- 取組を考えるポイント(アドバイザー、オブザーバー)

### めざまちの姿(共通)、テーマごとの目標や取組などを検討

テーマ別の4つの班で話し合いました。

#### 景観ルールづくり(班)



#### 施設整備(班)



#### 地域資源活用(班)



#### 商店街・コミュニティ活性化(班)



### 全体会

- 班ごとの発表
- アドバイザー、オブザーバーのコメント
- 終わりのあいさつ

### 第3回ワークショップの成果…4つのテーマ(班)に関する目標・方針及び取組など

#### 景観ルールづくり(班)

##### <景観づくりの目標・方針>

- ・和風イメージだけでなく、昭和の看板のある雰囲気も大切にしたい
- ・色や形などのゆるやかなルール
- ・人が住み続けたいくなる景観等々

##### <景観づくりの取組など>

- ・メインの計画形成の区域：西国街道、宗光寺小路、八坂道(西国街道付近)、新規の都市計画道路とその沿道
- ・その他の参道・小路：阿房坂、妙正寺坂とその沿道など
- ・高さはルール作りの第一歩…主な視点場から三原城跡の眺望確保
- ・新築や改修のとき、屋根(眺望も考慮)や壁などの色に配慮してもらう
- ・市役所に建築の相談窓：街並みに合う建て方、法制度、事例等々

#### 施設整備(班)

##### <施設整備の目標・方針>

- ・人の動き(動線)が集まる本町通り(にぎわう通りづくり)
- ・具体的な取組を煮詰めながら目標などを検討

##### <施設整備の取組など>

- ・本町45号線の整備：カマボコ状の改良、色分けで歩車分離、イベント時の一方通行、街灯の更新、防災を考慮した整備…
- ・小路・ネットワーク：緊急車両の通行、溝フタ、手すり、大島神社参道、案内サイン(名称表示板・説明板)、坂を健康増進の場に…
- ・活動の場づくり：案内・休憩の場、ベンチ、(本町)中央公園の整備…
- ・防災：防災看板・マップ、避難訓練・場所、防火水槽・消火器等々

#### 地域資源活用(班)

##### <地域資源活用の目標・方針>

- ・本町の生活文化を創出する衣食住
- ・本町ならではの資源を活かす：地理、小路、坂道、城下町等々

##### <地域資源活用の取組など>

- ・寺社、町家・街並み・西国街道、空き家の活用
- ・環境整備：名所づくり、城跡の環境整備(堀の浄化、雑草除去…)
- ・資源のネットワーク：ウォーキングコース…
- ・行事・祭：本町三大行事、行事・祭の復活、やっさ踊りを本町へ…
- ・まちの案内、情報発信：年中行事の案内表の作成、SNSの活用…
- ・体制づくり：ガイドの養成、本町勉強会、まず歩いてみる等々

#### 商店街・コミュニティ活性化(班)

##### <商店街・コミュニティ活性化の目標・方針>

- ・立ち寄りたくなるまち、行ってみたいと思われまち
- ・住んでみたいまちづくり
- ・歩きたくなるまち
- ・西国街道と城下町の風情が彩る三原本町等々

##### <商店街・コミュニティ活性化の取組など>

- ・祭・行事・活動：本町三大行事、ハロウィン祭でのまち歩き、坂道を利用した健康ウォーキング、昔の祭の復活…
- ・空き家活用：所有者・仲介者・利用希望者をつなぐ仕組み…
- ・商店街の再生：歩行者天国、人の流れをつくる店(誘致)…
- ・観光・交流：案内所、交流拠点…・NPOの設立、人材活用等々

## 第4回ワークショップの振り返り

日時：令和元年(2019)5月25日(土) 14:00~17:10 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室  
 参加者：住民・関係団体の皆さん 20人、県立広島大学の学生2人、アドバイザー・オブザーバー2人、広島県1人、三原市10人、進行役4人、報道機関1人、見学者8人(うち三原高校の先生1人、生徒4人)

### はじめに

- 前回までの振り返りと成果 ○今日の進め方・内容
- 本町地区の魅力づくりや課題解決のヒント(アドバイザー、オブザーバー)

### めざすまちの姿(共通)、テーマごとの目標や取組などを検討

4つの班で話し合いました。

#### 景観ルールづくり(班)



#### 施設整備(班)



#### 地域資源活用(班)



#### 商店街・コミュニティ活性化(班)



### 全体会

- 班ごとの発表 ○アドバイザー、オブザーバーのコメント
- 終わりのあいさつ

#### 景観ルールづくり(班)

- ＜景観ルールの役割＞
- 修繕、増改築、建替え・新築等を行う場合に考慮するルール・方法
  - 強制するものではなく、『ゆるやかなルール』として、景観づくりに活かしましょう
- ＜景観ルールと意見＞
- 建物の高さ**
- ・主要な眺望点(妙正寺、大島神社、中央公園)から三原城跡(天主台跡と石垣)を眺望できるよう、建替え・新築においては留意しましょう
  - ・中央公園付近の斜面の樹木の一部を、地権者の協力を得て伐採してほしい
  - ・宗光寺や中央公園からは、筆影山などの眺望も維持しましょう
- 色**
- ・無彩色または落ち着いた色彩を基調としましょう
  - ・推奨する色の幾つかを例示したい。一方で、避けたい色も示したい
- 屋根**
- ・新築・建替え等においては、原則、勾配屋根としましょう等々

#### 施設整備(班)

- ＜4つの取組への意見＞
- 本町通り(西国街道)再整備**
- ・歩行者優先の整備や交通規制が大切
- 小路・参道魅力づくり・ネットワーク**
- ・西町の寺院とのつながりを確保し、香積寺小路もネットワーク化
- 公園・広場魅力化**
- ・ワークショップスタイルで公園の再整備⇒まず、本町中央公園
  - ・防災機能の強化
  - ・城跡公園の地域としての活用
- 案内・交流・サイン整備**
- ・案内板はメインの通りのみで、小路は発見する楽しみ
  - ・歴史を感じるデザイン
  - ・資源の由来が分かる説明板
  - ・小路や坂の名称復活、名称の表示板の設置
- ＜主な取組の優先度＞
- ・小路・参道の整備(美装化、歩行環境)が最も優先度の高い取組、2番目にまちの防災機能の強化
  - ・これらに次いで、本町通りの道路の構成の再検討と美装化、サインの整備 等々

#### 地域資源活用(班)

- ＜6つの取組への意見＞
- 寺社活用**
- ・大島神社の鳥居の寄進、増設
  - ・宿坊体験、座禅・ヨガ
- 四季の行事**
- ・浮城まつり、甲冑行列など
  - ・寺のイベントの広報
- 生活文化発信**
- ・商店街の店の活用
  - ・地物を使った惣菜屋
  - ・「食」体験の古民家
  - ・いろは、まちづくり会社、観光協会の連携
- 町家活用**
- ・空き家への子育て世帯の同居促進
- 本町周遊ト**
- ・健康活動(寺に行くことも運動)
  - ・県立広島大学との連携
  - ・本町情報発信プロジェクト
  - ・若い人はインターネット
  - ・語る会(いろは)、DVD化
  - ・県立広島大学、学生との連携
- ＜主な取組の優先度＞
- ・「食」の体験機会の確保が最も優先度の高い取組、2番目に大島神社の鳥居の修繕・整備
  - ・これらに次いで、空き家の再生・活用、情報の把握・発信、伝統的な祭・行事の継承・復活 等々

#### 商店街・コミュニティ活性化(班)

- ＜7つの取組への意見＞
- 交流・支え合いのまちと担い手づくり**
- ・本町まちづくり協議会(仮称)の提案
- 四季の行事**
- ・寺社を活用したeスポーツ
  - ・駅裏への誘導
- 健康のまちづくり**
- ・公園でのスポーツイベント
  - ・まちを使った健康づくり
- 安全・安心のまちづくり**
- ・自主防災組織の強化
  - ・本町連合会による取組
- 空き家・空き地活用**
- ・空き家調査と所有者相談
  - ・本町の空き家バンク
- 商店街活性化**
- ・のれんや旗などの統一感
  - ・空き家の活用(店)
- 観光・交流**
- ・本町のキャラクターのサイン
  - ・店舗の観光案内所化
- ＜主な取組の優先度＞
- ・魅力ある店舗づくりが最も優先度の高い取組、2番目に大学と連携したイベントの充実と担い手の確保育成、参加・交流促進(案内・掲示板の設置)
  - ・これらに次いで、健康づくりイベント等の開催、交流拠点・案内所・休憩所の整備 等々

## 第5回ワークショップの振り返り

日時：令和元年(2019)8月24日(土) 14:00~17:05 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室  
 参加者：住民・関係団体の皆さん 19人, 県立広島大学の学生1人, アドバイザー・オブザーバー3人, 広島県1人,  
 三原市9人, 進行役4人, 見学者6人

### はじめに

- 前回までの振り返りと成果 ○今日の進め方・内容
- 本町地区の課題解決、取組の具体化(実行)に向けて大切なことなど(アドバイザー, オブザーバー)
- 支援制度の紹介(三原市)

### めざすまちの姿(共通), テーマごとの目標や取組などを検討

4つの班で話し合いました。

#### 景観ルールづくり(班)



#### 施設整備(班)



#### 地域資源活用(班)



#### 商店街・コミュニティ活性化(班)



### 全体会

- 班ごとの発表 ○アドバイザー, オブザーバーのコメント
- 終わりのあいさつ

### 【めざすまちの姿(将来像)についての案と意見】

めざすまちの姿は, 3案を提示し, 内容を話し合うとともに, 人気投票(●シール貼り)を行いました。  
 (案1)

**浮城に臨む瀬戸のまほろば** ●シール：14 (4つの班の合計：以下同様)

**西国街道・三原本町**

※まほろば

素晴らしい場所, 住みやすい場所という意味の日本の古語。  
 古事記に「真秀ろば」のある歌があります。

(案2)

**いつの時代も変わらぬ街**

**人の温もり・街の風景**

●シール：6

**未来につづく 西国街道・三原本町**

(案3)

**浮城と西国街道が彩る**

●シール：11

**住みよいまち・三原本町**

案1と2を組み合わせる案

**浮城に臨む瀬戸のまほろば**

**～人の温もり・街の風景 未来につづく 西国街道・三原本町～**

「いつの時代も変わらぬ街」と「未来につづく」はつながりにくいので、「いつの時代も変わらぬ街」は削除

### 【将来イメージのスケッチについて】

#### ■本町通り(西国街道)

- ・浮城が見える方向で描く
- ・路面に埋込サインを設置
- ・石畳風の舗装
- ・誘導標識を入れる, 街灯を工夫
- ・本町らしさの表現(のぼりなど)

#### ■宗光寺小路

- ・方針が感じられるイメージに
- ・安全・快適で楽しい通りに

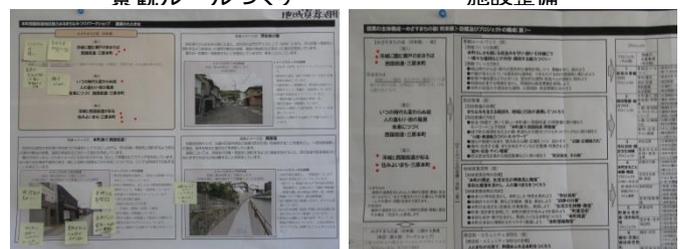
#### ■阿房坂

- ・健康ウォーキングロードを取り入れた坂に
- ・コイのまち三原と将来的にはサインの統一
- ・足元灯は低いものにする



景観ルールづくり

施設整備



地域資源活用

商店街・コミュニティ活性化

## 第6回ワークショップの振り返り

日時：令和元年(2019)11月30日(土) 14:00~17:00 会場：三原市役所 8階 会議室  
参加者：住民・関係団体の皆さん 22人, アドバイザー・オブザーバー3人, 広島県2人, 三原市 10人, 進行役4人, 見学者1人, 報道機関2人

### はじめに

- これまでの振り返りと成果 ○今日の進め方・内容
- アドバイザー・オブザーバーのコメント
- 視察研修の報告(府中市出口, 上下地区)…視察日：令和元年10月31日(木) 参加者：18人
- 各班で代表者2人を選任

### 「私たちの提案」の内容を確認し、具体的な取組につなげましょう！

下記の内容について、進行役が案を説明し話し合いました。

- 「私たちの提案」の提案文(はじめに)とワークショップの開催経過, 提案の骨子
- めざすまちの姿(将来像), 将来イメージ
- 4つのテーマによるプロジェクトと取組
- 全体的な推進体制…参加者から, 本町まちづくり協議組織案が説明(提案)

### ワークショップのまとめと今後の展開

- 本日及びこれまでのまとめ(アドバイザー, オブザーバーのコメント) ○今後の取組
- 参加者のみなさんの所感…参加者全員に話していただきました。
- 終わりのあいさつ



本町通り(西国街道)の将来イメージ



宗光寺小路の将来イメージ



阿房坂の将来イメージ

### <将来イメージへの意見>

- ・石畳風(若干の凹凸)ではなく, フラット(平面)の舗装にし, 歩行者や車いす, 自転車などが通りやすいようにする。イベントのときにも利用しやすくする。
- ・舗装の材料は劣化しにくいもの, 耐久性のあるものを使用する。
- ・無電柱化に取り組んでほしい。



参加者による「本町まちづくり協議会(仮称)」の組織案の説明



参加者のみなさん一人ひとりの所感

## 第4章 まちなみの現状と課題

### 1 本町地区の現状

#### (1) 人口・年齢構成

本町地区の人口は平成30年(2018)3月末現在1,294人(住民基本台帳)であり、その推移をみると減少傾向にあり、特に本町3丁目の減少が顕著(平成21年～30年:142人)です。

年齢構成を3区分別人口(平成27年国勢調査)でみると、本町地区の65歳以上人口の割合は41.0%(三原市全体33.7%)と高齢化が進んでいます。

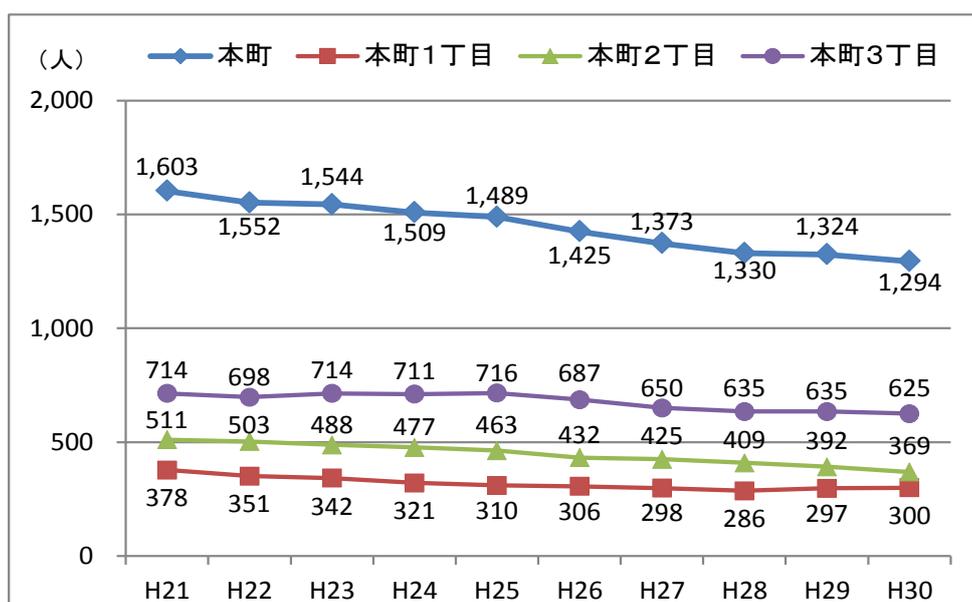


図 住民基本台帳(各年3月末時点)による本町の町丁目別人口推移

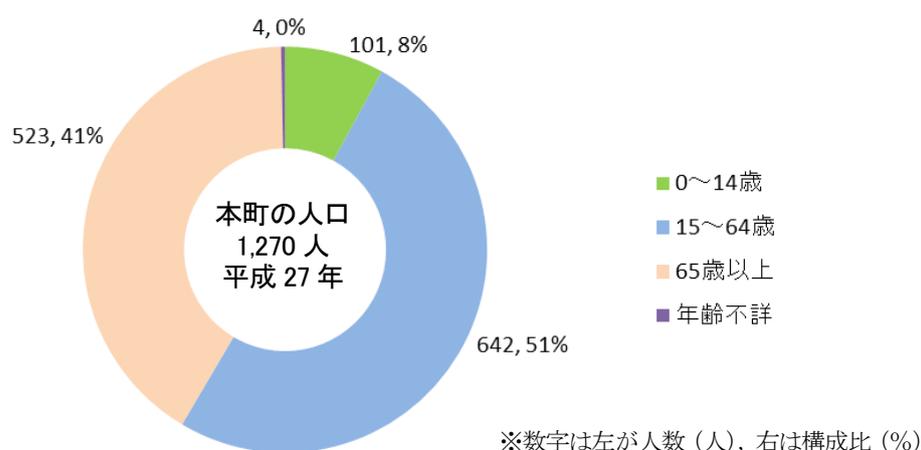


図 本町の年齢3区分別人口(平成27年 国勢調査)

## (2) 空き家

三原市（調査地区：三原地域、本郷地域の一部）の空家率は、平成 27 年度において 8.9%です。本町地区の空家率は 14.0%となっており、調査地区の中では西町に次いで高くなっています。本町地区の中でも、本町一丁目が 16.8%と最も高く、次いで二丁目 14.4%、三丁目 12.4%となっています。いずれも三原市（調査地区）の平均よりも高くなっています。

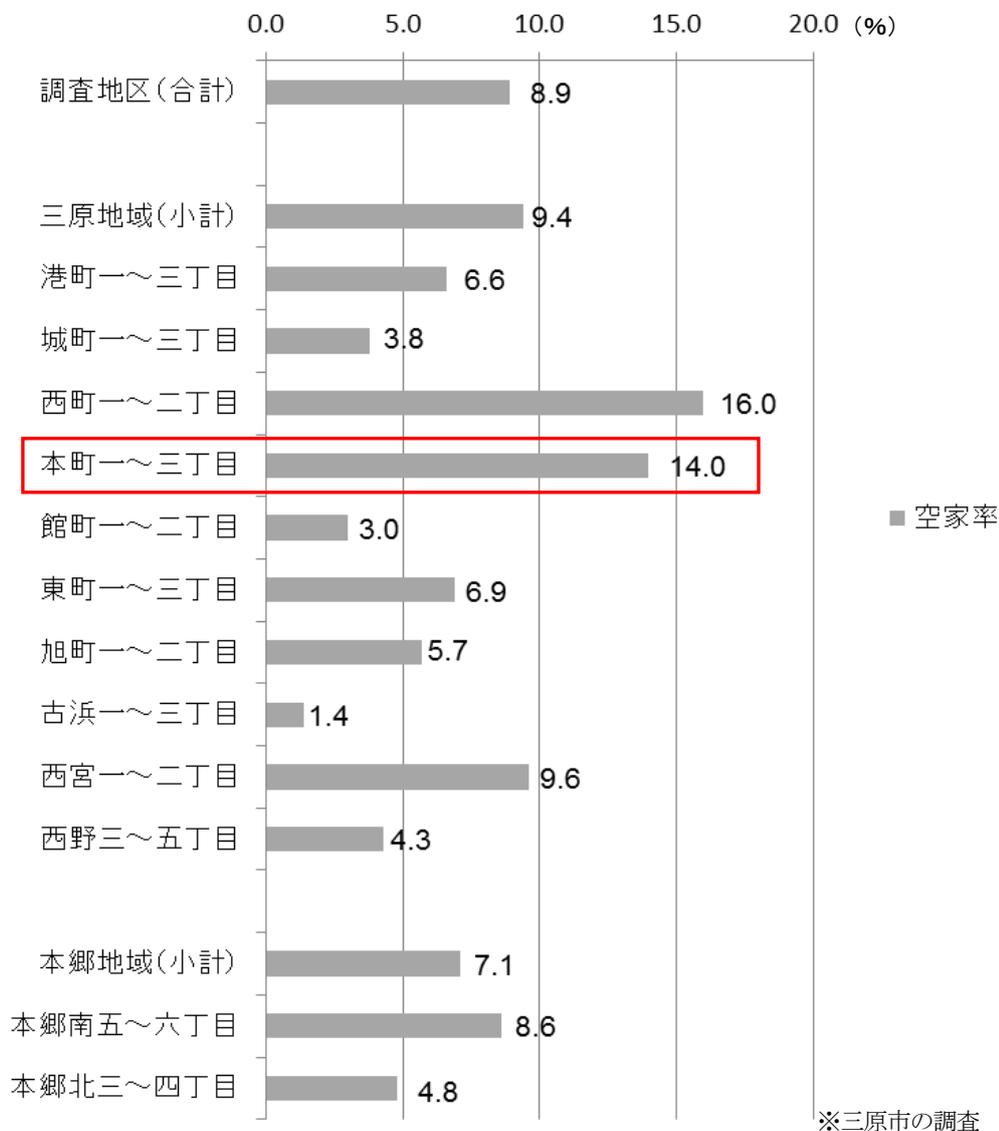


図 三原市(調査地区)の空家率(平成 27 年度調査)

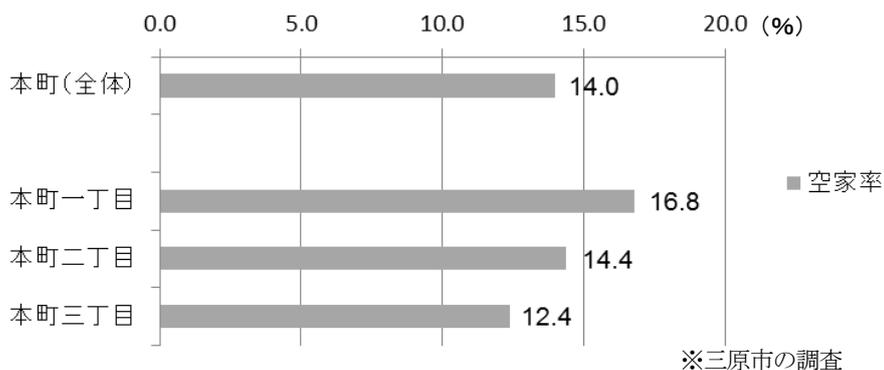


図 本町地区の空家率(平成 27 年度調査)

### (3) 本町地区の歴史的建造物の状況

西国街道沿いには、数多くの町家（街中の家、特に商家）が残っています。また、山裾に点在する寺社の参道沿いや参道を横断する小路沿いにも、歴史的な住宅（屋敷）などの建築物が数多くあります。

こうした建築物の多くは、城下町時代を基本とする町割（通り、小路、宅地などの構成）の中にあり、地割（個々の敷地など）の多くも、その時代の形を継承していると考えられます。

加えて、歴史的な井戸や石垣、鳥居、石段、塀、灯籠、石碑などの工作物、環境物件（古くからある樹木など）も市街地に息づいています。

本町地区の歴史的建築物は、県立広島大学による歴史的建造物調査（平成 29 年度：道路等から見た外観調査）をもとに主要な点を整理すると、次のようになります。

- ・ 219 件を確認：町家 135，長屋 51，屋敷 20，土蔵 4，幼稚園 2，種別不明 7
- ・ 大部分の建物の正面（ファサード）が改変されています。
- ・ その中で、歴史的建築物の全体的な特徴として、次の点をあげることができます。

⇒比較的間口の狭い町家が多い。

⇒町家、屋敷の外壁は、黒漆喰（しっくい）塗りと板張りの併用が多い。

⇒屋根は銀色の棧瓦葺きが多い。…葺き替えている可能性あり。

⇒屋根の軒先は、出桁形式のものが多い。漆喰で塗籠（ぬりごめ）られているものもある。



切妻平入り 2階建ての大規模な町家。1階・2階の窓には鉄格子がある。壁は黒漆喰塗り



切妻平入り 2階建ての町家。1階には出格子、格子のある開口部と玄関。2階には大きな格子窓があり、軒先は塗籠。壁は黒漆喰塗り。



切妻平入り 2階建ての町家。建築年代は古い（江戸末期の可能性あり）。2階には虫籠窓（縦の格子が並ぶ窓）風の開口部が2つある。



古い石組水路  
（江戸時代？）



鳥居と石段

## 2 本町地区の課題とまちなみづくりの方向性

本町地区の現状を踏まえ、課題とまちなみづくりの方向性をつぎのとおり整理します。

### 本町の現状, 課題及びまちづくりの方向性

#### 本町の現状

- ①人口(国勢調査)  
三原市:H12年 106千人  
→H27年 96千人(9.4%減)  
本町(全体):H12年 1,593人  
→H27年 1,270人(20.3%減少)
- ②高齢化率(国勢調査)  
三原市の人口に占める65歳以上の割合:H27年 32.7%  
本町の人口に占める65歳以上の割合:H27年 41%
- ③歴史的建築物等の状況(県立広島大学 吉田研究室調査)  
戦前に建てられた歴史的建築物が 276件, 工作物・環境物件が 64件
- ④空き家の状況  
三原地域の空き家率:9.4%  
本町(全体)の空き家率:14.0%

#### 本町の課題

- 人口減少・高齢化に伴うコミュニティの弱体化への対応  
・市全体と比較して急速に人口減少, 高齢化が進行している。  
・担い手の減少や高齢化によりコミュニティの弱体化が懸念される。
- まちの空洞化による魅力の低下と環境の悪化への対応  
・空き家や空き地, 空き店舗が増加して, まちの魅力とにぎわいが低下している。  
・住環境の悪化や活力の低下が懸念される。
- 多彩な地域資源の活用  
・数多くの歴史的建築物や環境物件の活用が期待される。  
・伝統行事や生活文化の継承・活用などが期待される。

### まちなみづくりの方向性

城下町の歴史文化や三原駅・三原内港に近接した交通利便性など本町の強みを活かし、住環境の改善と魅力の向上に取り組むことで、定住促進とにぎわいの再生をめざす。

### 3 本町地区の特色・問題点等

#### (1) 本町地区の特色・問題点等～“強み”“弱み”～

本町地区の資源・魅力及び留意点（問題点）については、第1回ワークショップにおいて、まち歩き（現地調査）を行い、その体験を含めて検討し、「資源・魅力マップ」及び「留意点（問題点）マップ」としてまとめました。

こうした点などを踏まえ、本町地区の“強み”“弱み”などとして整理すると、次のようになります。

#### 【本町地区の特色・問題点等】

本町地区の“強み”（資源・魅力、特色）	本町地区の“弱み”（留意点・問題点）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○西国街道と参道・小路，城下町の町割・遺産の存在</li> <li>○風情ある街並みと通り(西国街道・参道・小路)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧西国街道・三原曲がり（鍵曲がり）</li> <li>・宗光寺参道（小路），大島神社参道，香積寺小路</li> <li>・松林小路，魚屋小路，二葉小路，鍵型小路</li> <li>・阿房坂，妙正寺坂など</li> </ul> </li> <li>○数多くの歴史的建築物と寺社               <ul style="list-style-type: none"> <li>・西国街道沿いなどに数多くの歴史的建築物（江戸の建物～近代化遺産）</li> <li>・山手側を中心に多くの寺社が立地</li> </ul> </li> <li>○三原城跡と連続した地区               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の東側に三原城跡が立地（史跡指定地を一部含む）</li> </ul> <p>本丸の石垣がアイストップ（印象的な目印）</p> </li> <li>○眺望景観を楽しむことのできる場所の存在               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園，宗光寺，妙正寺など</li> </ul> </li> <li>○伝統的な行事の継承               <ul style="list-style-type: none"> <li>・半どん夜市，神明市，えびす祭など</li> </ul> </li> <li>○歴史上の出来事・物語り，記憶が息づくまち               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小早川隆景，秀吉，家康の足跡など</li> </ul> </li> <li>○JR 三原駅に近接した中心市街地</li> <li>○商業地と住宅地が共存したまち</li> <li>○魅力的な店，老舗（歴史のある店）などの存在</li> <li>○空き家・空き店舗等の再生・活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧山脇邸，「いろは」など</li> </ul> </li> <li>○「いろは」などの活動</li> <li>○住民同士のつながりの強さ・仲の良さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△歴史的建築物等の老朽化や減少，街並みの変容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建築物の老朽化（き損・劣化）や取り壊しが進むことの懸念</li> <li>・大島神社の鳥居の色あせ など</li> </ul> </li> <li>△空き家の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家率は14.0%（西町に次ぐ高さ）</li> </ul> </li> <li>△空き店舗の増加と商店街としての弱体化（一方で，魅力的な店，老舗なども存在）</li> <li>△人口の減少と高齢化</li> <li>△コミュニティ活動などの担い手の不足</li> <li>△西国街道（本町通り：本町45号線）の道路・歩行環境，交通安全上の問題など               <ul style="list-style-type: none"> <li>・カマボコ状の形状</li> <li>・溝・溝フタの問題</li> <li>・ボトルネック（途中で細くなる）</li> <li>・交通量が多いが，歩道などはない など</li> </ul> </li> <li>△狭あいな道路，坂道の多さ（一方で魅力ある資源の面もある）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の制約</li> <li>・防災・安全性の制約</li> </ul> </li> <li>△西国街道（本町45号線）の照明灯の老朽化</li> <li>△電柱・電線類の景観上の問題（一方で電柱は歩行者の安全確保の役割がある）</li> <li>△十分活かされていない地域資源の存在，ネットワークの不足</li> <li>△案内表示板（サイン）の不足</li> <li>△施設の維持管理，体制の留意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・眺望の制約（樹木の繁茂：中央公園など）</li> <li>・（あまり）活かされていない施設など</li> </ul> </li> </ul>



史跡三原城跡とJR三原駅。本丸の石垣がアイストップ（ランドマーク）



三原城跡の堀沿いには遺構の表示や広場、あずまやトイレなどが整備



空き家（山脇邸）を再生した「カフェ・レストラン よがんす」



石積みのある河原谷川。きれいな水が流れる



大島神社からの眺望。傾斜地の樹木が大きくなったり、茂ったりすると見えにくくなる



石柱タイプによる名称等標示。別デザインの石柱もみられる。



建物が老朽化し、土壁がき損。ファサードの看板（テナント）の劣化



切妻平入り2階建ての町家の横に、景観と調和しないデザインによる時間貸し駐車場の看板



史跡三原城跡北側の本町古浜線。横断歩道はないが、住宅地との横断者が多く、危険性が高くなっている。



本町通りの西側はボトルネック状で狭くなっている。



電柱・電線類が目立つ。通りの先（東方向）には三原城跡の石垣が位置する



小路の一つ「妙正寺坂」。度重なる工事により舗装がまだら模様となっているほか、側溝へのフタが未整備



小路の1つ「阿房坂」。手すり等がないほか、深さのある側溝へのフタが未整備



老朽化が進んでいる説明板。他の案内板等とのデザインの統一が期待される



「妙正寺坂」から本町中央公園への案内板の劣化



有効活用や再整備が期待される本町中央公園

■資源・魅力マップ～第1回ワークショップの成果（まとめ）～

- 行事・イベント**
- ・半どん夜市
  - ・神明市
  - ・祇園さん（神輿）
  - ・盆踊り
  - ・えびす祭り
  - ・おひな祭り（石のおひな様）
  - ・おにの豆（節分）
  - ・ちょっさ（子ども太鼓の台車）
  - ・祭りの時の沿道の装飾（だるま、行灯など）

- 地域力・コミュニティ**
- ・町内会加入率が高く、地域の協力体制がある
  - ・町内会の人たちの仲が良い（様々な意見が言い合える）
  - ・まちづくりに積極的、まちのことを好きな人が多い
  - ・住民同士が概ね知り合い（関わりが残っている）
  - ・路地を歩くと生活の息づかいが感じられる
  - ・歴史を案内できる人がいる
  - ・いろはの存在（10周年）

- 香積寺**
- ・金撞き堂
  - ・地藏さん

極楽橋跡（石碑）

徳川家康宿泊所跡  
（天下統一前に泊まったというストーリー含め）

- 通り・小路**
- ・寺社が小道でつながっている
  - ・本通りや1つ奥の細道にも歴史がある（小路が多い）
  - ・東西につながった小さな路地は、迷路のようで面白い
  - ・本町の路地散策周り、裏通り散策ができそう
  - ・路地に名前を付けると良い

**宗光寺小路**

- ・時代を経て多くの有名人が往来し、歴史的な建物が残っている

- 明眞寺**
- ・木々、梅、桜、藤
  - ・旧三原幼稚園（魅力的な建物、空間）
  - ・井戸
  - ・広い場所

**阿房坂**

- ・妙正寺への道が雰囲気がある
- ・おしゃれな坂道
- ・景色が良い（筆景山、海の見える景色）

**町屋・まちなみ**

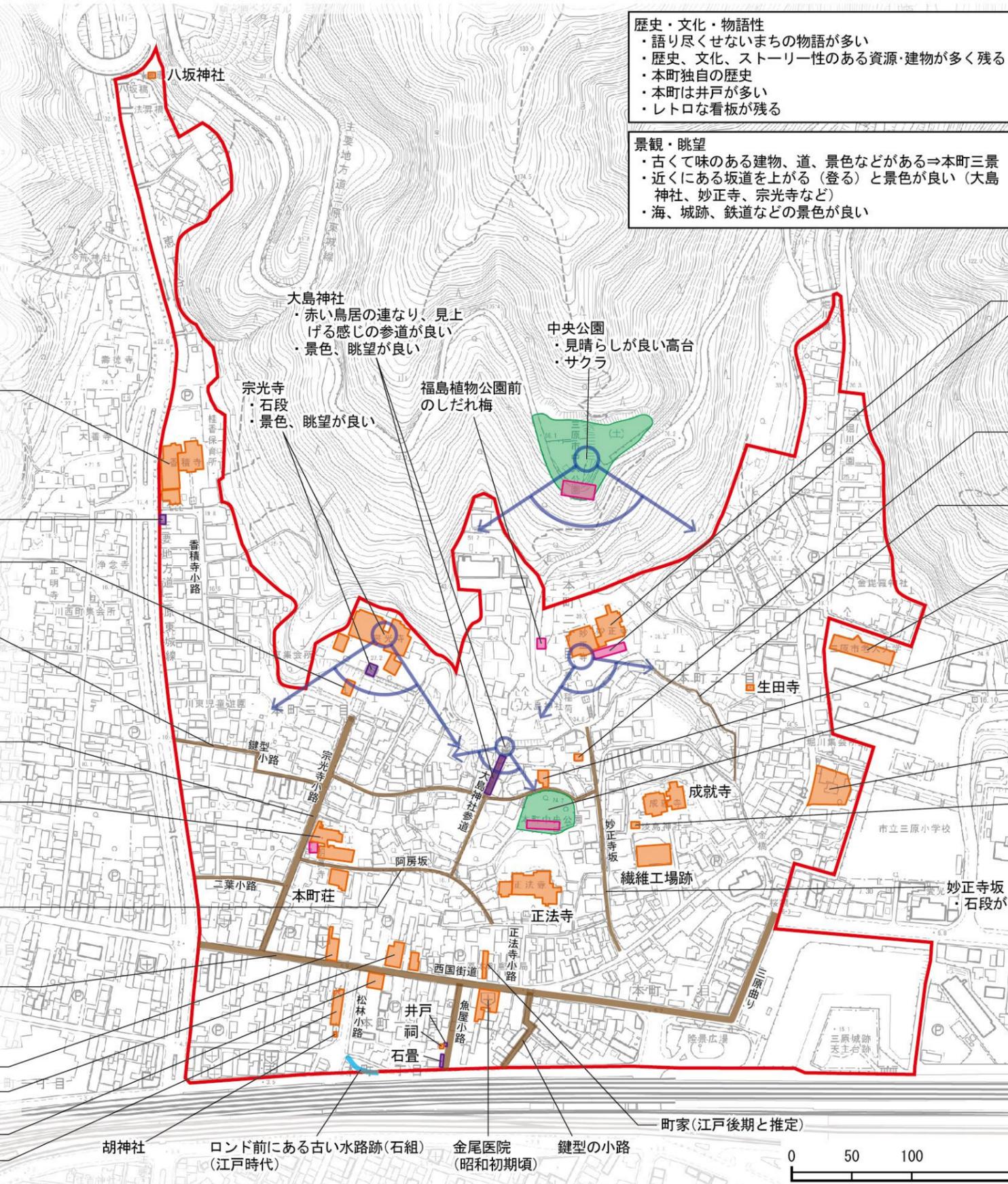
- ・江戸時代末期の町家が残っている
- ・古い家屋（格子のある建物）が多く残っている
- ・まちなみに統一感がある（格子、白壁、外壁（焼板目））

本町食堂（江戸後期と推定）

三原で一番古い創業の石田政造商店  
（瀬戸内海産物を扱っている）

旧山脇邸（現・カフェ・レストランがんです）

旧三原信用金庫本店（現・上田印刷）



- 歴史・文化・物語性**
- ・語り尽くせないまちの物語が多い
  - ・歴史、文化、ストーリー性のある資源・建物が多く残る
  - ・本町独自の歴史
  - ・本町は井戸が多い
  - ・レトロな看板が残る

- 景観・眺望**
- ・古くて味のある建物、道、景色などがある⇒本町三景
  - ・近くにある坂道を上る（登る）と景色が良い（大島神社、妙正寺、宗光寺など）
  - ・海、城跡、鉄道などの景色が良い

- 散策ルート等**
- ・まちなみ見学コースの整備が複数可能
  - ・周回できる散歩コース（散策に向くまちである）
  - ・市街地、海が見渡せるルート

- 生活環境等**
- ・住み良い（交通アクセスの良い立地、環境が良い）
  - ・西国街道は街灯があり、歩きやすい
  - ・電柱があることで、事故が少ない

**大島神社**

- ・赤い鳥居の連なり、見上げる感じの参道が良い
- ・景色、眺望が良い

**中央公園**

- ・見晴らしが良い高台
- ・サクラ

**福島植物公園前のしだれ梅**

**宗光寺**

- ・石段
- ・景色、眺望が良い

**妙正寺**

- ・浅野家3～12代の墓がある
- ・来年入城400年
- ・建物、彫り物が古く手がかかっている
- ・時の鐘（6時に鐘が鳴る）
- ・景色、眺望が良い
- ・サクラ

**鐘つき堂**

- ・開放してほしい

妙正寺へ繋がる小路は、堀、城跡が見える

**老人大学**

- ・大きい建物で活動の拠点になる
- ・新しいお店等の可能性

**坂井邸**

- ・門柱の目玉が珍しい

**本町中央公園**

- ・サクラ

**山名邸**

- ・大きくて古く、雰囲気がある

**淡島神社**

- ・女性の守り神
- ・巫女の舞
- ・6月2日に祭り
- ・半どん夜市の発祥の地

**妙正寺坂**

- ・石段が良い

**凡例**

- 歴史的建物(祠を含む)
- 歴史的構造物(石組、石段、橋、鳥居など)
- 眺望点
- 公園・広場
- 堀、川、水路
- 樹木・花
- 通り・小路

**名称など**

- 行事・イベント・コミュニティなど（全域または一定の広がり）
- 対象区域

■留意点（問題点）マップ～第1回ワークショップの成果（まとめ）～

**狭小道路・坂道**

- ・車が入れないので、生活に不便
- ・車が通らない小道の崩壊
- ・崩れかけた石垣など危ないところがある
- ・災害時・救急時の不安（狭い道路）を解消し、安心して暮らせるようにする
- ・民家の軒下（ほぼ民家）を通らないと行けない道がある
- ・坂道が高齢者・足腰の弱い人にはきつい
- ・杖がない（ポイントに置いてあると良い）

**空き家・老朽建物等**

- ・空き家の増加
- ・崩れそうな建物
- ・古い建物が多く、災害が心配
- ・江戸時代の建物が空き家
- ・歴史的な古い家、残した方が良い家はあるが、そのまま残す手立てがない
- ・魅力的な建物が使われていない
- ・立地が良い（学校区、駅等への利便性）が借りられる家がない

**土地利用・周辺環境**

- ・路地が狭く、建物の建て替えが難しい⇒土地の一筆化、解消法を
- ・奥に長い家が多く、土地利用が難しい
- ・空き地が多い
- ・草の放置
- ・野良犬、イノシシが多い

**人口対策**

- ・高齢化、人口減、担い手不足
- ・若者の増加が必要

水路の蓋が必要

水路に開口部が多い⇒ガードパイプ等で安全対策が必要

**旧三原幼稚園**

- ・伝統ある保育所が利用されていない
- ・広場を活用したい

**本町45号線の街灯・電柱等**

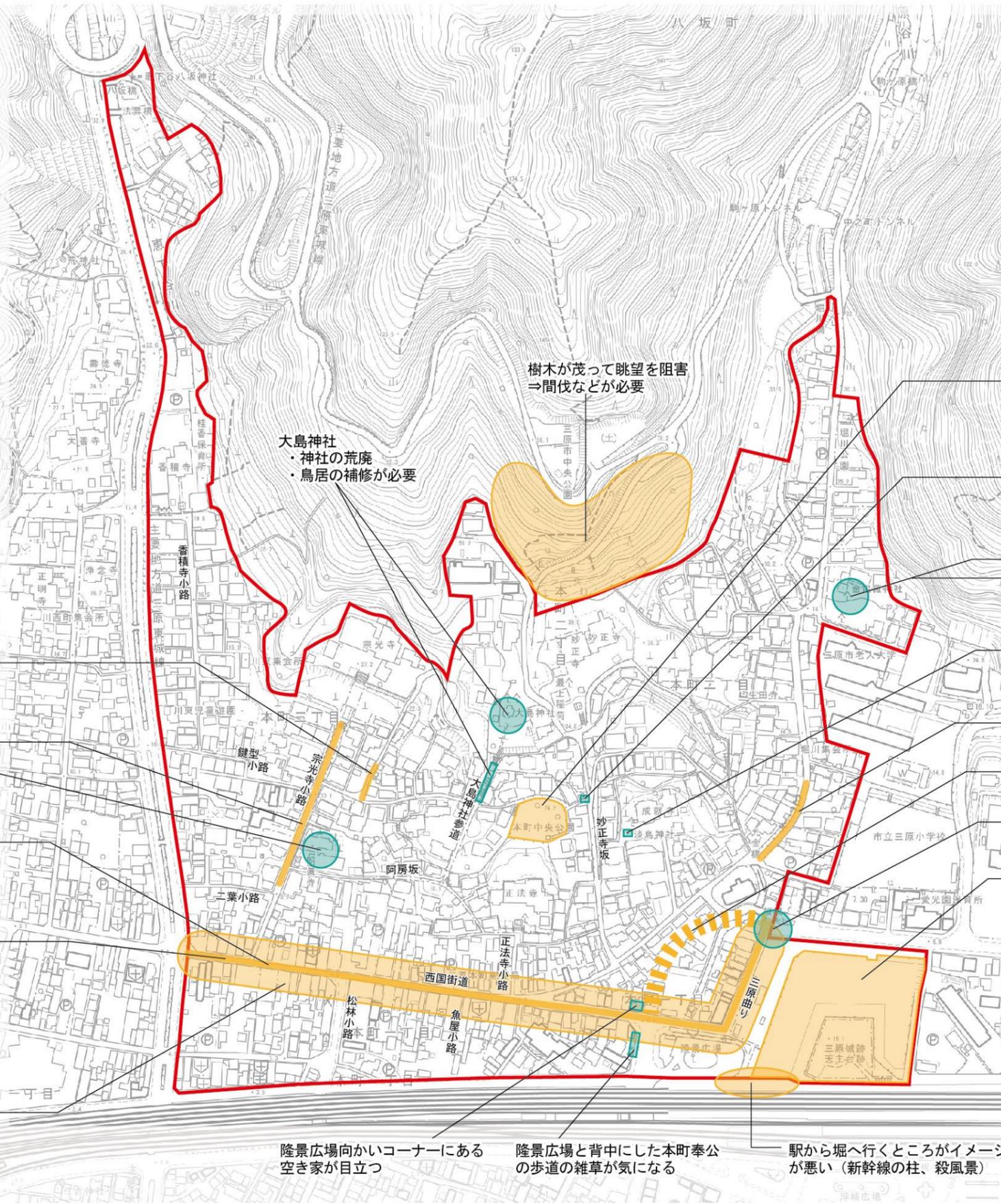
- ・街灯に統一感がない
- ・街灯が老朽化、サビている
- ・本町45号線は電柱、電線が多く美観が悪い
- ・道路脇に電柱があり、車の離合が難しい

**本町45号線の道路等**

- ・道路がかまぼこ状
- ・狭い道路を少し広くする（防災対策）
- ・本町通りの車歩道の整備
- ・溝のグレーチング蓋の整備
- ・雨水排水路の整備を要す
- ・イベント時の通行止め、日頃は一方通行とするなどの安全対策が必要
- ・子どもを通学させるのが心配（交通量が多い）

**西国街道の町並み景観**

- ・デザイン性がバラバラな家が建ってきている⇒統一したデザインへ
- ・城跡との景観の統一



**観光面の配慮**

- ・食事するところがない⇒休憩場所（喫茶店、ベンチ）の整備
- ・本町通りのにぎわいの復活
- ・営業している店舗が分かりづらい
- ・散歩するには住民、寺、墓参りの人などの理解が必要
- ・まちを語れる人の育成

**サイン・案内板・PR不足**

- ・サインの改善
- ・小道、寺社への誘導がない
- ・個々の名所に大きな看板・案内板がない
- ・町、通りから山手の寺院の歴史案内が見えない
- ・本町の人は本町の良さは知っているが、三原市の市民、その他の人は知らない
- ・坂を工夫して少し登れば景色も良いところだが、PRがない
- ・本町通りに町の地図表示、案内板

**本町中央公園**

- ・桜の木が枯れかかっている
- ・公園に草が繁っている
- ・町内会で整備するには限られる⇒市がもう少し積極的に動いてほしい

**本町中央公園の入口表示**

- ・妙正寺坂から中央公園に入る入口の標示がほしい
- ・表示・看板をきれいにする（古さも活かせるかもしれない）

**中台院金平様の復院  
金毘羅神社の再建**

**淡島神社**

- ・淡島神社のいわれ、女神、良いお話が分からない（説明板が離れている）

水路により、家が建てにくい道路

本町古浜線の整備の遅れ

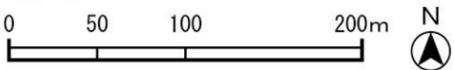
館町中央通りから堀川へ入るところが交通量が多く、横断が危ない

**三原城跡歴史公園**

- ・堀の水の浄化、透明度を上げる
- ・石垣に繁茂する植物の除去
- ・城跡公園を見る道路からの景観が良くない（街路樹、芝、電柱）
- ・三原城跡歴史公園の活用不足⇒イベントの開催

凡例

- 特定箇所
- 線または面的箇所(範囲)
- 名称など 全域またはそれに準じた範囲



隆景広場向かいコーナーにある  
空き家が目立つ

隆景広場と背中にした本町奉公  
の歩道の雑草が気になる

駅から堀へ行くところがイメージ  
が悪い（新幹線の柱、殺風景）

## 第5章 私たちの提案（まちなみづくりのコンセプト）

本町地区のまちなみづくりのコンセプトは、本町の現状、課題及びまちなみづくりの方向性と本町の特色・問題点等、更に市の主要施策や周辺のプロジェクトの動向などを踏まえ、「めざすまちの姿（将来像）」とそれを象徴的・モデル的に表す「将来イメージ」、及び「テーマ別の目標」によって示します。

### 1 めざすまちの姿（将来像）

【めざすまちの姿（将来像）】

**浮城に臨む瀬戸のまほろば**

**西国街道・三原本町**

**～住みよさ実感・街のにぎわい・未来につづくまち～**

本町地区の歴史文化や新たに創出される特色など有形、無形の資源を活かして地区の魅力を向上しながら、歴史的街並みと調和した快適な歩行環境などを整備することで『歩いて暮らせるにぎわいあるまち、そして温もりにあふれ住みよさを実感できるまち』をめざします。

※まほろば

素晴らしい場所、住みやすい場所という意味の日本の古語。古事記に「真秀ろば」のある歌があります。

素晴らしい場所には「にぎわい」や「魅力」などを含みます。

※まちなみ：建物や道路をはじめとした物的な環境・景観（街並み）とともに、そこで営まれている暮らしや産業（人々の営み・活動）を含めて捉えます。…広い概念

※街並み：建物や道路をはじめとした物的な環境・景観に限定する場合、「街並み」と表現します。

「

## 「めざすまちの姿（将来像）」を象徴的・モデル的に表す「将来イメージ」

### 将来イメージ① 本町通り(西国街道)

歴史的建築物は本町通りを特徴づける資源として大切にしながら、その印象・雰囲気と調和するよう周辺の建築物や敷地の修景、道路の美装化などを行った場合を想定しています。

電柱がなかったら、どんなイメージになるかを示すため、無電柱化でスケッチを作成しています。歩行者の安全確保や建物の保全（車による軒の破損などから守る）については、ここでは照明灯で対応することを考えています。



#### イメージスケッチの説明

- 個々の建築物は通りのイメージがより表現できるよう、実際の位置とは異なる形で配置し組み合わせています。
- 歴史的建築物を継承し、街並みを特徴づける存在として活かしています。
- 周辺の建築物は、近くにある歴史的建築物と調和するよう、外観を一部修景しています。
- 本町通りの美装化をイメージしています。
  - ・中央部の舗装は平面で耐久性のある素材・工法とし、路面の凹凸などを改善
  - ・歩行者優先の空間の確保（歩きやすい舗装）
  - ・路面への埋込サインの設置など
- 照明灯を集約・再整備して街並みと調和する、雰囲気を高めるデザインとしています。
- 街並みと調和する水路のフタ掛けを行っています。
- 街並みと調和したサインを設置しています。

## 将来イメージ② 宗光寺小路

本町通りから宗光寺小路に入ると、宗光寺の山門がアイストップ（目印）になり、その印象・雰囲気と調和するよう参道沿いの建築物や敷地の修景、道路の美装化などを行った場合を想定しています。

道路は本町通りと連続するデザイン（本町通りと同様）とし、無電柱化を想定しています。



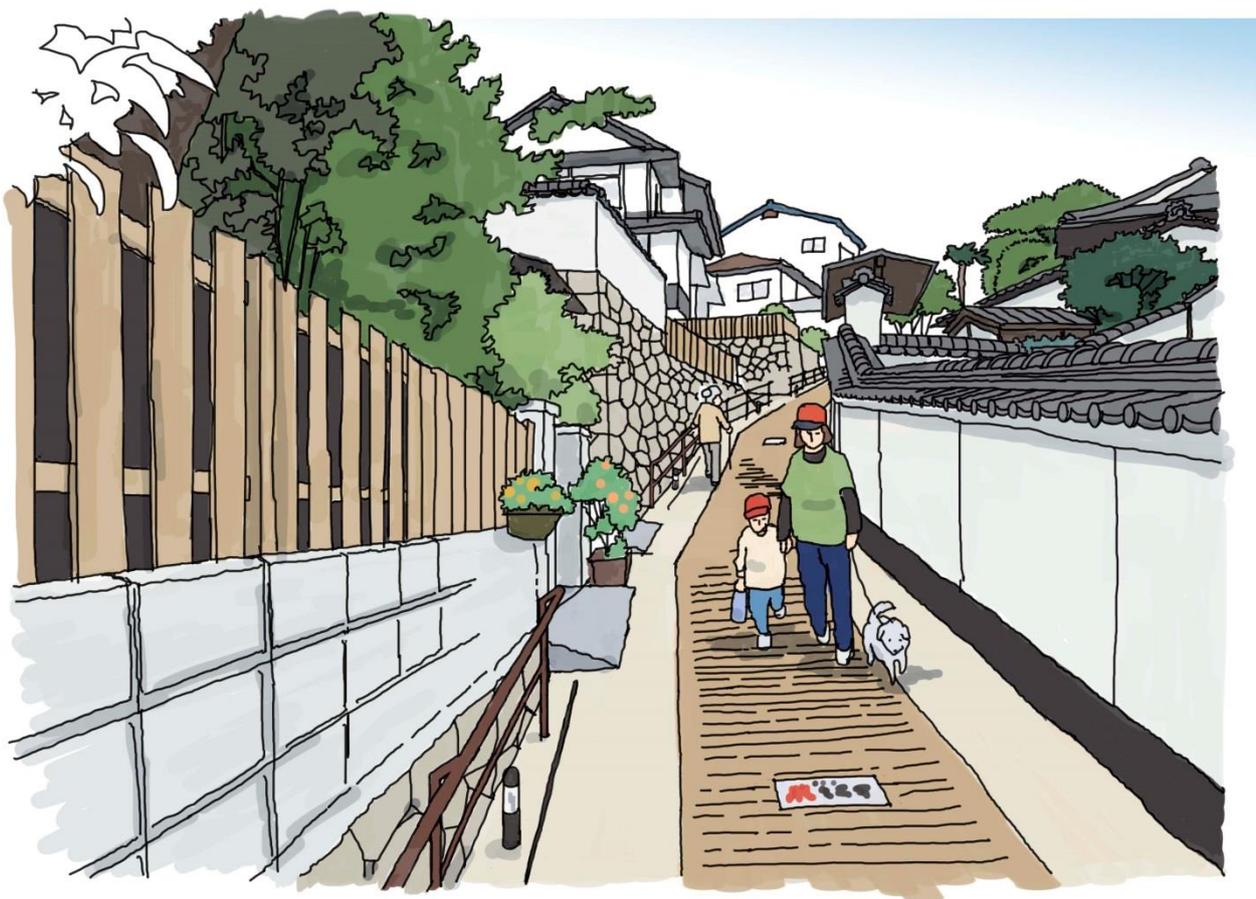
### イメージスケッチの説明

- 宗光寺の山門を目印にしています。
- 格子や塀など歴史的な意匠を有する建築物を継承しています。
- 比較的新しい建築物等は、歴史的な街並みと調和するよう、外観を一部修景しています。
- 一部の塀を歴史的な雰囲気としています。
- 市道の美装化をイメージしています。
  - ・本町通り連続した形
- 照明灯はやや低いポール型としています。
- 街並みと調和する水路のフタ掛けを行っています。
- 街並みと調和したサインを設置しています。

### 将来イメージ③ 阿房坂

阿房坂を取り上げ、沿道の石垣や塀など風情のある佇まいを継承・活用することを基本としています。

道路については、阿房坂の印象・雰囲気と調和するように改修・美装化を行うこと、傾斜のある区間などでは歩行支援や安全確保のために手すりや足元灯を設置すること、雨水排水路を暗渠化し、道路の有効幅員を広げることを想定しています。

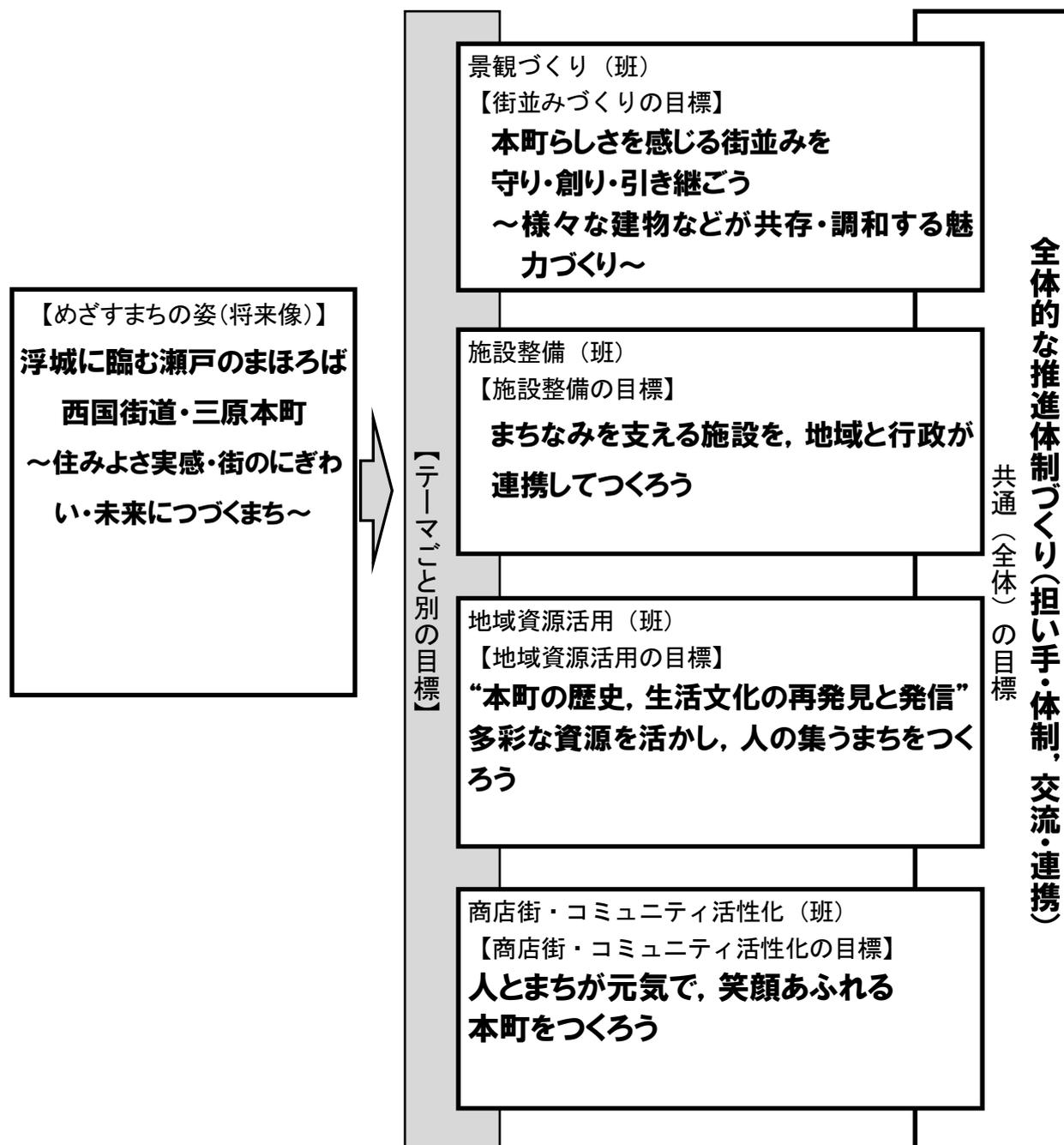


#### イメージスケッチの説明

- 現在の石垣や塀を継承しています
- 路面の美装化をイメージしています。
  - ・滑りにくい路面の仕上げ（中央部は現状を踏まえて補修・再整備）
  - ・風情を醸し出す路面の素材・色
- 暗渠（スリット側溝）にしています。
- 道の幅員や色に配慮しながら、石垣側に手すりを設置しています。
- 夜間、照明の光が近隣の迷惑とならないよう配慮し、低い足元灯を設置しています。
- 街並みと調和した案内板等（サイン）を、路面に埋め込んでいます。

## 2 テーマ別の目標

めざすまちの姿（将来像）を踏まえ、4つの個別テーマと共通テーマごとのまちなみづくりの目標を次のように設定します。



## 第6章 私たちの提案（まちなみづくりの基本方針）

### 1 街並みづくり

#### （1）街並みづくりの目標

まちなみづくりのコンセプト及び本町地区の建築物等や景観の現状を踏まえ、街並みづくりの目標を設定します。

##### 【街並みづくりの目標】

**本町らしさを感じる街並みを守り・創り・引き継ごう**  
**～様々な建物などが共存・調和する魅力づくり～**

##### 【街並みづくりの方針】

- 桃山時代から近・現代の歴史的な建物を残しつつ、景観を守り、高めよう
- 外観が変えられている歴史的な建物を、できるだけ当初の雰囲気にはげよう
- 新築や増改築などのときには、歴史的な建物・街並みとの調和に努めよう
- 斜面地を有する特徴を活かし、特徴的な眺望景観を確保しよう
- 本町の街並みや歴史的な建物、三原城跡、眺望景観を活かそう



宗光寺山門。桃山時代の建築といわれています

## (2) 街並みづくりガイドライン骨子

本町らしさを感じる街並みを守り・創り・引き継ぐためには、建築物の修繕、増改築、建替え・新築等、及び外構や屋外広告物などの整備を行う場合に配慮すべき基準が必要です。

今回の基本構想では、その基準の骨格をなす考え方を「街並みづくりガイドライン骨子」(以下「ガイドライン」という。)として取りまとめました。このガイドラインはあくまで関係者が尊重することを意図したもので、強制力のない「ゆるやかなルール」として、街並みづくりに活かそうとするものです。

※ガイドライン：指針、誘導目標、守ることが望ましい規範など

### ア ガイドラインの前提

#### ① 歴史的建造物の区分

ガイドラインの策定にあたっては、周辺の間々や緑など自然環境及び建築物を、その建築時期や意匠から大きく次の3つのタイプに分けて、保存・修景や建て方などを検討しました。

#### <建築物の例>

##### ■歴史的建築物(概ね往時の姿)

歴史的な建築物(町家、住宅、寺社、医院、旧銀行、事務所、和風や洋風建築など)

- ・概ね昭和30年以前に建てられた建築物で、建築当時の外観を全体的に残しているもの(歴史的な雰囲気が色濃く残されている建築物)

※町家:町に建つ商家及び職人の住まいの総称



##### ■準歴史的建築物(外観が改変されている歴史的建築物)

- ・概ね昭和30年以前に建てられた建築物で、外観が看板等で大きく改変されているが、往時又はそれに近い外観の再現が可能と思われるもの

⇒往時の姿またはそれに近い形で修繕された場合は「歴史的建築物」



##### ■一般建築物

- ・概ね昭和30年より後に建てられた建築物
- ・今後、新築、増築される建築物など(上記以外)



#### ② 区域区分

本町地区の建築物や道路、土地利用の状況などから、本町地区を2つの区域に区分します。

○街並みづくりの軸となる区域(通りなど)

- ・主要な通りある本町通り(西国街道)と宗光寺小路、都市計画道路本町古浜線、及びこれら道路の沿道

○上記以外の区域

- ・本町地区の住宅地を中心とした区域。

## イ ガイドラインの構成

ワークショップメンバーが提出した「私たちの提案」を踏まえ、建築物の修繕，増改築，建替え・新築等，及び外構や屋外広告物などの整備を行う場合に配慮すべき基準として次の構成で作成しました。

- 建物
  - ・全般：高さ，色彩
  - ・部分：屋根，外壁，開口部・玄関
- 外構
  - ・塀・門等（建築物前面の空地を含む）
- 駐車場（建築物と同一敷地を除く。同一置敷地は外構で対応）
- 付属物等
  - ・屋外広告物
  - ・設備等の修景
  - ・その他，街並みの演出（修景）

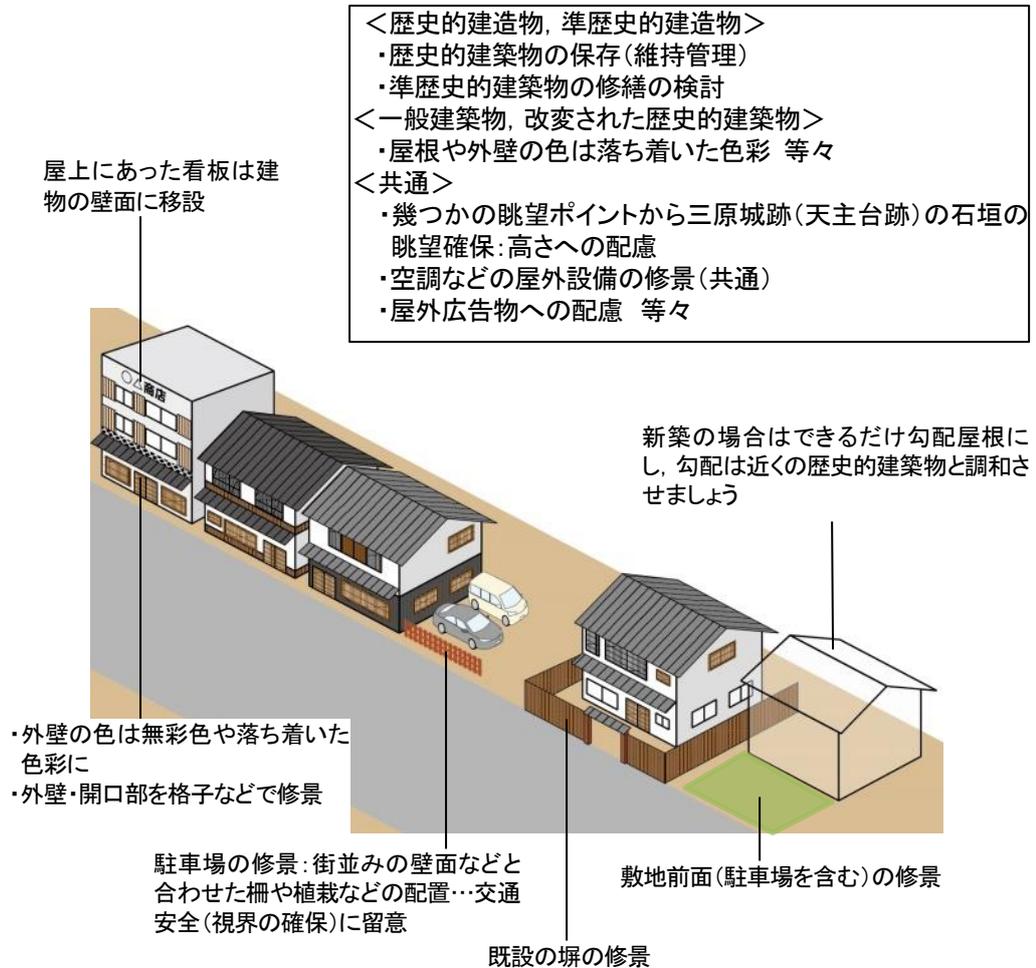


図 街並み形成の取組のイメージ（参考）

■街並みづくりガイドライン骨子（1／4）

街並みづくりガイドライン骨子 ～修繕，増改築，建替え・新築等を行う場合などに配慮すべき基準～ 『ゆるやかなルール』として，街並みづくりに活かしましょう			
項目	街並みづくりの軸となる区域（通りなど）	その他の区域	
建築物 全般	高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建替え・新築においては，低層（1・2階）または中層（3～5階）建築物とするよう努めましょう。</li> <li>○主要な眺望点（妙正寺，大島神社，中央公園）から三原城跡（天主台跡と石垣）を眺望できるよう，建替え・新築においては留意しましょう。</li> <li>※マンションの建設を抑制する方策の検討（※は今後の検討課題：以下同様）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅員4m未満の道路が中心の斜面市街地では，新築・建替えにおいて，低層または3階程度までの建築物とするよう努めましょう。</li> <li>○上記以外の区域（JR側，県道三原東城線沿いなど）では，建替え・新築において，低層または中層建築物とするよう努めましょう。</li> <li>○主要な眺望点から三原城跡（天主台跡と石垣），及び瀬戸の島々や山並みなどを望む景観の確保に留意しましょう。</li> </ul>
	色彩（色）	<p>&lt;屋根（屋根色）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○無彩色（白・灰色・黒）または落ち着いた色彩を基調としましょう。</li> </ul> <p>&lt;外壁・開口部・玄関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○無彩色または落ち着いた色彩を基調としましょう（基調色：面積の 1/5 以上，補助色：1/5 未満）。ただし，神社など伝統的に用いられてきた色彩は除きます。</li> <li>○その際，強調色（ごく一部，小面積で使用することにより，アクセントを与える色彩）を取り入れることもあり得ます。</li> <li>※推奨する色彩・材料，及び使用しないほしい色彩の提示の検討（色の3つの尺度…色相：色合いの違い，明度：明るさの度合い，彩度：鮮やかさの度合い）</li> </ul>	



妙正寺付近などからは，天主台跡の石垣を望むことができます

ちょっとメモ～暖色系で低彩度の色彩や無彩色～

こうした色彩は落ち着いた印象を与え，季節の彩り（緑の変化・紅葉，空，行事など）を引き立て，交通標識などを意識しやすくする役割を持ちます。

※寒色系：青や青緑など



本町地区の建築物（外壁，屋根など）の色彩は，無彩色や暖色系が中心となっています

■街並みづくりガイドライン骨子（2／4）

項目	街並みづくりの軸となる区域（通りなど）	その他の区域	
建築物	屋根	○新築・建替え等においては、原則、勾配屋根とし、勾配は近くにある歴史的建築物などとの調和に努めましょう。 ○本町通りなどでは、平入りの建築物が多く見られます。⇒原則、平入りで検討	○新築・建替え等においては、原則、勾配屋根としましょう。
	外壁	○往時の形態・意匠を有する歴史的建築物では、その維持(必要に応じて修繕)に努めましょう。 ○準歴史的建築物(外観が改変)では、可能な場合は建築基準法(準防火性能など)に留意し(他も同様)、歴史的な形態・意匠の再現など当初の雰囲気近づけましょう。 ○一般建築物は、近隣の歴史的建築物の形態・意匠、色彩との調和に努めましょう。	(上記の色彩を基本に景観づくりに取り組みましょう。)
	開口部	○格子などの歴史的な形態・意匠については、現状の維持(必要に応じて修繕)に努めましょう。 ○準歴史的建築物(外観が改変)及び一般建築物においては、可能な場合は歴史的な形態・意匠を取り入れましょう。	
	玄関	○格子などの歴史的な形態・意匠については、現状の維持(必要に応じて修繕)に努めましょう。 ○準歴史的建築物(外観が改変)及び一般建築物においては、可能な場合は歴史的な形態・意匠を取り入れましょう。	(上記の色彩を基本に景観づくりに取り組みましょう。)



4寸勾配程度の屋根で平入り(手前の2棟)。屋根の勾配が揃えば統一感が高まります



格子や漆喰壁、板塀、和風仕様の玄関扉

■街並みづくりガイドライン骨子（3／4）

項目	街並みづくりの軸となる区域（通りなど）	その他の区域
外構  塀・門等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○塀・門・柵を設ける場合は、和風を基調としたもの、または街並みと調和するもの・高めるものにしましょう。</li> <li>○塀については、コンクリートブロックでは新設・再整備しない、またはコンクリートブロックを用いる場合はその部分を低くするなど、防災性を考慮して整備しましょう。</li> <li>○コンクリートブロックを用いる場合(低い)は、街並みと調和するような仕上げにしましょう。</li> <li>○敷地内等に駐車場を設ける場合には、街並みとの調和に配慮しましょう。</li> </ul>	(必要に応じて、左記に準じて取り組みましょう。)
駐車場(建築物と同一敷地を除く)	○安全面(視界・視線の確保など)を考慮しながら、駐車場の修景(舗装、囲いなどの工夫)に努めましょう。	(必要に応じて、左記に準じて取り組みましょう。)
付属物等  屋外広告物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋外広告物は、原則、自己用のもの、または本町地区に関係する店舗等のものに限るようにしましょう。</li> <li>○屋外広告物は屋根(庇は除く)より上または屋上への設置・掲出は、原則、避けましょう。</li> <li>※JR(列車)からの視覚(視認性:見たときの確認のしやすさ)の確保や印象づけに関する屋外広告物のあり方(設置の位置、大きさ、デザイン)については、街並みとの調和などを含め、今後検討することとします。</li> <li>○屋外広告物を新たに設置する、または更新する場合は、街並みや周辺の景観と調和するよう、材料、デザイン、色彩、大きさに配慮しましょう。</li> <li>○看板・サイン(屋外広告物)の楽しいまち、工夫されたまちをめざし、街並みなどを紹介する魅力ある案内板・説明板、子どもを含めだれにでも分かる看板、スッキリした看板の整備、及び統一感のある看板・のれんづくり(それぞれの特色づくりは推奨)などに取り組みましょう。→検討事項:良い例を示すこと…インスタ映えする看板、昭和風のデザイン、切り文字の看板(浮かぶ文字)、ユニバーサルデザインの導入など</li> <li>○その他、広島県屋外広告物条例に基づいて対応しましょう。</li> </ul>	



歴史的な風情を感じさせる塀と石垣（阿房坂）



参考事例:建物前面の駐車場の修景(木材, 砂利)  
(出雲市「木綿街道」)

## ■街並みづくりガイドライン骨子（4/4）

項目	街並みづくりの軸となる区域（通りなど）	その他の区域
付属物等 設備等の修景	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路に面するなど外部から見える部分では、空調設備やメータボックス等の配置や色彩の工夫、格子による目隠しなどに努めましょう。</li> <li>○雨樋、その他付属物は、建築物や街並みと調和する色彩を基調とするとともに、素材についても検討しましょう。</li> <li>○自動販売機等の修景（街並みと調和する色彩、目隠し等）に努めましょう。</li> <li>○街並みと調和するよう、郵便受けなどの材料、デザイン（色彩も）などを工夫しましょう。</li> </ul>	<p>（必要に応じて、左記に準じて取り組みましょう。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○壁面や庇などに取り付けられている空調設備は、安全対策（落下防止）にも留意しましょう。（左記も同様）</li> </ul>
その他、街並みの演出（修景）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの通りなどの状況に応じて、関係者が協力・連携しながら、建物・敷地の前面の演出（修景：花、彫刻、のれん、いす、その他修景物の設置など）を工夫しましょう。</li> <li>○眺望景観の確保に向けた樹木の伐採・枝打ち（必要に応じて市の支援）、清掃美化活動などに取り組みましょう。</li> <li>○地域の理解と協力のもとに、街並みの雰囲気高める修景物などの設置（常設または期間・時間限定）を検討しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿房坂、妙正寺坂など主要な小路とその沿道（敷地など）において、地域ぐるみで修景・美化に取り組みましょう。</li> <li>○妙正寺坂は中央公園まで延伸してサクラロード（さくら坂）に！</li> </ul>



参考事例：ガスボンベの修景・目隠し  
（竹原市）



参考事例：空調設備の修景・目隠し  
（島根県津和野町）



参考事例：空調設備の修景・目隠し  
（倉敷市）



参考事例：自動販売機の修景（色）  
（竹原市）



参考事例：自動販売機の修景  
（大田市大森町「石見銀山」）



参考事例：メータボックスの修景（色）  
（庄原市東城町）



参考事例：消火栓の修景  
（兵庫県たつの市）



参考事例：のれん、長いす、花などによる「もてなし空間」づくり（庄原市東城）



参考事例：建築物前面（外観）の修景…  
木製灯籠（庄原市東城町）

### (3) 街並みづくりに関わるプロジェクト

「私たちの提案」を踏まえ、街並みづくりに関わるプロジェクトを次のように設定し、市民（個人等）、地域・まちづくり団体、市などが連携・役割分担しながら、その具体化をめざします。

## 1 街並みづくりプロジェクト

### ■街並みづくりガイドラインづくり

#### <主な取組>

- ゆるやかなルール「街並みづくりガイドライン」の策定  
(街並みづくりガイドライン骨子のブラッシュアップ)
- 街並みづくりの軸となる区域などで「街づくり協定」の検討

### ■街並みづくりガイドラインの管理・普及

#### <主な取組>

- 「街並みづくりガイドライン」の管理・普及

### ■街並みづくりの相談・支援

#### <主な取組>

- 相談体制
- 既存制度の活用 ⇒街なみ環境整備事業(下記)などの検討

### ■眺望景観

#### <主な取組>

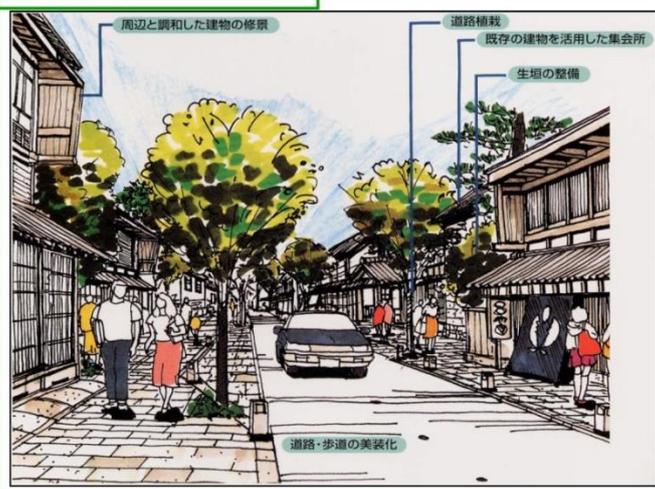
- 眺望景観の確保に向けた樹木の伐採

### ■街並み整備

#### <主な取組>

- 街並みづくりの軸となる区域などで先導的な街並み整備

### 【活用を検討する事業制度…街なみ環境整備事業】

<p><b>【街なみ環境整備促進区域】</b> 面積1ha以上かつ、①～③のいずれかの要件に該当する区域 ①接道不良住宅*率70%以上かつ、住宅密度30戸/ha以上 ②区域内の幅員6m以上の道路の延長が区域内の道路総延長の1/4未満であり、かつ、公園、広場及び緑地の面積の合計が区域の面積の3%未満である区域 ③景観法による景観計画区域又は景観地区の一部又は全部を含む区域、歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部又は全部を含む区域及び条例等により景観形成を図るべきこととされている区域 *接道不良住宅とは、幅員4m以上の道路に接していない住宅をいう</p> <p><b>【街なみ環境整備事業地区】</b> 街なみ環境整備促進区域において、地区面積0.2ha以上かつ、区域内土地所有者等による「街づくり協定」が締結されている地区</p>	<p><b>協議会の活動の助成</b> 協議会の活動の助成 勉強会、見学会、資料収集等（交付率：1/2）</p>	<p><b>地区内の公共施設の整備</b> 道路・公園等の整備</p> 
<p><b>街なみ景観整備の助成</b></p> <p>住宅等の修景 (外観の修景の整備)</p>  <p>景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の活用 (修理、移設、買取等)</p>  <p>(交付率：1/2,1/3)</p>		<p>生活環境施設の整備 (集会所、地区の景観形成のため設置する非営利的施設等)</p>  <p>公共施設の修景 (道路の美化化、街路灯整備等)</p> <p>電線地中化</p>  <p>(交付率：1/2)</p>

街並みづくりガイドライン検討図

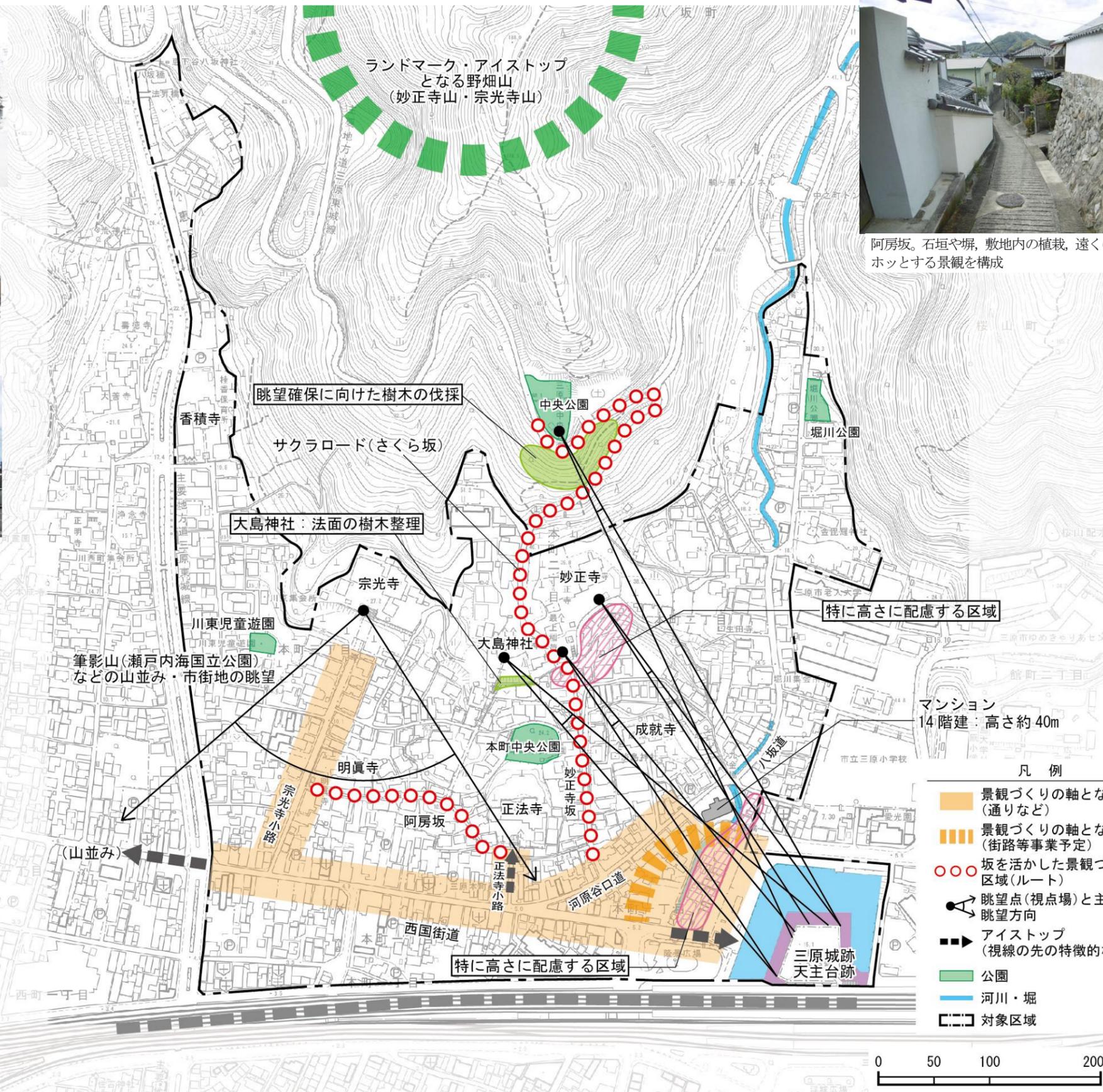
<歴史的建築物 (一部)>



(洋風の建築物)



<ファサード(正面)の修景の例>



阿房坂。石垣や塀、敷地内の植栽、遠くの山並みがホッとさせる景観を構成



妙正寺坂。さらに進むと中央公園につながる。サクラロードの拡充など修景が期待される



宗光寺の境内から南 (筆影山など) を見る



三原城跡 (天主台跡) から北西 (斜面市街地と背後の山など) を見る



三原城跡 (天主台跡) から西 (西国街道など) を見る

## 2 施設整備

### (1) 施設整備の目標

まちなみづくりのコンセプト及び本町地区の公共施設の整備状況などを踏まえ、施設整備の目標を設定します。

#### 【施設整備の目標】

#### **まちなみを支える施設を、地域と行政が連携してつくろう**

#### 【施設整備の方針】

- 安全・快適で、歩いて楽しい本町通り（西国街道）の再整備に取り組もう  
“本町通り(西国街道)再整備”
- 城下町の風情を伝える小路・参道などの魅力づくりとネットワーク化に取り組もう  
“小路・参道魅力づくり・ネットワーク”
- 誰もが笑顔で出会う、魅力ある公園・広場をつくり、活かそう  
“公園・広場魅力化”
- 案内・交流する場、まちを知るサインなどを整備・充実させよう  
“案内・交流・サイン整備”
- 防災安全性を高める施設整備などに取り組もう  
“防災安全”

## (2) 施設整備に関わるプロジェクト

「私たちの提案」を踏まえ、施設整備に関わるプロジェクトを次のように設定します。

このうち公共施設の整備は市が事業主体となりますが、地域住民・関係権利者の理解と協力、合意形成が大切であると考えます。

### 2 施設整備・魅力づくりプロジェクト

#### ■本町通り（西国街道）再整備

<主な取組>

- 交通規制の検討☆★
- 道路の構成・美装化☆★
- 電柱・照明灯の集約・再整備，無電柱化
- 都市計画道路本町古浜線の整備→歴史公園付近の本町通りは公園と一体的な整備（歩道整備，美装化など）

☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS

★:「優先的，早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

#### ■小路・参道魅力づくり・ネットワーク

<主な取組>

- 整備をめざす小路・ルートの設定★
- 道路の美装化，歩行環境の整備☆★
- 狭あいな道路の改善

#### ■公園・広場魅力化

<主な取組>

- 公園・広場の再整備（魅力づくり，有効活用）★
- 小広場（ポケットパーク）の新たな確保・整備
- 防災を意識した公園・広場の整備・活用（防災訓練，炊き出しイベント等）★

#### ■案内・交流・サイン整備

<主な取組>

- サイン（案内板，文化財やその他資源などの説明板，誘導標識，埋込型等の名称表示板，注意札）の整備（外国語併記の検討）☆★
- 観光案内や交流，休憩の場の確保・整備☆★

■本町通り（西国街道）の整備イメージ



現状（本町通り）

- 一方通行等による車両通行部の減少・歩行者空間の確保
- 道路の再整備による路面の凹凸解消
- 電柱の整理による歩行者空間の確保
- 飾りが置ける石の台座（ベンチ）
- 耐久性ある材料、街並みの雰囲気を高める色彩や質感

照明灯は再整備（デザインを検討）  
 ・車からの歩行者の安全確保や  
 建物の軒などの保護に寄与  
 ※将来イメージのスケッチを参照



整備イメージ（美装化等）

フラットな舗装（イベント時などにおける歩きやすさ）

舗装色や材質による歩行者優先の明確化  
 埋込型名称表示板の設置

側溝フタの整備（カラーグレーチングなど）  
 ・歩きやすさへの配慮

■宗光寺小路の整備イメージ



現状（宗光寺小路）



- 本町通りと連続した整備
- 街灯は円柱型（高さは2m程度）を想定

坂道整備イメージ

■阿房坂の整備イメージ



現状（阿房坂）



坂道整備イメージ

■施設整備検討図

- 【公園・広場】
- どの公園・広場を対象に再整備(魅力づくり、有効活用)を行うか
  - 小広場(ポケットパーク)の新たな確保・整備(空き地の活用など)
  - 防災を意識した公園・広場の整備・活用
- 【案内・交流・サイン】
- サイン(案内板、説明板、誘導標識、埋込型等の名称表示板、注意札)の整備(設置)
  - 観光案内や交流、休憩の場の確保・整備
- 【その他】
- 狭あいな道路の改善
  - まちの防災機能強化
  - (公衆)トイレの再整備や新設
  - AI(人工知能)、VR(仮想現実)などの活用

- 道路の美装化、歩行環境の整備  
・照明灯の整備



老朽化の進む本町通りの街灯(照明灯)

- 道路の美装化、歩行環境の整備  
・舗装(美装化)によるネットワーク化  
・景観に調和した手すりの設置  
・側溝のフタ掛け

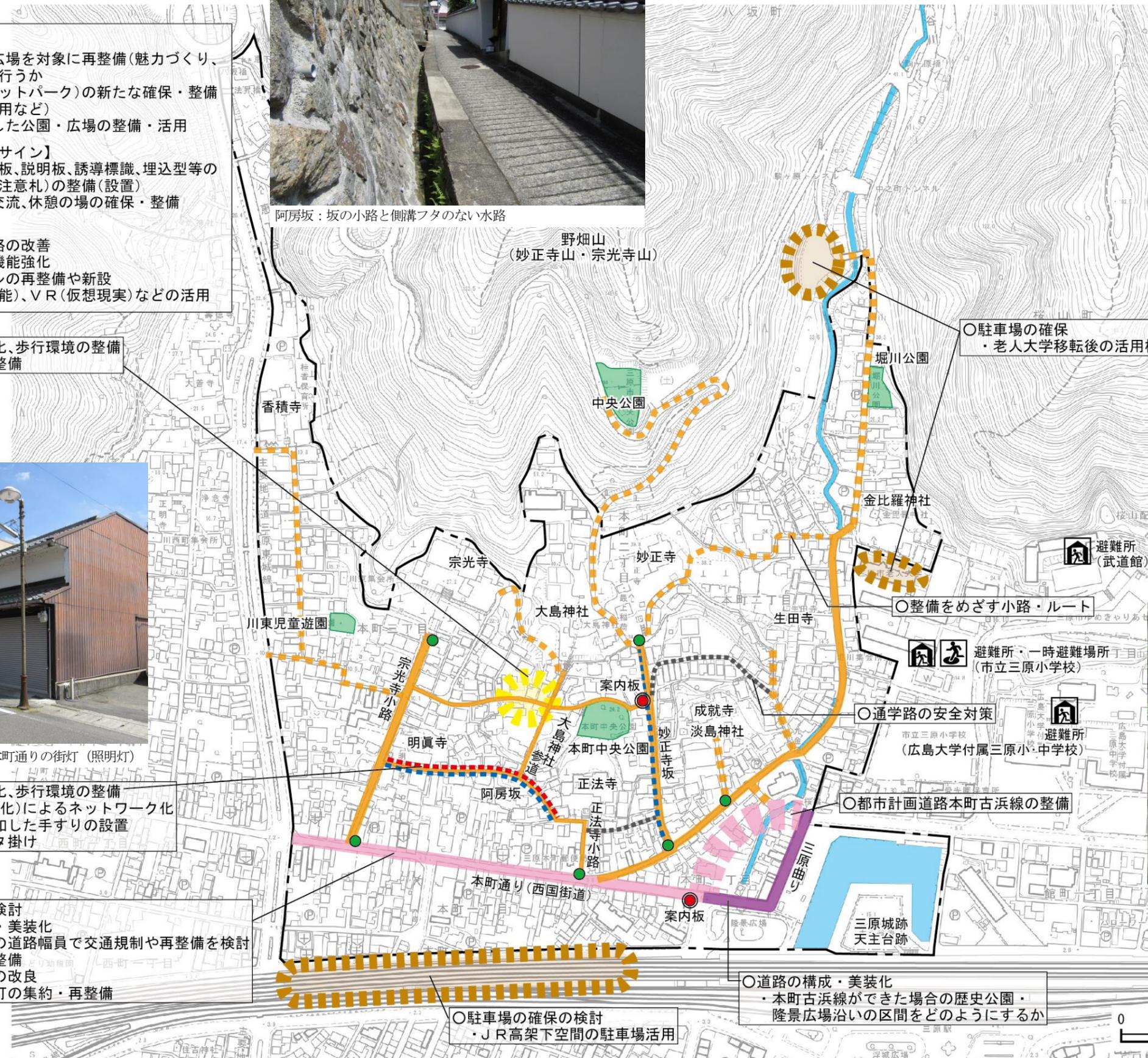
- 交通規制の検討  
○道路の構成・美装化  
○(当面)現状の道路幅員で交通規制や再整備を検討  
○舗装面の再整備  
○水路のフタの改良  
○電柱・照明灯の集約・再整備



阿房坂: 坂の小路と側溝フタのない水路



妙正寺坂: 工事の履歴が表れている舗装, 側溝フタ



- 駐車場の確保  
・老人大学移転後の活用検討

- 整備をめざす小路・ルート

- 通学路の安全対策  
市立三原小学校  
(広島大学付属三原小・中学校)

- 都市計画道路本町古浜線の整備

- 道路の構成・美装化  
・本町古浜線ができた場合の歴史公園・  
隆景広場沿いの区間をどのようにするか

- 駐車場の確保の検討  
・JR高架下空間の駐車場活用



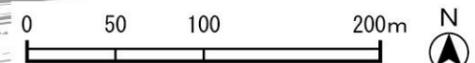
一般的なデザインの消火器ボックス(現状)  
→街並みと調和するデザインの検討(工夫)



桜橋(現状) →都市計画道路の整備の際は欄干などのデザイン, 説明板の設置を検討

凡例

- 公園  
■ 河川・堀  
■ 対象区域



### 3 地域資源活用

#### (1) 地域資源活用の目標

まちなみづくりのコンセプト及び本町地区の地域資源の現状を踏まえ、地域資源活用の目標を設定します。

##### 【地域資源活用の目標】

**“本町の歴史、生活文化の再発見と発信” 多彩な資源を活かし、  
人の集うまちをつくろう**

##### 【地域資源活用の方針】

- 数多くの寺社を活かし、本町らしさ・特色を高めよう **“寺社活用”**
- 四季折々の行事、祭などを継承、復活、創出しよう **“四季の行事”**
- 本町の生活文化（衣食住）を再発見し、発信しよう **“生活文化体験・発信”**
- 町家・空き家を活用して、本町の魅力や住みよさを高めよう **“町家活用”**
- 多彩な名所・魅力を活かし、周遊したくなる本町をつくろう **“本町周遊”**
- 本町の多彩な情報を分かりやすく発信しよう **“本町情報発信”**

## (2) 地域資源活用に関わるプロジェクト

「私たちの提案」を踏まえ、地域資源活用に関わる3つプロジェクト（寺社活用・歴史文化体験、本町まるごと体験・発信、町家&空き家・空き地活用）を次のように設定し、市民（個人等）、地域・まちづくり団体による取組を促進します。

また、市としても、地域のまちづくり活動を支援に努めます。

### 3 寺社活用・歴史文化体験プロジェクト

☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS

★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

#### ■ 寺社活用

##### <主な取組>

○大島神社の鳥居の修繕・整備★

○寺社の活用・再興

○寺社をつないだ活用

⇒サインは「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」で検討



大島神社の鳥居と「おひなまつり」



香積寺



宗光寺



妙正寺



明眞寺



正法寺



成就寺

#### ■ 歴史文化の記録・発見・活用

##### <主な取組>

○本町の歴史文化の記録・まとめ

○本町今昔写真展の開催と写真の収集・整理・活用

○A I（人工知能）、V R（仮想現実）などの活用

※「いろは」：郷土史講座（年4回）

参考事例:座禅体験



三原城の絵図  
写真展に絵図などの展示も検討



## 4 本町まるごと体験・発信プロジェクト

### ■四季の行事

#### <主な取組>

- 伝統的な祭・行事の継承・復活☆
- 本町まで祭を拡大(やっさ祭り, おひなまつり)
- 年中行事・イベントの案内表・カレンダーの作成
- 新たなイベントの企画・開催(西国街道祭など)
- 大学と連携したイベントの充実
- 担い手の確保・育成, 参加・交流促進★



やっさ祭り。踊りを本町通りへ

### ■生活文化体験・発信

#### <主な取組>

- 生活文化の再発見
- 「衣」「食」「住」の体験機会の確保★
- “市”の開催…「食」+α



参考事例:着付けと生花体験

### ■本町周遊

#### <主な取組>

- 参道・小路のブラッシュアップ
  - 名所・眺望の場の確保・整備
  - 周遊コースの設定と活用★
  - 西国街道の活用  
⇒「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」  
で検討
  - サインの整備 ⇒同上
- ※「いろは」:サンデーウォーク(年2回)



阿房坂

### ■本町情報発信

#### <主な取組>

- 情報の把握・発信★
- 本町案内人の確保・養成と学習・体験機会の確保



本町のまち探検(本町の案内)



中央公園からの眺望

## 5 町家&空き家・空き地活用プロジェクト

### ■町家活用

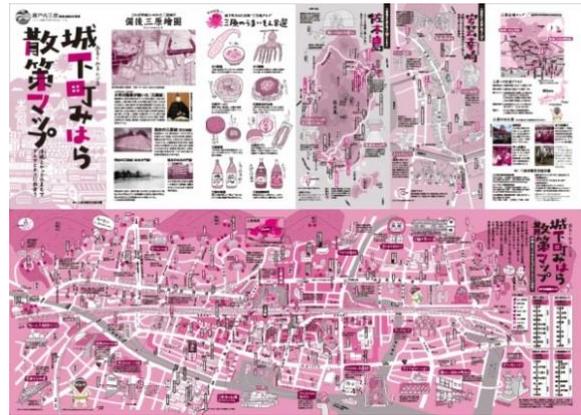
#### <主な取組>

- 歴史的建造物(建物など)マップの作成・活用
- 歴史的な建造物の保存・活用
- 空き家の再生・活用(下記)★

### ■空き家・空き地活用

#### <主な取組>

- 空き家・空き地の把握と対応策の検討★
- 空き家の利用希望者と地元との交流:空き家ツアー(住民も参加)などの開催
- 空き家の改修・除去
- 空き家の利用促進



本町を含む既存の観光パンフレット→本町を中心としたより詳しく魅力あるマップの作成を検討



旧・山脇邸を改修した「カフェ・レストランよがんす」



参考事例:古民家を改修し宿泊施設などとして活用。カマドも再生(島根県大田市)

## 4 商店街・コミュニティ活性化

### (1) 商店街・コミュニティ活性化の目標

まちなみづくりのコンセプト及び本町地区の商店街やコミュニティ活動などの現状を踏まえ、商店街・コミュニティ活性化の目標を設定します。

#### 【商店街・コミュニティ活性化の目標】

### 人とまちが元気で、笑顔あふれる本町をつくろう

#### 【商店街・コミュニティ活性化の方針】

- 活性化の基本となる交流・支え合いのまちと担い手づくりに取り組もう  
“交流・支え合いのまちと担い手づくり”
- 四季折々の行事、祭などを継承、復活、創出しよう  
“四季の行事”
- 本町の資源を活かし、誰もが健康で過ごせるまちをつくろう  
“健康のまちづくり”
- 子どもから高齢者までが安全・安心に暮らせるまちをつくろう  
“安全・安心のまちづくり”
- 空き家・空き地を活用し、本町の魅力や住みよさを高めよう  
“空き家・空き地活用”
- にぎわいと出会いが生まれる場となるよう、商店街の活性化に取り組もう  
“商店街活性化”
- 多彩な資源を活かし・つなぎ、観光・交流の本町をつくろう  
“観光・交流”

## (2) 商店街・コミュニティ活性化に関わるプロジェクト

「私たちの提案」を踏まえ、商店街・コミュニティ活性化に関わる3つプロジェクト（町家&空き家・空き地活用、観光・交流と商店街活性化、安全・安心と健康のまちづくり）を次のように設定し、市民（個人等）、地域・まちづくり団体による取組を促進します。

また、市としても、地域のまちづくり活動を支援に努めます。

### 5 町家&空き家・空き地活用プロジェクト(再掲)

☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS

★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

#### ■町家活用

＜主な取組＞

- 歴史的建造物(建物など)  
マップの作成・活用
- 歴史的な建造物の保存・活用
- 空き家の再生・活用(下記)★



本町を含む既存の観光パンフレット→本町を中心としたより詳しく魅力あるマップの作成を検討

#### ■空き家・空き地活用

＜主な取組＞

- 空き家・空き地の把握  
と対応策の検討★
- 空き家の利用希望者と地元との交流  
:空き家ツアー(住民も参加)などの開催
- 空き家の改修・除去
- 空き家の利用促進



旧・山脇邸を改修した「カフェ・レストランよがんす」



参考事例:古民家を改修し宿泊施設などとして活用。カマドも再生(島根県大田市)

## 6 観光・交流と商店街活性化プロジェクト

### ■観光・交流

#### <主な取組>

- 地域資源・商店街を観光・交流の資源としても活用
- 交流拠点、案内所(協力店に案内ステッカー・バナー)、休憩所の整備☆☆
- 観光マップ・パンフレット(トイレの表示も)の作成, 色んな所に配置・配付
- 駅からの案内サイン
  - ※その他サインの整備
  - ⇒「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」で検討
- 情報の把握・発信
- お土産づくり(「いろは」の活用など)
- 本町案内人の確保・養成と学習・体験機会の確保(再掲)



交流の場にもなっている「いろは」

- ・いろはカフェ (年5回)
- ・作品展 (年1回) など

### ■商店街活性化

#### <主な取組>

- 魅力ある店舗づくり★
- 高校生・学生など若者が訪れる商店街づくり(子ども・若者との交流など)
- 本町通りでの多彩な行事・イベント
- 駐車場の確保



三原城跡(天主台跡)のライトアップ  
→観光資源として活用



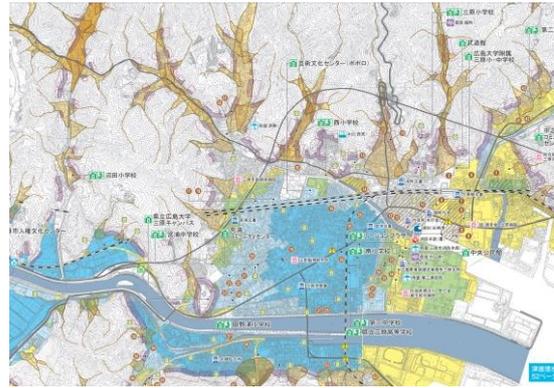
参考事例: 街並みを活かした「お通り」。小広場付近では火縄銃の演武なども実施(庄原市)

## 7 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクト

### ■安全・安心

#### <主な取組>

- 防火(防災)対策の充実・強化
- 防災マップの作成☆
- 避難場所と避難路等の確保・整備
- 安全な環境・設備の整備(ブロック塀, 屋外空調設備)
- 犯罪のない安全なまちづくり
- 鳥獣被害対策



総合防災ハザードマップ→本町地区の様々な防災・生活情報などを取り入れた「安全・安心マップ」の作成を検討

### ■健康づくり

#### <主な取組>

- 健康ウォーキングロード(ルート)づくり(「いろは」を起点としたルート等)☆
- 健康づくりイベント等の開催★

※「いろは」:百歳体操(週1回), 楽々貯筋クラブ(月1回), サンデーウォーク(年2回)



坂道は健康づくりの資源でも。各所に歴史遺産や自然, 眺望点などがあり, それらを体感しながらウォーキング(健康づくり)が楽しめます

### ■環境美化

#### <主な取組>

- 三原城跡の環境整備と活用(堀の水の浄化, 石垣の雑草の除去など)
- 環境美化(ゴミのポイ捨て対策, ペットの管理マナーの啓発)



三原城の堀

## 第7章 私たちの提案（今後の展開）

### 1 推進体制づくり

#### （1）推進体制の必要性

##### ■プロジェクトを具体化するためには推進体制が必要

○プロジェクトの具体化は、本町地区の市民や地域団体の主体的な取組みが基本となります。さらに、市民や地域団体等の横断的な取組が必要であるとともに、地区の枠を超えた多様な人・組織等の協力・支援、参加も大切です。

・例えば、街並みづくりや空き家再生・店舗づくりの専門家、本町が好きで様々な活動・ボランティアに参加してくれる人々 等々

○こうした市民や地域団体等が主体的に活動しやすく、各主体の力が発揮でき、かつ、その力を合わせて、更なる推進力となるような体制づくりが期待されます。

#### （2）推進体制（案）

全体的な推進体制を「本町まちづくり協議会（仮称）」とし、その組織イメージを次頁に示しています。

第6回ワークショップでは、参加者から「本町まちづくり協議会（仮称）」のめざすべき姿（案）が示されています。

＜「本町まちづくり協議会（仮称）」のめざすべき姿（案）＞  
西国街道のプロジェクトを契機に、さらなる本町地区の住民の絆を高め、  
生活しやすい  
歴史文化の豊かな  
住みたいとあこがれられる  
まちをつくることに持続的に取り組む組織

また、先行的に立ち上げる4つの部会「修景・街並みづくりガイドライン部会」「文化振興・環境改善部会」「空き家対策部会」「イベント地域活性化部会」も提案されています。

今後、これらの提案やそれを反映した次頁の全体的な推進体制（案）をもとに、地域として具体的に組織づくりを進めることが重要です。

なお、推進体制（組織）の主な役割・取組としては、次のようになります。

##### ＜本町まちづくり協議会（仮称）の主な役割・取組＞

○住民・地域活動団体等の話し合い、情報の交換と交流の場づくり、参加の機会確保

○7つのプロジェクトの具体化に向けた取組（新たな地域の課題解決や魅力づくりも含まれます）

・担い手の確保、実行委員会等（部会）の立ち上げ

・住民（市民）、関係する組織・団体・グループ等への情報発信・共有化 ⇒協力・支援、参加

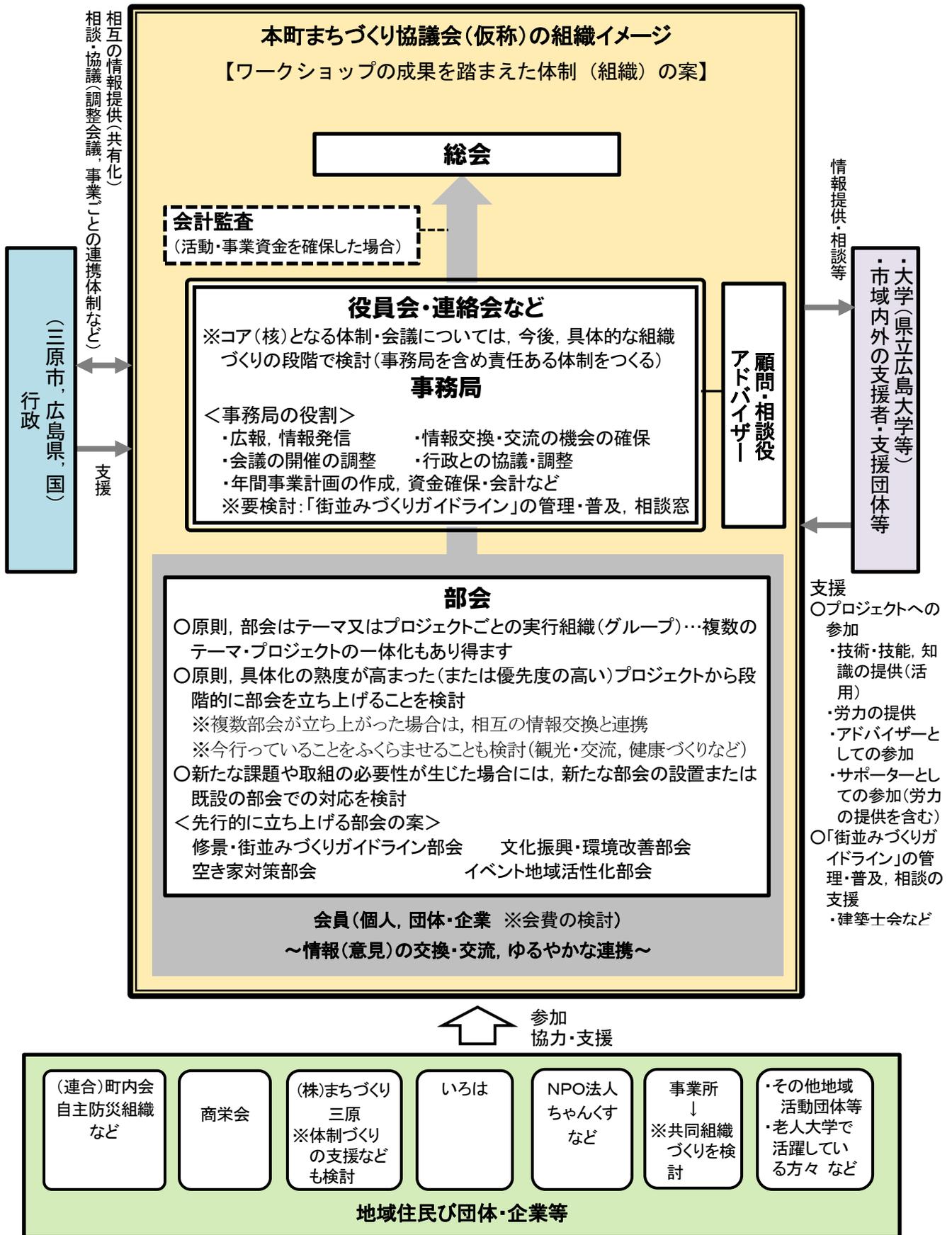
・支援制度の活用検討

・資金の確保…例：会費、寄付、公的な助成、民間の助成（助成団体の制度活用）、イベント等による収益・協賛金 など

○NPO法人の設立による活動の推進の検討（取組アイデアは「☆」：特に重要・必要）…  
取り組む内容などによっては（別組織として）株式会社も検討

○地域などへの情報の提供・発信 など

【全体的な推進体制（案）】

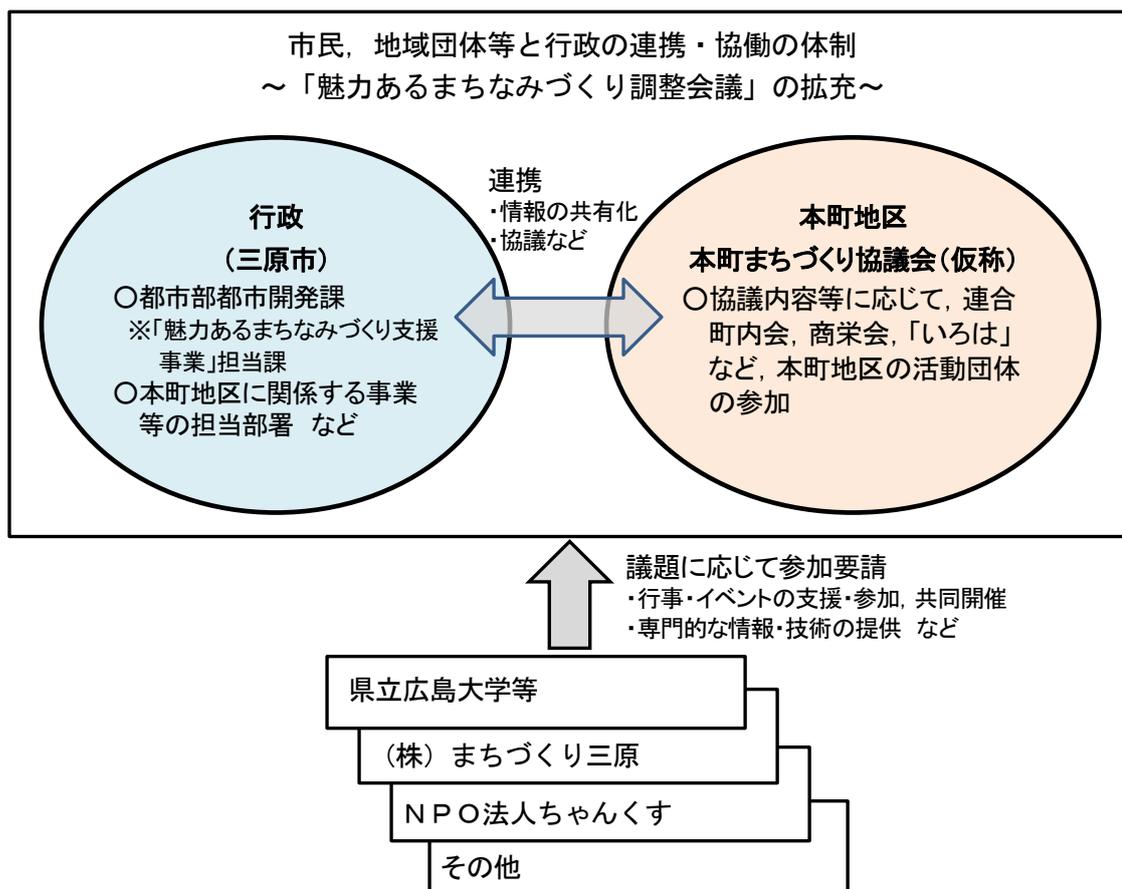


### (3) 市民・地域団体等と市の連携・協働の体制づくり

プロジェクトの中には、公共施設の整備や市の支援などが含まれています。これらを進めるためには、市民、地域団体等と市の連携が必要であることから、情報の共有化や協議の場として「魅力あるまちなみづくり調整会議」を継続的に開催します。

また、議題によっては県立広島大学や(株)まちづくり三原、NPO法人ちゃんくすなど新たな活動主体の参加も要請します。

#### 【市民・地域と市の連携・協働の体制の構築】



## 資料偏

ワークショップメンバー及びアドバイザー・オブザーバー名簿  
プロジェクト別主要事項と主な取組み及びアイデア  
支援制度一覧  
参考資料

## ワークショップメンバー及びアドバイザー・オブザーバー名簿

### ■ワークショップメンバー

(敬称略)

番号	区 分	団体名等	役 職	氏 名
1	町内会	堀川町町内会	会長	正田 洋一
2	町内会	誠美会	会長	萩 由美子
3	町内会	本町中央通町内会	会長	木村 尚登
4	町内会	本町一丁目町内会	会長	篠原 五郎
5	町内会	本町二丁目町内会	会長	藤田 英彦
6	町内会	本町南部町内会	会長	帯賀 信義
7	町内会	胡町町内会	会長	塩谷 晃巳
8	町内会	川東町内会	会長	渡辺 康博
9	商栄会	本町中央通商栄会	副会長	今村 盛登
10	商栄会	本町一丁目商栄会	会長	和田屋 啓嗣
11	商栄会	本町二丁目商栄会	会長	法代地 英雄
12	商栄会	本町胡町通り商栄会	会長	松本 光生
13	地域活動団体	みはら歴史と観光の会	事務局次長	正田 哲夫
14	地域活動団体	いろは	事務局長	正田 信子
15	地域活動団体	いろは	事務局	遠藤 万里
16	地域活動団体	いろは	事務局	海田 智子
17	地域活動団体	いろは	事務局	伊藤 直子
18	地域活動団体	いろは	事務局	稲田 知子
19	地域活動団体	いろは	事務局	坂井 あけみ
20	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	末本 尚吾
21	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	井藤 成美
22	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	森塚 佳代子
23	イベント主催者	(一社) 三原観光協会	観光コーディネーター	松井 寛
24	イベント主催者	三原商栄会連合会・半どん夜市実行委員会	会長	小林 以德
25	イベント主催者	三原商栄会連合会・半どん夜市実行委員会	副会長	高松 勉
26	寺社	妙正寺	住職	柴田 章延
27	寺社	香積寺	住職	岡本 浩彰
28	寺社	宗光寺	住職	垣井 龍頭
29	寺社	明眞寺		藤井 信
30	NPO法人	NPO法人ちゃんくす	代表	西上 忠臣
31	公募	堀川町内会		岡田 博司
32	公募	本町南部町内会		土肥 怜子
33	公募	川東町内会		伊本 正弘
34	市職員			今川 潤
35	市職員			清水 逸司
36	市職員			松本 雅義
37	市職員			山岡 隆明
38	学生	県立広島大学		片岡 政輝
39	学生	県立広島大学		垣村 朋佳
40	学生	県立広島大学		西岡 優子
41	学生	県立広島大学		横畠 健人

■アドバイザー・オブザーバー名簿

(敬称略)

氏 名	所属等	備 考
吉田 倫子	県立広島大学保健福祉学部 講師	アドバイザー
橋本 敬一	三原市文化財協会 会長	アドバイザー
滝口 隆久	株まちづくり三原 統括マネージャー	オブザーバー

■「街並みづくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった 主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
街並みづくりガイドラインづくり	○ゆるやかなルール「街並みづくりガイドライン」の作成とブラッシュアップ ・街並みの歴史文化の学習や現状把握 ・景観ルールに関する勉強会・先進地視察 ・街並みづくりガイドラインの内容の充実	○ルール等への理解・協力, 同意	◎	○	○建築士(団体)など
	○街並みづくりの軸となる区域などで「街づくり協定」の検討 ・街並みづくりガイドライン骨子のブラッシュアップから「街づくり協定」の締結につながる ・街づくり協定などに関する勉強会・先進地視察	○同上	◎住民の総意の形成	◎協定に関わる条例等の検討	
管理・普及 周知	○「街並みづくりガイドライン」の管理・普及 ・管理・運営の組織づくり ・普及・啓発活動		◎	○	
	○情報提供・発信(市外へも) ・建築確認申請時ではルールの周知が遅くなる, 三原市以外の事業者への周知も必要⇒広く周知 ・ホームページだけではなく, 紙ベースの情報提供も大切		◎HP, パンフ等の作成	○	
街並みづくりの相談・支援	○建築相談, 情報提供 ・相談, 情報提供体制や取組内容などの事例の把握⇒体制整備や仕組みの検討⇒体制の構築, 職員の研修・育成			◎	
	○ルールに基づいた建築行為の一部についての財政的な支援の検討…既存制度の活用などの検討 ・個人の財産に税金を使うのはいかなるものか, 中途半端な助成は意味がないのではないか ・「本町の街並みは誰のものか」にも関わる⇒「市民, 三原市の宝(歴史文化遺産)でもある」と市民の理解が得られた場合, 又は国の事業・制度の認定を受けた場合に財政的な支援を検討			◎事業制度(街なみ環境整備事業など)の検討	
	○既存の制度などで利用できるものの活用 ・国の制度の活用(街なみ環境整備事業, 中心市街地活性化など) ・空きや対策, 市の制度(空き家バンク)のPRも…空き家バンク登録の9割が活用されているが, 登録が少ない	○空き家所有者(バンク登録)		◎同上	
眺望景観	○眺望景観の確保に向けた樹木の伐採 ・大島神社の法面の樹木伐採による眺望確保 ・中央公園からの眺望確保		◎	◎公共用地など	
街並み整備	○街並みづくりの軸となる区域などで先導的な街並み整備…それが波及して次につながる ・先導的な街並みづくりの範囲の検討 ・国の制度(街なみ環境整備事業, 中心市街地活性化)などの活用の検討	◎所有者等	○街づくり協定の締結・普及	◎事業制度の検討	

■「施設整備・魅力づくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（1/4）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
本町通り (西国街道)再整備	○交通規制の検討★ ・(全時間帯での)一方通行による交通規制(車優先から人優先へ)☆ …隆景広場西交差点より西側全線または特定区間 ・祭・イベント開催時の一時的な交通規制 ※本町通りは当面現状の道路幅員で交通規制や再整備を検討(下記も共通)	○関係者の同意		◎県警(交通規制)三原市(道路使用)	○関係団体
	○道路の構成・美装化★ ・車が通る量の制限につながる道路構成の検討(安全な道づくり, 仕組みづくり)☆ ・舗装による歩行者空間の確保・整備(色で分けた歩車分離, 歩きやすい舗装など) ・カマボコ状の形状を改善(改良) ・水路のフタの改良:安全性や景観に留意した整備 ・本町古浜線完成後の歴史公園・隆景広場沿いの区間のあり方(例:歩行者中心に転換, 歴史公園と一体的な整備) ・癒し(自然)・健康の仕掛け, 歴史性の表現 ・西国街道の継承, 小早川隆景の決めた道幅の表現またはその説明板の整備の検討…地域資源活用(班)の意見 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた整備(公園・広場やサインなども同様) ・飾りが置ける石の台座(ベンチ)の設置		○意見・提案・要望	◎	
	○電柱・照明灯の集約・再整備 ・老朽化の進んでいる照明灯の更新(景観ルールと整合するデザイン) ・電柱等が交通安全や車による屋根の破損防止に寄与している面を考慮 ・統一感や魅力を感じる照明灯の(再)整備 ・無電柱化の推進(歩行者の安全確保や屋根の軒の保護などは照明で対応)		○意見・提案・要望	◎	○NTT等
	○都市計画道路本町古浜線の整備 ・橋(桜橋)の欄干などのデザインの工夫 ・歩道の舗装などの工夫 ・説明板の設置を検討(三原城の堀の遺構など) →歴史公園付近の本町通りは公園と一体的な整備(歩道整備, 美装化など)		○意見・提案・要望	◎	



施設整備班の作業  
左: 第3回WS  
右: 第4回WS

■「施設整備・魅力づくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（2/4）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
小路・参道魅力づくり・ネットワーク	○整備をめざす小路・ルート★ ・妙正寺坂のルートを中心公園まで延伸して美装化・景観づくり及び歩行環境の整備(下記) ・妙正寺から金毘羅神社方面への道の整備 ・宗光寺小路～鍵型小路～香積寺(小路)のルートは, 西町の資源(寺院等)とのつながりのなかで, ネットワーク化を検討 ・小路を歩きやすくする ・回遊できる道の整備(サインの整備)	◎		◎ 舗装・サイン	
	○道路の美装化, 歩行環境の整備★ ・妙正寺坂, 阿房坂, 宗光寺小路, 大島神社参道, 本町中央公園北側道路(歩行者や車いす, 自転車などが通りやすいフラット(平面)の舗装, 石畳風にする場合はフラットが前提, 生活が不便にならない舗装など, 耐久性のある材料の使用) ・本町45号線と共通部分を有する舗装(美装化)によるネットワーク化 ・景観に調和した手すりの設置☆…阿房坂 ・照明灯(街灯など)の整備:大島神社参道の十字路付近 ・側溝のフタ掛け(安全性確保と景観と調和するデザイン)☆…阿房坂, 妙正寺坂 ・車の通る道と, 通らない道で性格分けをすることが必要(一部の小路に車が進入できなくても良い) ・通学路の安全確保 ・阿房坂以外の小路も風情を感じる景観整備となるよう検討 ・道路整備に合わせた, 壁や古い建物の撤去の検討		○ 意見・提案・要望	◎	
	○狭あいな道路の改善 ・車が進入できる, 建築できる道路の整備の検討(緊急車両, 福祉関係, 工事関係など)	○		◎	

■「施設整備・魅力づくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（3/4）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
公園・広場 魅力化	○公園・広場の再整備（魅力づくり, 有効活用）★ ・本町中央公園の整備（桜の植え替え, 掃除対応） ・中央公園の整備（桜の植え替え, 見晴らしの確保, 掃除対応） ・集まりやすい公園としての整備の検討 →ワークショップスタイルでの公園づくり（まずは本町中央公園から取り組む） ・城跡公園も地域の資源として活用できると良い		◎ 提案づくり	◎	
	○小広場（ポケットパーク）の新たな確保・整備 ・将来的な空き地の活用など	◎ 民有地の 場合		◎	
	○防災を意識した公園・広場の整備・活用★ ・かまどベンチの整備（かまど（煮炊き）に利用できるベンチ） ・防災倉庫などの整備 ・川東児童公園や堀川公園も高齢者の避難場所としての整備が必要 ・防災訓練, 炊き出しイベント等の実施		◎	◎	

ワークショップによる公園整備の例（広島市東区）



公園の使い方の検討



模型づくり（原則, 身近な材料を使用）



開園式で市民が花壇に植栽

参加者でイモ畑をつくり, 秋には収穫祭（広島市南区）



旧宇品線の跡地の一部で花壇や畑づくり



秋には子どもたちと一緒に収穫祭

かまどベンチの例



■「施設整備・魅力づくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（4/4）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった 主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
案内・交流・サイン 整備	<p>○サイン(案内板, 説明板, 誘導標識, 埋込型等の名称表示板, 注意札)の整備(設置)★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の案内板が数カ所あっても良いが, 細かいものは出来るだけ設置せず, 小路を発見する楽しみをつくる(地域資源活用との連携)</li> <li>・配置は, 地区案内板が2~3ヶ所のほか, 社寺への誘導標識程度(主要な交差点など)</li> <li>・地図やパンフレットを貰えるような形に(案内板へのパンフレットボックスなど)</li> <li>・サインデザインは統一され, 歴史を感じるものとする</li> <li>・案内板・誘導標識に方向, 距離の明示, 健康づくりの表示(歩数など)</li> <li>・小路等の名称表示板☆, 案内・説明板, 西国街道の説明板, 文化財やその他地域資源(通りなどを含む)の説明板などの整備</li> <li>・小路・坂, 通り, 寺社, その他地域資源など(案内板・説明板, 名称表示板, 誘導標識)</li> <li>・歴史的建造物(家々)の建設年代を表示(江戸, 明治, 大正, 昭和)</li> <li>・資源の説明板は, 名称だけではなく由来が分かるように工夫</li> <li>・小路や坂の名前を復活, または地域で名称を付ける(地域資源活用との連携)</li> <li>・各行事の案内板設置(本町通りでの行事, イベントが分かる掲示板)</li> <li>・駅からの案内サイン</li> <li>・回遊性を高めるサインの整備</li> <li>・若い人のアイデアを活かしたサインづくり</li> <li>・阿房坂の石柱型サイン(既設)を誘導表標識としても活用</li> </ul>	○ アイデア 提供	○ 意見・提案・要望 ◎ 地域で整備する場合	◎	
	<p>○観光案内や交流, 休憩の場の確保・整備★ ⇒ 観光・交流と商店街活性化プロジェクトの「交流拠点, 案内所, 休憩所の整備」と関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内所・休憩所☆ ⇒ 空き家などの活用の検討(地域資源活用)</li> <li>・休憩の場(ベンチなど)☆:公園・広場, 商店, 寺社</li> </ul>	◎ 民有地, 民間施設 の場合		◎	
	<p>○(公衆)トイレの再整備や新設★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区西側にトイレがないが, 設置場所も含めて検討の必要あり</li> <li>・寺院などのトイレ利用の協力要請</li> </ul>	◎ 民間施設 の場合		◎	

<参考事例：サイン>



三原城跡歴史公園



広島県府中市



山口市



姫路市

■「寺社活用・歴史文化体験プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（1/1）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった 主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
寺社活用	○大島神社の鳥居の修繕・整備★ ・住民で大島神社の鳥居を塗る(神社と地域の協力) ・大島神社の鳥居の整備(若者等に映える場所づくり) ・大島神社の鳥居整備にクラウドファンディングを活用 ・大島神社鳥居整備の寄進を募り, 鳥居の数を増やす(京都伏見稲荷や津和野太鼓谷稲荷のイメージ) ※大島神社には神主がない	◎	◎ ミハラボクラウドファンディング		○ 幅広い支援
	○寺社の活用・再興 ・淡島神社の活用(説明板の再整備⇒説明板については, 上記の「サイン整備」で検討) ・中台院金平様(金毘羅神社)の復院(復活) ・各町内の協力を得て歴史的建造物(上記以外:鐘つき堂など)の補修・修繕 ・ポケモンGOなどの活用(マナーに留意)…施設整備(班)の意見	◎	○		○ 幅広い支援
	○寺院(寺社)をつないだ活用 ※サインは, 上記の「サイン整備」, 及び本町まるごと体験・発信プロジェクトの「本町周遊」で検討 ※下記の「四季の行事」「新たなイベントの企画・開催」における「寺社活用」に関する内容も考慮 ・御朱印巡りの活用 ・三原三十三箇所巡り, お大師巡り ・寺社の集積を活かした連携 ・各寺社の特色や行事等の情報提供 ・お寺での宿坊体験 ・宗光寺座禅体験 ・お寺で「朝ヨガ」, 「サンセットヨガ」などを行い, お寺があることをアピール ・寺社イベントの広報(リーフレットなど) ・住職さんがいない「方法」? ・浮城まつり甲冑行列を宗光寺スタートにする ・旧三原幼稚園(明眞寺)のイベント(おひなさま):問題点にトイレ, 駐車場の確保	○	◎ NPOちゃんくす(雛祭り, 茶屋), いろはなど		○ 周辺地区との連携など
歴史文化の記録・発見・活用	○本町の歴史文化の記録・まとめ ・歴史文化の調査・聞き取り, 取りまとめ・編集などを行うチームの編成と活動展開 ・冊子, マップの作成 ・語る会の継続(いろはで実施中), DVD化		◎	○	○ 学生, 県立広島大学と連携
	○本町今昔写真展の開催と写真の収集・整理・活用 ・本町の写真の募集・写真展の開催 ・写真の整理・活用 ※「いろは」:郷土史講座(年4回)	○	◎	○	
	○AI(人工知能), VR(仮想現実)などの活用 ・観光部門との連携により, QRコードなどを案内板に表示			◎ (観光部門)	

■「寺社活用・歴史文化体験プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（2／3）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
四季の行事	<p>○伝統的な祭・行事の継承・復活(担い手の確保・育成など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町三大大行事(ひなまつり, 半どん夜市, 八坂神社・胡神社の祭り)の充実☆</li> <li>・町内会単位で行っている祭りの統一(交流), 統合による祭りの活性化</li> <li>・既存の資源を活用したイベント☆</li> <li>・昔のお祭りの再現(チーム)・昔のお祭りを復活(淡島さん, 成就寺)・住民や町外の人が集えるイベントの開催(祭りの復活)</li> <li>・ちよっさの再興(恵下谷の祇園社の神輿と共に)</li> <li>・半どん夜市(継続性がない, 若い人には受けている, 戦前からある)⇒下記「大学と連携したイベントの充実」を参照</li> <li>・花祭りの行事(寺院と共に)・ヤッサ踊りを本町へ(元の形に)…下記「本町まで祭を拡大」にも記載</li> <li>・物故者供養盆踊り(8月15日)などを各町内会に呼びかけて実施</li> <li>・ひなまつりは2日間のイベントだが, お金が落ちないこと, 食べるところがないなどの課題</li> </ul>	○	◎ 商栄会 町内会	○	○ 関連団体との連携 県大, 高校, 学生・生徒との協力・連携
	○本町まで祭を拡大(広げる) ・やっさ祭り, おひなまつり など	○	◎		
	○年中行事・イベントの案内表・カレンダーの作成 ・伝統的な祭・行事, イベントの案内表・カレンダー・マップの作成 ・各行事の案内板設置(本町通りでの行事, イベントが分かる掲示板), イベントカレンダー ⇒案内板設置は施設整備・魅力づくりプロジェクトの「サイン整備」で検討		◎	○	○ 同上
	○新たなイベントの企画・開催 ・寺の体験イベントを定期的(毎週)に行う・寺院に咲く花を活用し, 地域と寺院が連携して花祭りの開催 ・寺社を活用した「eスポーツイベント」の開催 ⇒寺社の行事については「寺社活用」でも検討 ・三原幼稚園(明眞寺)のイベント(おひなさま):問題点にトイレ, 駐車場の確保(再掲) ・本町中央公園, 中央公園の桜の活用 ・歴史公園を生かしたイベントの開催(内容の検討) ・子ども行事, 親子行事の拡充(子ども, 親子参加型ウォークラリー など) ・住民や町外の人が集えるイベントの開催(祭りの復活)・西国街道祭など ・新規行事は1年で結果を求めず複数年(3回, 5回など)開催して評価する	◎	◎	○	○ 同上
	○大学と連携したイベントの充実 ・子どもと大学生で活動しているハロウィン祭, 仮装した子どもの街歩きにより町全体が盛り上がるイベントに ・半どん夜市の充実・子どもが主体のイベント開催(特技を活かせるよう)	○	◎		○ 大学
	○担い手の確保・育成, 参加・交流促進★ ・地域の人材(子ども・若者～高齢者)の把握と担い手の確保・育成・地域外の協力・支援者の確保 ・親子, 若者, 高齢者等が参加したくなる, 参加しやすい行事や受け入れ態勢の検討 ・参加者を増やすため, 子どもが参加できるプログラムを増やす	○	◎	○	

■「寺社活用・歴史文化体験プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（3／3）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
生活文化 体験・発信	○生活文化の再発見 ・昔の住みやすさを取り戻す(町の中だけで生活できるには, お店づくりが必要) ・商店街のお店を使う		◎	○	
	○「衣」の体験機会の確保★ ・着物で街歩き ・着付け教室(げんきんや呉服店) ・古着屋 ・着付けまち歩きの仕組みづくり, 写真館との連携	◎	◎ コーディネート 観光協会, まちづくり 三原, いろは	○	
	○「食」の体験機会の確保★ ・お寺での精進料理 ・料理上手なお母さんの料理教室 ・本町の「食」(店舗等)の魅力づくり・連携・PR ・「食」の体験古民家(キッチンハウス) ・着物での茶道体験 ・地物を使った惣菜屋 ・浮城茶屋を引き継ぐ ・お茶とやっさ饅頭のイートイン	◎	◎ 担い手に 依頼	○	
	○「住」の体験機会の確保 ・町家・古民家(空き家)を活かした民泊	◎	○	○	
	○“市”の開催…「食」+α ・宗光寺の参道をもっと魅力的に(毎週参道に市が出る) ・明眞寺(三原幼稚園跡)での定期的な市の開催	◎	◎	○	

■「本町まるごと体験・発信プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（1/3）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシール があった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・ま ちづくり 団体	市	その他
四季の行事	<p>○伝統的な祭・行事の継承・復活(担い手の確保・育成など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町三大大行事(ひなまつり, 半どん夜市, 八坂神社・胡神社の祭り)の充実☆</li> <li>・町内会単位で行っている祭りの統一(交流), 統合による祭りの活性化</li> <li>・既存の資源を活用したイベント☆</li> <li>・昔のお祭りの再現(チーム)・昔のお祭りを復活(淡島さん, 成就寺)・住民や町外の人が集えるイベントの開催(祭りの復活)</li> <li>・ちよっさの再興(恵下谷の祇園社の神輿と共に)</li> <li>・半どん夜市(継続性がない, 若い人には受けている, 戦前からある)⇒下記「大学と連携したイベントの充実」を参照</li> <li>・花祭りの行事(寺院と共に)・ヤッサ踊りを本町へ(元の形に)…下記「本町まで祭を拡大」にも記載</li> <li>・物故者供養盆踊り(8月15日)などを各町内会に呼びかけて実施</li> <li>・ひなまつりは2日間のイベントだが, お金が落ちないこと, 食べるところがないなどの課題</li> </ul>	○	◎ 商栄会 町内会	○	○ 関連団体との連携 県大, 高校, 学生・生徒との協力・連携
	○本町まで祭を拡大(広げる) ・やっさ祭り, おひなまつり など	○	◎		
	○年中行事・イベントの案内表・カレンダーの作成 ・伝統的な祭・行事, イベントの案内表・カレンダー・マップの作成 ・各行事の案内板設置(本町通りでの行事, イベントが分かる掲示板), イベントカレンダー ⇒案内板設置は施設整備・魅力づくりプロジェクトの「サイン整備」で検討		◎	○	○ 同上
	○新たなイベントの企画・開催 ・寺の体験イベントを定期的(毎週)に行う・寺院に咲く花を活用し, 地域と寺院が連携して花祭りの開催 ・寺社を活用した「eスポーツイベント」の開催 ⇒寺社の行事については「寺社活用」でも検討 ・三原幼稚園(明眞寺)のイベント(おひなさま):問題点にトイレ, 駐車場の確保(再掲) ・本町中央公園, 中央公園の桜の活用 ・歴史公園を生かしたイベントの開催(内容の検討) ・子ども行事, 親子行事の拡充(子ども, 親子参加型ウォークラリー など) ・住民や町外の人が集えるイベントの開催(祭りの復活)・西国街道祭など ・新規行事は1年で結果を求めず複数年(3回, 5回など)開催して評価する	◎	◎	○	○ 同上
	○大学と連携したイベントの充実 ・子どもと大学生で活動しているハロウィン祭, 仮装した子どもの街歩きにより町全体が盛り上がるイベントに ・半どん夜市の充実・子どもが主体のイベント開催(特技を活かせるよう)	○	◎		○ 大学
	○担い手の確保・育成, 参加・交流促進★ ・地域の人材(子ども・若者～高齢者)の把握と担い手の確保・育成・地域外の協力・支援者の確保 ・親子, 若者, 高齢者等が参加したくなる, 参加しやすい行事や受け入れ態勢の検討 ・参加者を増やすため, 子どもが参加できるプログラムを増やす	○	◎	○	

■「本町まるごと体験・発信プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（2／3）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
生活文化 体験・発信	○生活文化の再発見 ・昔の住みやすさを取り戻す(町の中だけで生活できるには, お店づくりが必要) ・商店街のお店を使う		◎	○	
	○「衣」の体験機会の確保★ ・着物で街歩き ・着付け教室(げんきんや呉服店) ・古着屋 ・着付けまち歩きの仕組みづくり, 写真館との連携	◎	◎ コーディネート 観光協会, まちづくり 三原, いろは	○	
	○「食」の体験機会の確保★ ・お寺での精進料理 ・料理上手なお母さんの料理教室 ・本町の「食」(店舗等)の魅力づくり・連携・PR ・「食」の体験古民家(キッチンハウス) ・着物での茶道体験 ・地物を使った惣菜屋 ・浮城茶屋を引き継ぐ ・お茶とやっさ饅頭のイートイン	◎	◎ 担い手に 依頼	○	
	○「住」の体験機会の確保 ・町家・古民家(空き家)を活かした民泊	◎	○	○	
	○“市”の開催…「食」+α ・宗光寺の参道をもっと魅力的に(毎週参道に市が出る) ・明眞寺(三原幼稚園跡)での定期的な市の開催	◎	◎	○	

■「本町まるごと体験・発信プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（3／3）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった 主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
本町周遊	○参道・小路のブラッシュアップ ・大島神社参道, 阿房坂, 妙正寺坂, 宗光寺小路などの活用 ・参道・小路などを丸ごと活かす(ネットワーク化) ・参道・小路沿いの地域資源の保存・活用:お地蔵さんなどの点検・維持管理・修繕・活用…施設整備(班)の意見	○	◎	◎	
	○西国街道の活用(歴史的なルート, 景観) ・本町 45 号線の美装化など⇒施設整備・魅力づくりプロジェクトの「本町通り(西国街道)再整備」と関連		○	◎	
	○名所・眺望の場の確保・整備 ・各町内会住民で協力して整備 ・眺望の場の確保・整備(大島神社, 中央公園の法面の樹木の伐採など)	○	◎	◎	
	○サインの整備 ・小路名の名称表示板, 案内・説明板(忘れられないよう, 周知・継承) ・周遊コース(下記)関連のサインの整備 ・歴史的建造物(家々)の建設年代を表示(桃山, 江戸, 明治, 大正, 昭和) ・西国街道の説明板の整備 ・案内板等への昔の写真の掲載		◎ 地域で整備する場合	◎	
	○周遊コースの設定と活用★ ・楽しく歩くスタート地点(駅北へ) ・ウォーキングコースの設定 ・スタンプラリー ・ルートマップ(1 時間コース, 2 時間コース, 4 時間コース)の作成 ・お寺に行くことも運動になる(健康活動) ※「いろは」:サンデーウォーク(年2回)		◎	○	○ 県立広島大学と連携
	○情報の把握・発信★ ・インターネット, SNSを利用した情報発信(大学等との連携)…年間行事, 寺社や歴史的建造物のPR, その他歴史や地域の情報, インスタグラムでの情報発信 ・ターゲットに合わせたPRの充実(紙面, ネット, アゼリアガイド(ボランティアガイド)など) ・三原の人がイベントに来たくなるような広報活動 ・情報の集約と特に推したい資源の決定 ・インターネット, SNSの活用の学習(多くの人が利用できるようにする) ・若い人はインターネットを活用して情報収集, 情報発信		◎	○	○ 学生等と連携
	○本町案内人の確保・養成と学習・体験機会の確保 ・歴史案内をしてくれる人(ガイド等)の確保・養成, そのための体制づくり ・ガイドの養成☆ ・本町勉強会・歩こう会などの開催(住民等が本町を学ぶ・知る, 歩いてみる)		◎	○	○ 関連団体等との連携(アゼリアガイド)
	○本町の歴史文化の記録・まとめ ・歴史文化の調査・聞き取り, 取りまとめ・編集などを行うチームの編成と活動展開 ・冊子, マップの作成 ・語る会の継続(いろはで実施中), DVD化		◎	○	○ 学生, 県立広島大学と連携

■「町家&空き家・空き地活用プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	市	その他
町家活用	○歴史的建造物(建物など)マップの作成・活用 ・県立広島大学等との連携 ・建物の所有者等の同意の確保	○	◎	○	○ 県立広島大学と連携
	○歴史的な建造物の保存・活用(江戸末期の建物, 洋風建物…) ・歴史的建造物の修繕の支援(相談, 技術, 情報, 資金) ・お店の活用(三原を代表する老舗, 旧山脇邸など)	◎	○	○	
	○空き家の再生・活用★ 下記「空き家・空き地活用」と関連 ・空き家の把握(持ち主など) ・空き家を住めるように改修 ・空き家を使って, 学生が来たくするような店づくり ・空き家の仲介に行政が動くと, 移住等も出てくるのではないか(借りたい, 買いたい, 開店したいなど) ・空き家で店を開きたい人の声を聞く(お好み焼き屋, そば屋など) ・空き家に子育て世帯に入って貰うように, 工夫	◎	○ まちづくり 三原	○	
空き家・ 空き地活用	○空き家・空き地の把握と対応策の検討★ ・空き家・空き地の把握(持ち主など) ・空き家対策の調査(移住希望者, 案内など) ・活用できる(可能性の高い)空き家, 防災・防犯・環境上の懸念がある空き家などの検討 ・空き家マップの作成 ・空き家ごとの課題・対応策の検討 ・ポケットパークや“市”の開催等として活用が期待される空き地 ・空き家所有者相談		○ まちづくり 三原, 町 内会	◎ 空き家の 実態調 査, 利 活 用の 調 査・対 策 の 検 討	
	○空き家の利用希望者と地元との交流 ・空き家ツアー(住民も参加)などの開催	○	◎	○	
	○空き家の改修・除去 ・空き家対策(補助金などによる支援) ・空き家を住めるように改修 ・特定空家等(危険, 衛生上の問題など)の除去, 跡地の活用	◎ 所有者 (改修等)	○ まちづくり 三原, 町 内会	◎ 支援制 度の 検 討	
	○空き家の利用促進★ ・空き家対策の調査(移住希望者, 案内など) ・空き家所有者との仲介の仕組みづくり(地縁を利用) ・所有者と利用希望者の調整(市としても取り組む) ・空き家の仲介に行政が動くと, 移住等も出てくるのではないか(借りたい, 買いたい, 開店したいなど) ・本町の空き家バンクを開設 ※市の制度(空き家バンク)…空き家バンク登録の9割が活用されているが, 登録が少ない ・空き家をカフェ, 学生のシェアハウス会館などとして活用	◎ 所有者 利用者	○ まちづくり 三原, 町 内会	◎ 空き家 バン ク, 情 報 発 信 の 検 討	◎ 不動 産 事 業 者 な ど

■「観光・交流と商店街活性化プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（1/2）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシール があった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など				
		個人等	地域・ま ちづくり 団体	行政	その他	
観光・交 流	○景観・地域資源・商店街を観光・交流の資源として も活用 ・観光・交流に資する資源のリストアップ・マップ の作成 ・資源の磨き上げ・魅力づくり（周辺環境の清掃美 化を含む）		◎ 観光協 会, 商工会議 所, 商栄会	○		
	○交流拠点, 案内所, 休憩所の整備★ ・来訪者との交流拠点となる施設の整備 ・本町の観光案内所（本町住民による運営）☆…い ろはを案内所にできないか。「いろは」を中心に 何ができるか考え, 行動に移す ・案内所, 休憩所の整備（一休みでき, お茶が出せ る程度の場合） ・商店街にあるお店の一軒一軒が観光案内所機能を 持つ: 協力店に案内ステッカー・バナー（案内, トイレなど） ・本町のキャラクターを使った看板, 案内板を作っ て親しめるようにする ※「いろは」: いろはカフェ（年5回）, 作品展（年 1回）など	◎ 民有地, 民間施設 の場合	○ 観光協 会, 商工会議 所, 商栄会	◎ 公共施設 の場合		
	○観光マップ・パンフレットの作成・配付・配置 ・トイレなどの表示も入れた観光マップ・パンフレ ットの作成 ・色んな所に配付・配置			◎	○	
	○サインの整備 ⇒施設整備・魅力づくりプロジェクト の「案内・交流・サイン整備」で検討 ・小路・坂, 通り, その他地域資源など（案内板・ 説明板, 名称表示板, 誘導標識） ・駅からの案内サイン ・若い人のアイデアを活かしたサインづくり			○ 意見・提 案・要望 ◎ 地域で整 備する場合	◎	
	○情報の把握・発信 ・インターネット, SNSを利用した情報発信（大 学等との連携）…年間行事, 寺社や歴史的建造物 のPR, その他歴史や地域の情報 ・ターゲットに合わせたPRの充実（紙面, ネット, アゼリアガイド（ボランティアガイド）など） ・三原の人がイベントに来たくなるような広報活動 ・情報の集約と特に推したい資源の決定 ・インターネット, SNSの活用の学習（多くの 人が利用できるようにする）			◎ 観光協会, 商工会議 所, 商栄会	○	
	○本町案内人の確保・養成と学習・体験機会の確保 ・観光ガイド, アゼリアガイド（ボランティアガイ ド）の確保・養成, そのための体制づくり ・本町勉強会・歩こう会などの開催（住民等が本町 を学ぶ・知る, 歩いてみる）			◎	○	○
	○お土産づくり…地域資源活用（班）の意見 ・現在あるお土産のより一層PR・販売促進 ・新たなお土産づくり（「いろは」のものづくり活 動の中で土産物づくりを検討）	◎ 事業者	○ アイデア 出しなど	○ 支援の検 討	○ 関係機関 の支援	

■「観光・交流と商店街活性化プロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（2/2）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	行政	その他
商店街活性化	○魅力ある店舗づくり★ ・歴史的な建物や空き家を活用した店舗づくり（歴史的な雰囲気のあるカフェやレストランづくりなど→本町食堂をレトロな食堂にするなど） ・若者がチャレンジできる仕組みづくり（住宅、仕事の場など） ・人の流れをつくるお店の誘致（コンビニなど） ・のれんや旗などで統一感があるものを作成し、商店街のイメージづくり ・土日の活性化につながるイベントづくり ・飲食店を増やす（古民家レストラン、お好み焼き、日本そば） ・空き家カフェなど、学生が勉強することができる場所づくり	◎	○ 商栄会, 町内会, いろは	○	○
	○高校生・学生など若者が訪れる商店街づくり ・子ども・若者との交流 ・交流の場の確保		◎	○	
	○本町通りでの多彩な行事・イベントの開催 ・「いろは」で行っている行事により人通りを増やしたい（高齢者サロン、年5回のカフェの開催などで参加者は少しずつ増えている） ・休日の商店街を盛り上げる店舗の出店（フリーマーケット）、軽トラ市の開催 ・通りの歩行者天国化☆ ・イベント広場の確保などによるイベント環境づくり ・地域の交流人口を把握する仕組みづくり		◎ 商栄会, 町内会, いろは	○	○
	○駐車場の確保 ・老人大学, 老人大学駐車場 ⇒ 老人大学移転後の活用検討 ・JR高架下空間の活用 ⇒ 現時点で月極駐車場等に利用されており, 設置・協力要請		○ 意見・提案・要望	◎ 老人大学 駐車場	◎ (高架下) JR

■「安全・安心と健康のまちづくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（1/2）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・まちづくり 団体	行政	その他
安全・安心	○防火(防災)対策の充実・強化 ・小路などへの防火水槽, 消火器の設置 ・火災警報器等の設置促進 ・屋外消火器の設置, 景観に調和するボックスのデザイン(色など)…施設整備(班)の意見 ・防災訓練, 炊き出し訓練など実施(歴史公園などを活用)…施設整備(班)の意見		◎ 自主防災組織, 本町連合町内会	◎	
	○避難場所と避難路等の確保・整備 ・避難訓練の実施 ・避難場所・避難路(経路)の点検と(必要に応じた)見直し・整備 ・防災を意識した公園・広場の整備・活用(再掲) ・防災(避難, 訓練)に資する広場等の確保・整備 ・防災看板の設置(下記(防災マップ)も参照)		○ 自主防災組織, 本町連合町内会	◎	
	○防災マップの作成 ・住民と行政が連携した防災マップの作成(住民による街の点検など) ・防災看板(防災マップ)の設置☆…「☆」は施設整備(班)	○	◎ 自主防災組織, 本町連合町内会	◎	
	○安全な環境・設備の整備…景観ルールづくり(班)の意見 ・ブロック塀対策(修景とセットでの検討) ・建物の壁面や庇などに取り付けられている空調設備の安全対策(落下防止)	◎ 所有者		○	
	○犯罪のない安全なまちづくり ・見守り活動 ・防犯灯などの整備		◎ 自主防災組織, 本町連合町内会	◎	○
	○鳥獣被害対策 ・野犬, イノシシなど		○	◎	

■「安全・安心と健康のまちづくりプロジェクト」の主要事項と主な取組及びアイデア（2/2）

主要事項 (中分類)	主な取組(○)及び取組アイデア(・) ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった 個別の内容…第3回WS ★:「優先的, 早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシール があった主な取組…第4回 WS	担い手・支援者等とその取組(要点) ◎取組主体 ○協力・支援など			
		個人等	地域・ま ちづくり 団体	行政	その他
健康づく り	○健康ウォーキングロード(ルート)づくり ・坂道を利用した健康ウォーキングロード☆ ・歩行距離が分かる案内板・表示板☆ ・本町などの歴史文化を学び・楽しみながらのルー トづくり(眺望・休憩の場, 歴史文化資源やその 説明板など)☆ ・「いろは」を起点としたルートづくり健康ウォーキング ルート:「いろは」~「○○寺」○kmなど ※「いろは」:百歳体操(週1回), 楽々貯筋クラブ(月1 回), サンデーウォーク(年2回)		◎ 町内会, いろは	◎	
	○健康づくりイベント等の開催★ ・ラジオ体操(地域住民全体で, お寺など) ・健康づくり教室の開催 ・歴史探訪・自然探勝と兼ねるなどの健康ウォーキ ングの定期的な開催(例:年4回・季節ごと) ・堀川町内会が開催している健康づくり教室を各町 内への呼びかけにより輪を広げる(PR) ・公園で子どもから高齢者まで参加できるスポーツ イベントを開催 →①イベント+健康診断でまちを使った健康づ くり →②栄養に料理教室, 運動に朝の体操, 認知予防 に脳トレなどの組合せを活用		◎ 町内会, いろは	○	
環境美化	○三原城跡の環境整備と活用 ・城跡の環境改善:堀の水の浄化(透明度を上げる), 石垣に繁茂する植物の除去 ・城跡, 歴史公園を見る道路からの景観の改善 ・城跡を眺めながら飲食を楽しめるテーブル・イス を設置 ・将来を見据えて城跡周辺を整備	○	○	◎	
	○環境美化 ・清潔なまち, ゴミのポイ捨て対策(マナーづくり など) ・ペットの管理マナーの啓発		◎	◎	

表 本町西国街道地区魅力ある「まちなみづくり」事業 支援制度一覧（1/3）

関係するプロジェクト	番号	制度名	制度の概要	対象地区	対象者	対象事業	補助額	補助者
寺社活用・歴史文化体験プロジェクト	1	クラウドファンディング活用支援事業	インターネットを活用し、市内外で対象事業を応援してくれる人や団体から寄付を募る。集まった寄付金を財源とした補助金により事業を行う個人や団体に対し、財政支援を行う制度。	市中心部 (本町, 館町, 港町, 城町, 円一町)	個人・団体	①対象地域内の空き家, 空き店舗, 景観, 特産品などの地域資源を活用し, 地域の賑わいづくりやエリア内の魅力を高める事業 ②寄付金の目標金額100万円以上の事業 ③寄付金が目標金額に達しない場合も実施する事業	寄付金の額が上限, 又は寄付金が目標金額に達しない場合は, その差額の1/2(上限50万円)を上乗せ補助	三原市 (経営企画課)
	2	三原市学生向けシェアハウス設置補助金	空き家の有効活用及び市外に在住する学生の市内居住促進を図るため, 市内の空き家を活用して学生向けシェアハウスを設置する事業者に対し費用の一部を補助する制度。	市内	設置事業者	3人以上の学生が入居可能な学生向けシェアハウスを設置するための空き家の改修, 設備及び家具購入等 ※設置事業者の応募受付期限: 9月13日(金)	対象経費の1/2 (上限400万円)	三原市 (住宅対策課)
町家&空き家・空き地活用プロジェクト	3	三原市学生市内居住促進補助金	上記学生向けシェアハウス設置補助金の補助を受けて設置されたシェアハウスに市外から転入し入居する学生に対し, 地域活動への参加を条件に家賃の一部を補助する制度。	市内	入居学生	市外から転入してシェアハウスに入居し, 地域活動に参加することが条件	月額家賃の1/2 (上限5千円)×補助対象期間の月数	三原市 (住宅対策課)
	4	三原市空き家バンク制度	空き家の流動化を促進し, 移住者の増加を図るため, 市内の空き家を所有者の申込みにより登録(ホームページ等で公開)し, 利用希望者に紹介する制度。	市内	個人 (空き家利用者/所有者)			三原市 (住宅対策課)
	5	三原市空き家改修等支援事業補助金	空き家バンク登録物件を利用した市外からの移住者に対して空き家の改修費の一部を補助する制度。	市内	個人 (空き家利用者)	空き家バンク物件利用者かつ市外からの移住者が行う物件の改修	対象経費の1/2 (上限30万円)	三原市 (住宅対策課)
	6	三原市空き家改修等支援事業補助金	空き家バンク登録物件の所有者に対して家財整理費の一部を補助する制度。	市内	個人 (空き家所有者)	空き家バンクに登録する(または既に登録している)空き家所有者が行う空き家に残った家財の搬出処分	対象経費の1/2 (上限5万円)	三原市 (住宅対策課)

表 本町西国街道地区魅力ある「まちなみづくり」事業 支援制度一覧（2／3）

関係するプロジェクト	番号	制度名	制度の概要	対象地区	対象者	対象事業	補助額	補助者
町家&空き家・空き地活用プロジェクト	7	三原市老朽危険空き家除却事業補助金	生活環境等の改善及び災害の防止を図るため、市内の老朽危険空き家の除却及び処分に要する経費の一部を補助する制度。	市内	個人 (空き家所有者等)	老朽危険度が一定の基準を超える空き家の除却	対象経費の4/5 (上限50万円)	三原市 (住宅対策課)
	8	空き家活用推進チームの派遣制度	市町が検討する空き家活用を支援するため、広島県が「空き家活用推進チーム」を派遣し、支援や実践的アドバイスを行う制度。	市内	団体 (市が窓口)	空き家の家財整理や空き家活用等について、専門家を派遣し、空き家活用を支援する事業	旅費・謝金等のかかる費用は県負担	広島県 (土木建築局住宅課)
観光・交流と商店街活性化プロジェクト	9	三原市中心市街地活性化事業費補助事業	商工団体等が中心市街地活性化のために実施する事業に対し、経費の一部を補助する制度。	本町一丁目・二丁目 三丁目の一部 館町一丁目 港町一丁目・三丁目 城町一丁目・三丁目 二丁目の一部 円一町一丁目 二丁目・三丁目 宮沖三丁目 の一部 四丁目の一部	商工団体、商栄会、その他対象区域内で商業等の活性化を行う団体	中心市街地活性化を目的としたイベント・情報発信・生活環境改善・人材育成・研修会で公益性、有効性、公平性があると認められる事業	事業実施経費の1/2以内(ただし、1事業につき限度額は50万円)	三原市 (商工振興課)
	10	三原市中心市街地新規出店支援事業補助金	中心市街地の空き店舗の解消を図り、商店街等の魅力及びにぎわいを取り戻すため、空き店舗を賃借し出店する新規事業者活用等に対し一部補助を行う制度。	本町一丁目・二丁目 三丁目の一部 館町一丁目 港町一丁目・三丁目 城町一丁目・三丁目 二丁目 の一部 円一町一丁目 二丁目 三丁目 宮沖三丁目 の一部 四丁目 の一部	空き店舗を賃借し、出店する新規事業者	商店街等の魅力及びにぎわいを取り戻すため、空き店舗を賃借し出店する新規事業者の一部補助を行う	賃借料:1/2以内 限度額 (1階) 月額4万円 (1階以外) 月額3万円 ●飲食業 最大3年 ●それ以外 1年 改装費:1/2以内 限度額50万円	三原市 (商工振興課)

表 本町西国街道地区魅力ある「まちなみづくり」事業 支援制度一覧（3／3）

関係するプロジェクト	番号	制度名	制度の概要	対象地区	対象者	対象事業	補助額	補助者
	11	三原市地域商業活性化支援事業 (新規出店支援事業・経営支援事業)	空き店舗等を活用した新規事業者や既存店舗を改装し事業を継続する事業者等に対して一部補助を行う制度。	中心市街地地区以外	空き店舗等を活用した新規事業者 既存店舗を改装する事業者等	●新規出店支援事業 ①空き店舗等を新たに賃借し出店する ②自己所有の空き店舗等を改装し出店する ③店舗を新築し、又は空き店舗等を取得し出店する ●経営支援事業 ①既存店舗を改装し事業を継続する ②既存店舗を建替(移転含む)事業を継続する	賃借料:1/2以内 限度額 (1階) 月額3万円 (12カ月) (1階以外) 月額2万円 (12カ月) 改装費:1/2以内 限度額50万円 ※既存店舗の改修等 限度額:40万円	三原市 (商工振興課)
	12	街なか再生助成金	公益社団法人 区画整理促進機構が市街地整備や再生を行う民間団体を資金面で助成する制度。	中心市街地及び鉄道駅周辺地区等の拠点的地区	NPOのまちづくり会社 民間団体(市の推薦必要)	空店舗、空き家、空地、歴史的建築物等を活かした街なか再生への取り組みに対し助成する事業	限度額100万円	公益財団法人区画整理促進機構
	13	住まいとコミュニティづくり活動助成	【地域・コミュニティ活動助成】 地域づくりやコミュニティを基軸にした広範な市民活動に対する助成制度。 【住まい活動助成】 住まいや住宅地、団地、マンションなどを活動対象にして今日の多様な住宅問題に取り組む活動に対する助成制度。	全域	民間の非営利組織	歴史ある建物の保全・活用、街並景観の向上など住環境の保全・向上のための活動に対し助成する事業	限度額120万円	一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

## 参考資料 1 : 橋のデザイン

都市計画道路本町古浜線の整備において、橋や歩道（舗装）のデザインなどを工夫することが期待されます。

- ・三原城や城下町が存在していたこと、直近に三原城跡や旧西国街道があることの表現など
- ・説明板（案内板）の設置の検討など

### <参考事例>



一の坂川に架かる橋のデザイン（山口市）



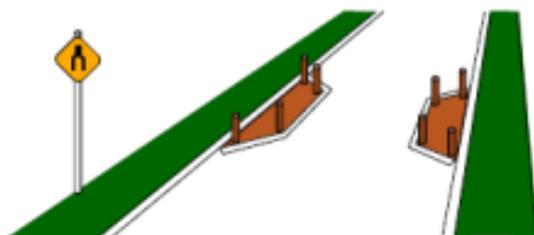
城山橋欄干の装飾（庄原市東城町）

## 参考資料 2 : 歩車共存道路

※国土交通省資料

### ■狭さく

課題	単路部での車両の通行速度が高い。
対策内容	車両の通行速度の高い箇所において、狭さくを設置する。
効果	自動車の通行部分の幅を物理的に狭くする、あるいは視覚的にそう見せることにより自動車の運転者が速度を低減する。 但し、速度抑制効果はハンプの方が大きい。



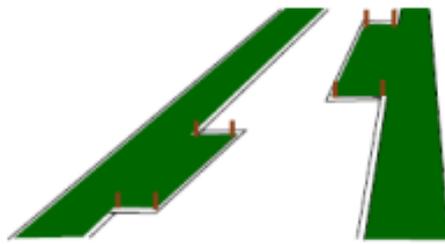
通行速度の高い区間に両側狭さくを整備（標準形：3.0m）（愛知県稲沢市）

- ・狭さくの設置
- ・車線分離標（ラバーポール）を設置

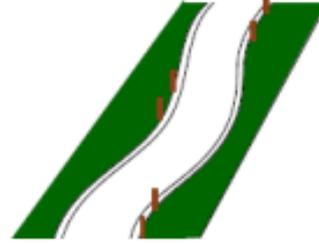


■シケイン

課題	単路部や交差点部での車両の通行速度が高い。
対策内容	シケインは、クランクとスラロームに分類される。 クランクは、直線的な線形の変化により車道部を屈折させ、スラロームは曲線で車道を蛇行させる。ポラードや植栽マスによってスラローム・クランクを形成することで、安価で済むこともある。
効果	車両が通行する際に振り幅を持たせることにより、ドライバーが速度を低減する。



クランク



スラローム

通行速度の高い区間にスラロームを整備（愛媛県）

※既往の事例

○対策前



- ・歩行者、車両ともに交通量が多いが、歩道の幅員が狭いため危険

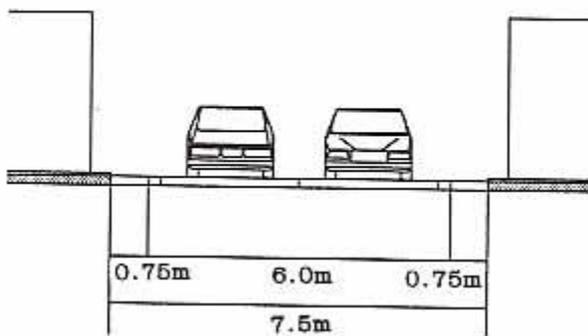
○対策後



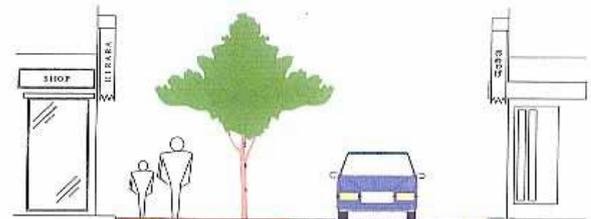
- ・一方通行規制を実施し、スラロームを整備
- ・無電柱化、歩道の拡幅

■コミュニティ道路の事例：沖縄県平良市

従前  
(道路幅員：7.5m)



整備後  
(コミュニティ道路)



整備イメージ



### 参考資料 3 : 道路の美装化・歩行者空間の確保

本町 45 号線において、道路の美装化や歩行者空間の確保などを検討することが求められます。その他の市道（参道・小路）においても、道路の美装化などを検討することが求められます。

- ・市民や来訪者の散策や周遊に資する道づくりを検討…整備するルートや内容の検討

#### <参考事例>



舗装材料やライン等による歩行者空間の確保と美装化  
(島根県津和野町)



舗装材料やライン等による歩行者空間の確保と美装化  
(出雲市大社町 神門通り)



水路のフタ掛けと道路の美装化  
(出雲市 木綿街道)



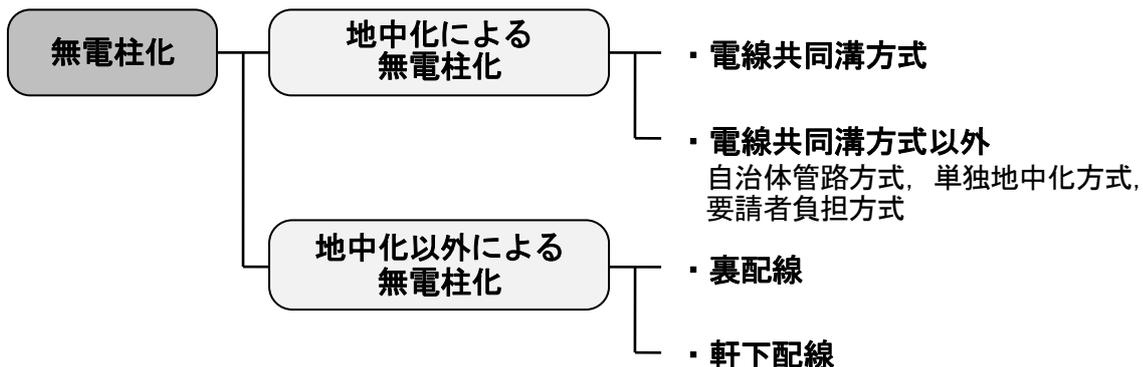
坂道の美装化と手すりの設置  
(尾道市)

### 参考資料 4 : 無電柱化の方法

※国土交通省資料

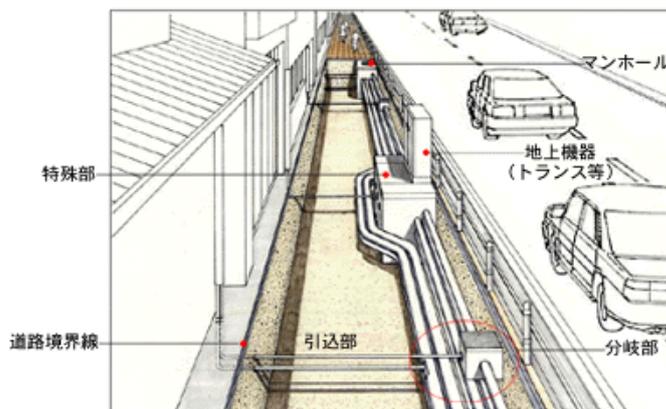
本町 45 号線や都市計画道路本町古浜線の整備においては、無電柱化や電柱・照明灯の集約化・再整備を検討することが求められます。

なお、ワークショップでは、無電柱化の意見がある一方で、電柱・照明灯が歩行者を車から守っている点、建物の軒への車の接触を防止している点も指摘されており、こうした意見を考慮する必要があります。



## ●電線共同溝方式

電線共同溝方式は、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する無電柱化の手法。沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組み。



### 費用負担の考え方

#### 1 電線共同溝方式

電線共同溝の整備等に関する特別措置法に基づき、道路管理者及び電線管理者等が負担

#### 2 自治体管路方式

管路設備の材料費及び敷設費を地方公共団体が負担し、残りを電線管理者が負担

#### 3 単独地中化方式

全額電線管理者が負担

#### 4 その他

無電柱化協議会で優先度が低いとされた箇所において無電柱化を実施する場合には、原則として全額要請者が負担

## ●自治体管路方式

地方公共団体が管路設備を敷設する手法。構造は電線共同溝とほぼ同じ管路方式が中心であり、管路等は、道路占用物件として地方公共団体が管理する。

## ●単独地中化方式

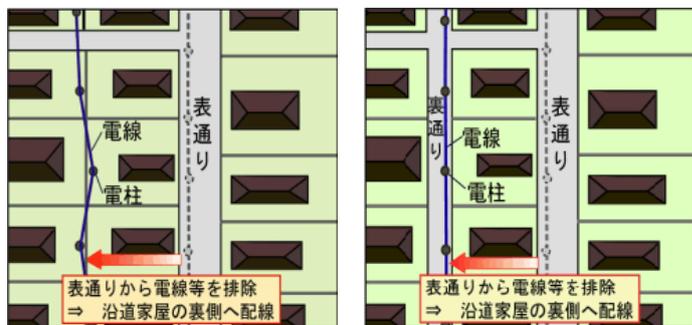
電線管理者が自らの費用で地中化を行う手法。現在、実施されている例は極めて少ない。管路等は電線管理者が道路占用物件として管理する。

## ●要請者負担方式

各地方の無電柱化協議会で優先度が低いとされた箇所等において無電柱化を実施する場合に用いる手法であり、原則として費用は全額要請者が負担する

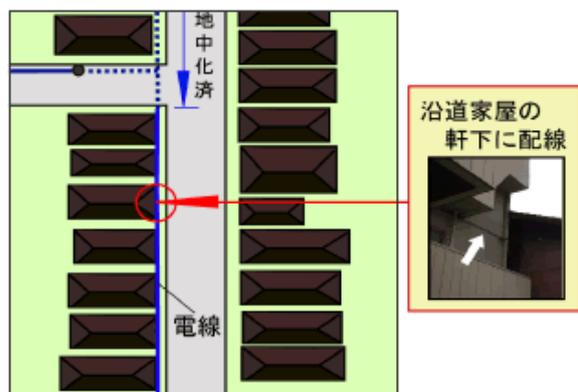
## ●裏配線

無電柱化したい主要な通りの裏通り等に電線類を配置し、主要な通りの沿道の需要家への引込みを裏通りから行い、主要な通りを無電柱化する手法



## ●軒下配線

無電柱化したい通りの脇道に電柱を配置し、そこから引き込む電線を沿道家屋の軒下または軒先に配置する手法



**参考資料5：公園の再整備（魅力づくりなど）**

本町地区には、本町中央公園と堀川公園があり、近くには中央公園が立地しています。これら公園の有効活用や魅力づくり，防災機能の充実など（公園の再整備）について，住民参加による取組を含め検討することが求められます。

＜参考事例＞

■以前からあった桜を残した公園づくり（広島市東区）

以前，民間の駐車場であった土地を公園とすることになり，地域住民がワークショップで公園の使い方や整備内容などを提案し，具体化しました。



■公園への手づくり「かまどベンチ」の製作と活用（広島市佐伯区・安佐南区）

広島市佐伯区的美鈴が丘団地にある緑第二公園で、地元住民が手

**手作り かまどベンチ**

美鈴が丘団地 災害時に煮炊き



かまどベンチを作る子どもたち

作り上げた美鈴が丘団地が完成した。災害時は「みんなで作ったの

かまどベンチを載せてベンチとして使う。かまどは幅2尺、奥行き60センチ、高さ40センチで三つが並ぶ。仕上げをした22日の作業には親子連れたち約40人が参加。耐火レンガを積み上げる作業を続けた。近く、取り外し可能な座板を付ける。11月には、地域の防災訓練で炊き出しに使うという。地元の美鈴が丘中1年迫井一歩さん(12)は「みんなで作ったの



美鈴が丘団地（緑第二公園）にある「かまどベンチ」

中国新聞朝刊

かまどベンチが完成したときのオープニングイベントの提案（安佐南区伴中央でのワークショップ）

- ※安佐南区伴中央地区では、佐伯区美鈴が丘団地の事例を参考に「かまどベンチ」の製作を企画
- ・訓練として人命救助の講習（講師：消防署）…消防車が来ると、子どもたちも喜ぶ（参加の促進）
  - ・「かまどベンチ」を使って郷土料理“煮込め（にごめ）”，豚汁などの作ってみんなで食べる
  - ・毎月1回のイベントにする 等々

**参考資料6：案内板・説明板等（サイン）の整備**

案内板・説明板，誘導標識などを計画的に配置し，本町地区や地域資源の紹介，周遊ネットワークの形成が期待されます。  
 本町地区をイメージしたり，印象に残ったりするサインのデザインや内容を工夫することも期待されます。

＜参考事例：案内板・説明板＞



三原城跡歴史公園(全体説明板)



三原城跡歴史公園(西国街道の説明板)



三原城跡歴史公園(遺構(石列)の説明板)



城下町と町名の説明板(姫路市)



旧山陽道と国府の説明板(府中市)



観光案内板(島根県津和野町)

＜参考事例：標識(標柱)，誘導標識＞



誘導標識(山口市)



誘導標識(倉吉市)



町名表示(倉吉市)



眺望点(尾道市)



古寺めぐり(尾道市)

＜参考事例：埋め込みサイン＞



西国街道と町名(広島市中区, 右も同様)



平和の道

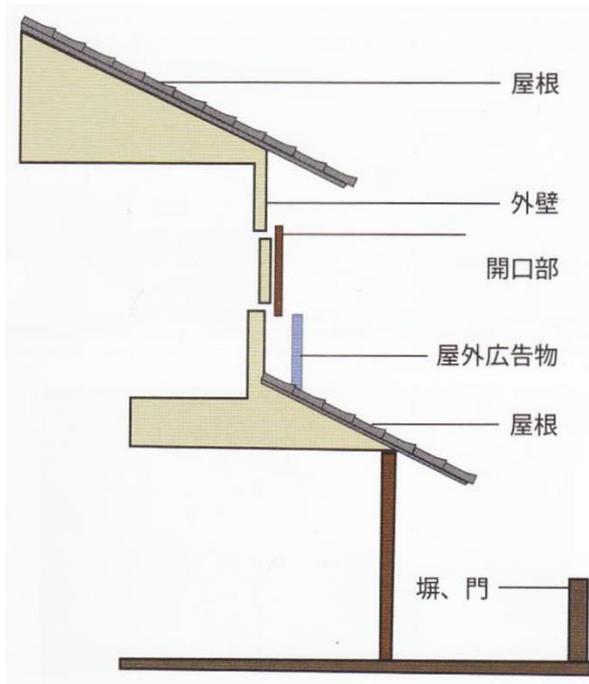


音楽大学前

参考資料 7 : 山口市の建築等への助成制度 (景観形成重点地区内 : 一の坂川周辺) ※山口市資料  
表 助成対象基準

項目		修景基準	助成対象
建物	屋根	・勾配屋根で、色彩が無彩色又は茶系のもの	・日本瓦等
	外壁	・自然の風合いや質感のある材料 ・無彩色や茶系など、一の坂川の自然と調和した色彩のもの	・漆喰塗り、板張り等
	開口部、玄関	・落ち着いた感じの外壁や伝統的なデザインの外壁と調和するもの	・格子、木製建具、むしご窓等 ・デザイン、修景に配慮した窓等 ・デザインに配慮した出入り口の扉、引き戸、格子戸等
	色彩変更	・無彩色や茶系など、一の坂川の自然と調和した色彩への変更	・外観の過半にわたる変更
外構	塀、門	・和風を基調としたもの ・一の坂川の自然と調和した自然の風合いがあるもの	・漆喰塗り壁、板塀、石塀等 ・ブロック塀の漆喰風塗り仕上げ等の修景 ・冠木門、その他和風の門等
駐車場周囲の修景 (建築物と同一敷地にある駐車場は除く)		・良好な街なみ空間の形成や街なみの連続性創出に資するもの	・道路との境界付近に設ける板塀や生垣、植樹帯等の新設、修景(駐車場の機能に支障のない範囲においてできる限り実施したものに限り)
付属物	屋外広告物	・建物のデザインと調和したもの	・突き出し看板のうち飾り看板 ・壁面利用看板
	設備機器の修景	・建物と一本化されたもの ・隠蔽されたもの	・空調機器や自動販売機の修景のための工作物
	その他	・一の坂川の自然に調和した風合いのあるもの	・景観形成に寄与すると認められるもの

景観形成助成対象範囲

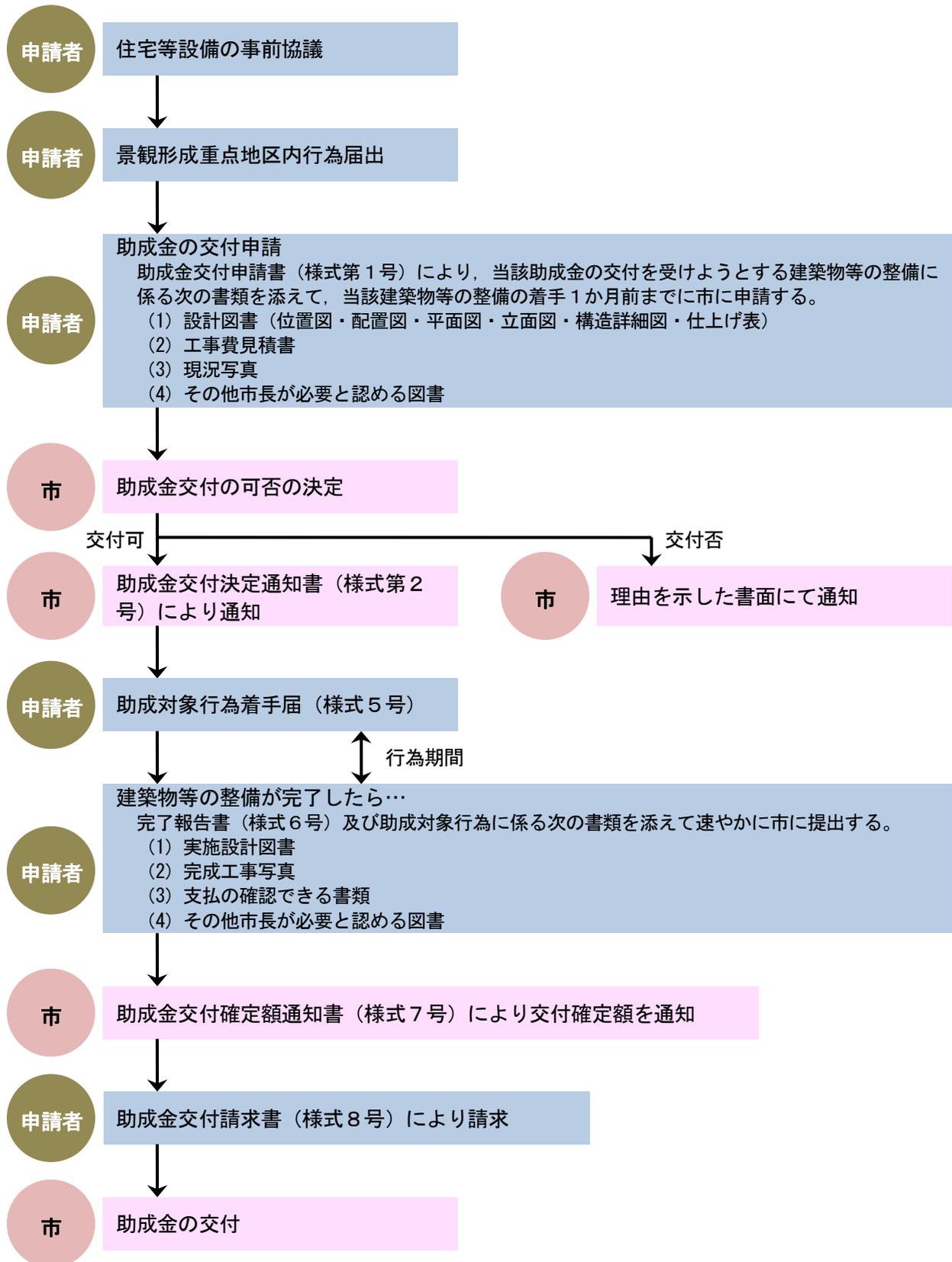


項目	適用範囲
屋根	屋根葺き仕上げ材(瓦等)及びその施工費
外壁	下地を除く外壁仕上げ材及びその施工費
開口部	材料費及びその施工費
色彩変更	材料費及びその施工費
囲障	土工を除く材料費及びその施工費
看板等	材料費及びその施工費
その他	材料費及びその施工費

種別	対象物件	助成率	限度額
建物	屋根	1 / 3	60 万円
	外壁	1 / 3	20 万円
	開口部、玄関	1 / 3	20 万円
	外観の過半にわたる色彩の変更	1 / 3	20 万円
	外構	塀、門	1 / 3
駐車場周囲の修景		1 / 3	50 万円
付属物	屋外広告物	1 / 3	10 万円
	設備機器の隠蔽	1 / 3	25 万円
	その他(市長が対象物件と認めるもの)	1 / 3	50 万円

※助成金の交付は、同一の建築物等の種別毎に1回限りとし、全体の交付額は100万円を超えない額とします。

助成金交付手続きの流れ



※このフローは概ねの流れを示したものです。交付決定後の申請内容の変更など、詳しくは都市計画課まちづくり推進担当までお問い合わせください。





宗光寺小路の将来イメージ



阿房坂の将来イメージ